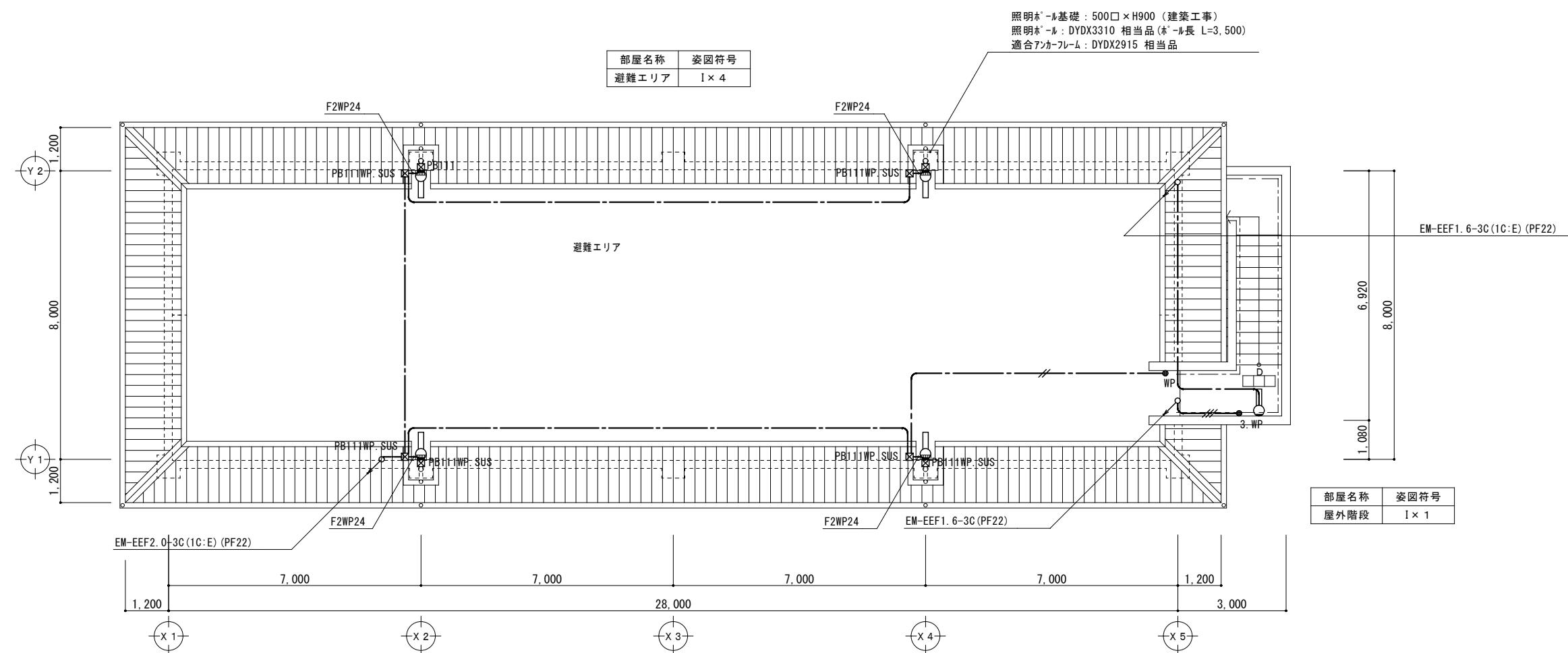


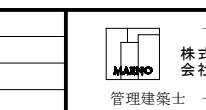
特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C(PF16)
---	EM-EEF1.6-3C(PF22)
---	EM-EEF1.6-3C(1C:E)(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C×2(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C×2(1C:E)(PF22)
---	EM-EEF1.6-3C+2C(PF28)
6	EM-EEF1.6-3C×2(PF28)
S	EM-FCPEE1.2-1P(PF16)

特記なき記号は下記による。		
記号	名 称	備 考
■	電灯動力盤	
■	電灯分電盤	
△	別途制御盤	
●	埋込スイッチ 1P15A×1	
●	埋込スイッチ 1P15A×3	
●	埋込スイッチ 1P15A×4	
● L	埋込スイッチ 1P15A(L)×1	
● 1S	熱線式自動スイッチ用操作ユニット(1回路用)	WTA5820WK
● 2S	熱線式自動スイッチ用操作ユニット(2回路用)	WTA5822WK
▽	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	WTK24818
▽	熱線式自動スイッチ用センサ 子機	WTK29129
▽ F	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 換気扇連動型	WTK29318
▽ 0	熱線式自動スイッチ用センサ 親機(屋外用)	WTK44819
▽ 0	熱線式自動スイッチ用センサ 子機(屋外用)	WTK49129
● 3. WP	埋込スイッチ(防雨型) 3W15A×1	
● 4. WP	埋込スイッチ(防雨型) 4W15A×1	
● nR	フル2線リモコンスイッチ	n回路用
▣ PB111WP.SUS	屋外フル体 <sup>サス</sup> 100×100×100 SUS製	
○	換気扇-天井付	機械設備
○ 24h	換気扇-天井付(24H換気)	機械設備
○ 24h	24H換気用スイッチ(機械設備より支給品)	機械設備材料支給



屋根伏図 1/100

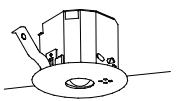
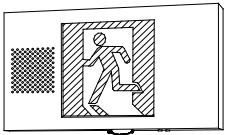
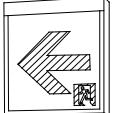
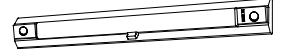
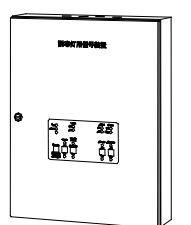
特記事項	意見を聞いた建築設備士:エーエフ環境技術オフィス 水谷浩(建築設備士 第28D1-0077MT号)



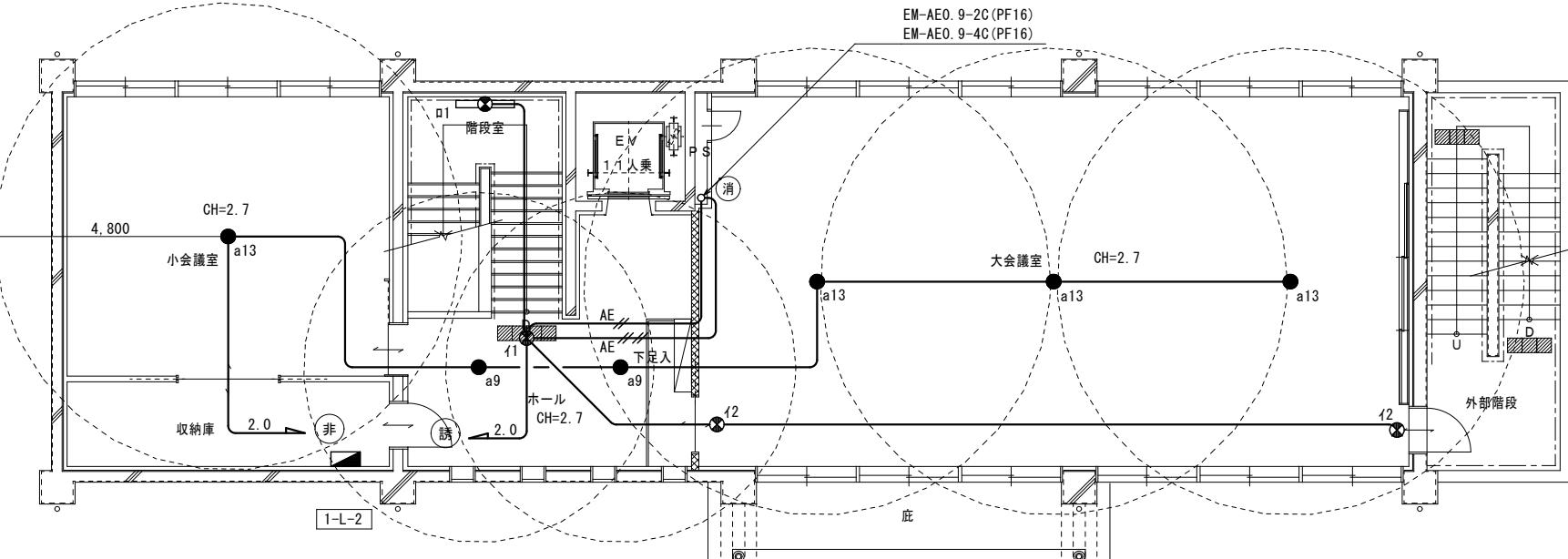
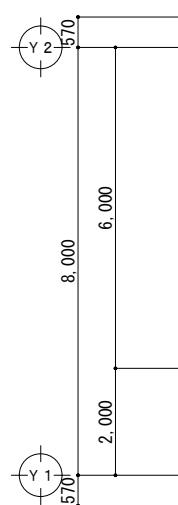
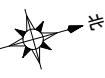
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			水商 検査 三橋	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】電灯設備 屋根伏図	
							縮尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 E010 (原図:A2)

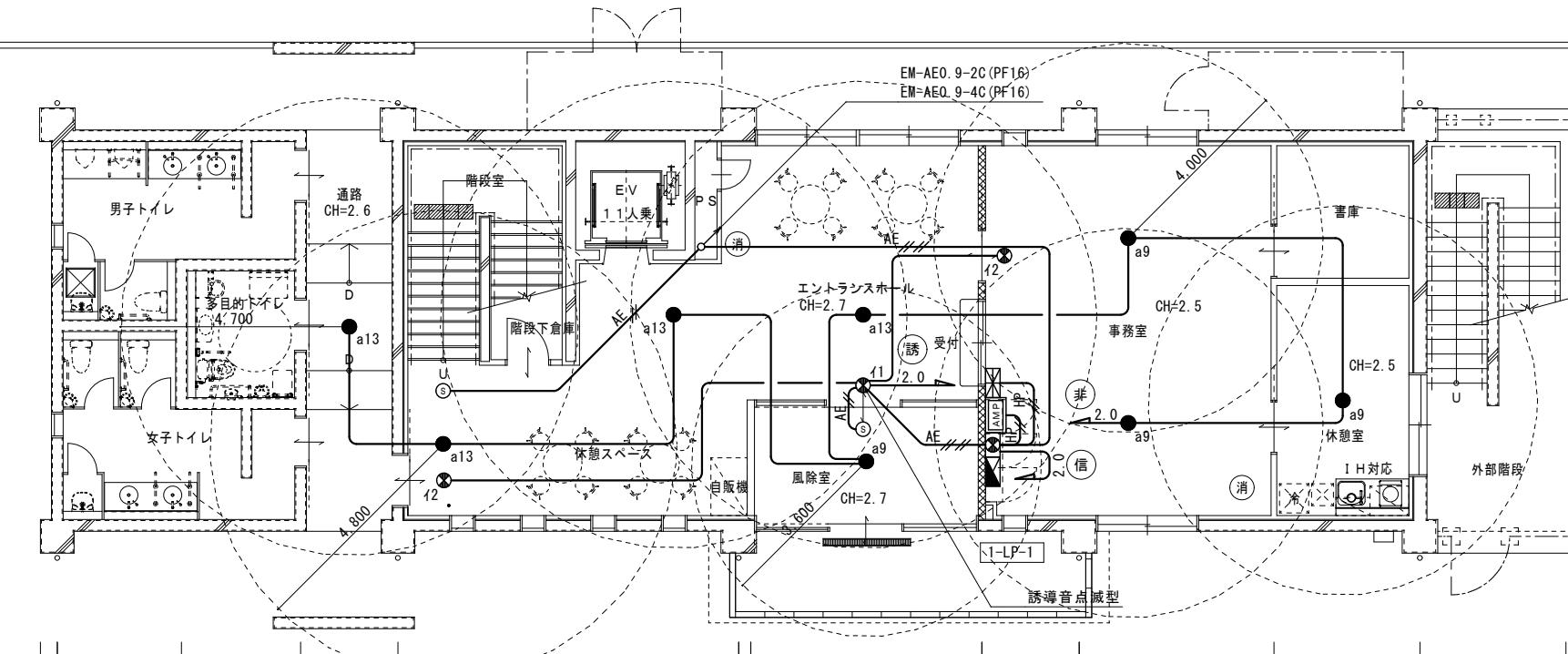
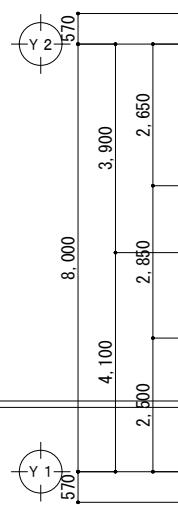
器具参考姿図

a9	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付	a13	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付						
									
	保守率 : 0.92 KO143779 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 単体配置 A1 3.8 4.0 4.0 2.8 直線配置 A2 8.5 9.4 9.9 10.1 四角配置 A4 6.9 7.6 8.1 8.9		保守率 : 0.92 KO143780 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.9 3.3 直線配置 A2 9.3 10.2 10.8 11.9 12.9 四角配置 A4 7.4 8.2 8.7 9.6 11.7						
	告示1830号適合品・蓄電池内蔵(ハッテリ) 非常灯評定番号 : LALE-004		告示1830号適合品・蓄電池内蔵(ハッテリ) 非常灯評定番号 : LALE-004						
	公共型番 : K1-LRS11-1 NNFB91605K相当品		公共型番 : K1-LRS11-2 NNFB91605C相当品						
11	LED誘導灯	12	LED誘導灯	13	LED誘導灯	14	LED通路誘導灯		
	LED B級・BL形 誘導音付点滅型避難口誘導灯片面型 		LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型 		LED C級 避難口誘導灯片面型 		LED B級・BL形 通路誘導灯両面型 		
	LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号 : 1AM111-3546 公共型番 : SH1-FSF20AF-BL FA20337LE1+FK20000相当品		LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号 : 1AM111-3209 公共型番 : SH1-FSF20-BL FA20312CLE1+FK20000相当品		LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号 : 1AS111-3618 公共型番 : SH1-FSF20-C FA10312CLE1+FK10300参考品		LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 両面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号 : 1AM221-3620 公共型番 : ST1-FSF23-BL FA20322CLE1+FK20316+FK20317相当品		
01	LED一体型階段灯 階段通路誘導灯兼用型	02	誘導灯信号装置		非常灯専用型リモコン				
			誘導音+点滅用(1回路用) 		 ※1台納入する事。				
	告示1830号適合品・蓄電池内蔵(ハッテリ) 型式認定番号 : 3AE-1082 非常灯評定番号 : LALE-015 3800lm 29.6W ひとセンサ段調光30分。Hf3.2形器具1灯相当 非常時本体組合せLED点灯、非常灯評定番号 : LALE-015 本体:銅板(白銀塗装)、レンズ:ガラス 常用光ユニット(カバー):ボリュームホーネット(乳白) 電圧:100~242V対応、蓄電池:ニッケル水素電池 常用光ユニット:光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 自己点検機能付、リモコン:FSK90910K(別売) 公共型番 : LDS2-SK1-LBF11 パナソニック NNCF42135LE9相当品		信号回路定格容量:誘導音信号出力・点滅信号出力(DC24V合計2A) 消費電力:13W(最大負荷接続時16.7W) 電源電圧:100V 定格周波数:50/60Hz 充電モニタ付 型式認定番号: S11A-21 パナソニック FSK90910K相当品 FF90024K相当品						

特記事項	意見を聞いた建築設備士:エーエフ環境技術オフィス 水谷浩(建築設備士 第28D1-0077MT号)	株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 水戸 検図 三橋 圖面名称 非常用照明・誘導灯具姿図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
										縮尺	
										A2: NS A3: NS (原図:A2)	図面番号 E011



2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

**【誘導灯関連】**

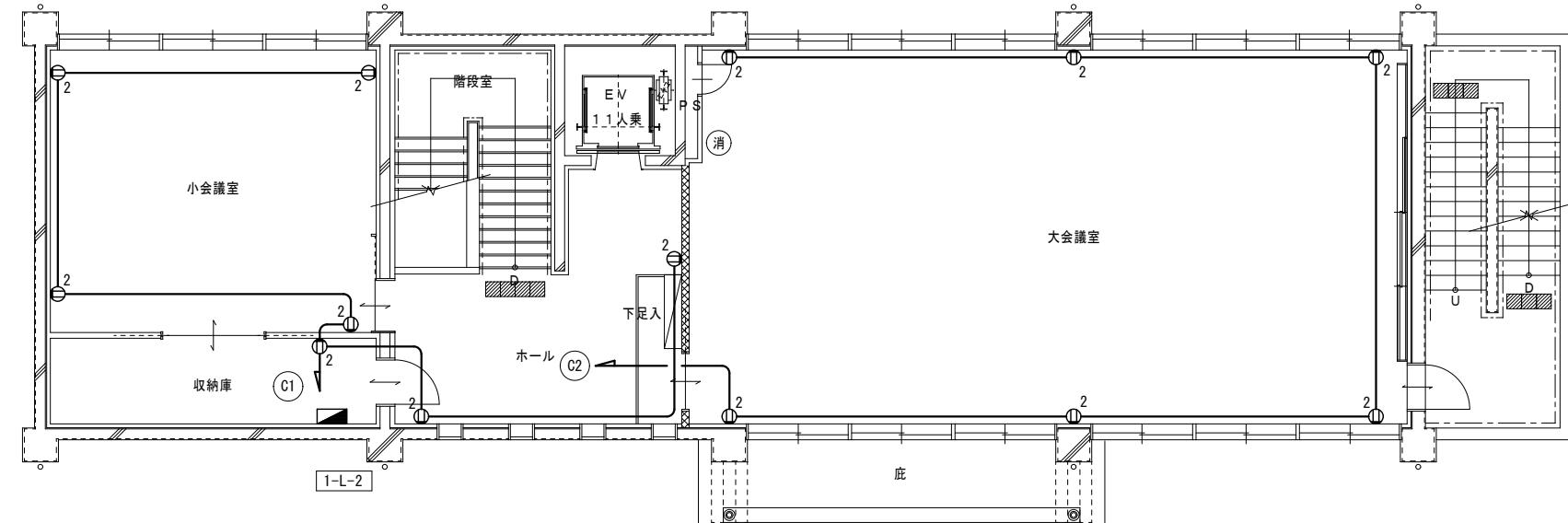
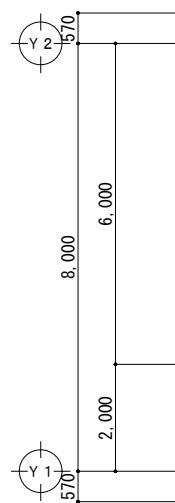
- 避難口誘導灯を設置する箇所の建具は、内側から鍵を用いらずサムターン等で手動開放可能とする。
- 誘導灯は専用電源とする。
- 誘導灯と非常用の照明装置の電源は別とする。

特記なき配線は下記による。
2.0 EM-EF2.0-3C(1C:E)(PF22)
— EM-EF1.6-3C(1C:E)(PF22)
HP EM-HP1.2-2C(PF16)
AE EM-AE0.9-2C(PF16)
AE EM-AE0.9-4C(PF16)

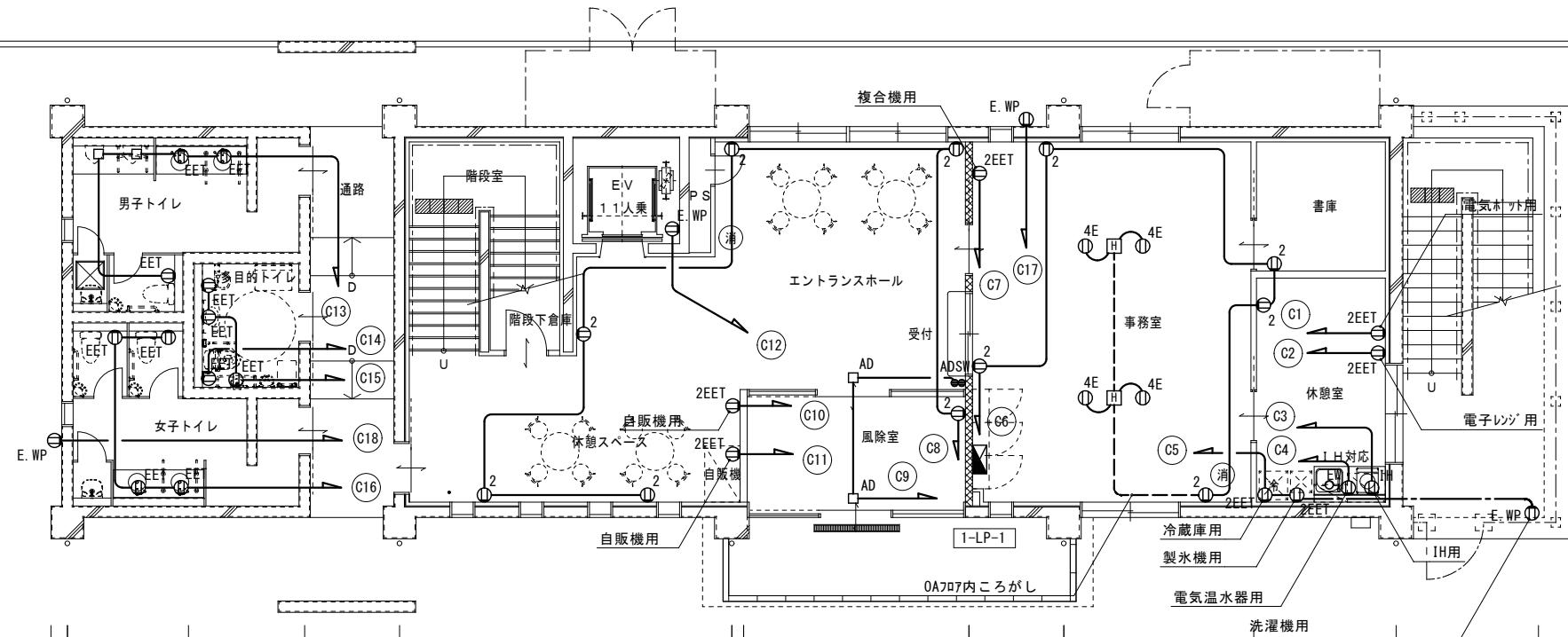
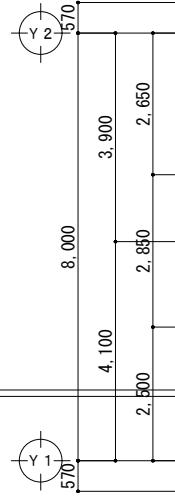
記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
■	電灯分電盤	
●	LED灯(非常照明用)	
□	誘導灯信号装置	
◎	避難口誘導灯	
□—□	階段通路誘導灯	
(○)	煙感知器 3種 自動試験機能付	

**【注記】**

- 配線は天井裏ころがしとし、P.S.及び軽量鉄骨壁下地の立下部分はP.F管にて保護すること。(立下露出部は金属線びにて保護する)
- 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



2階平面図 1/100

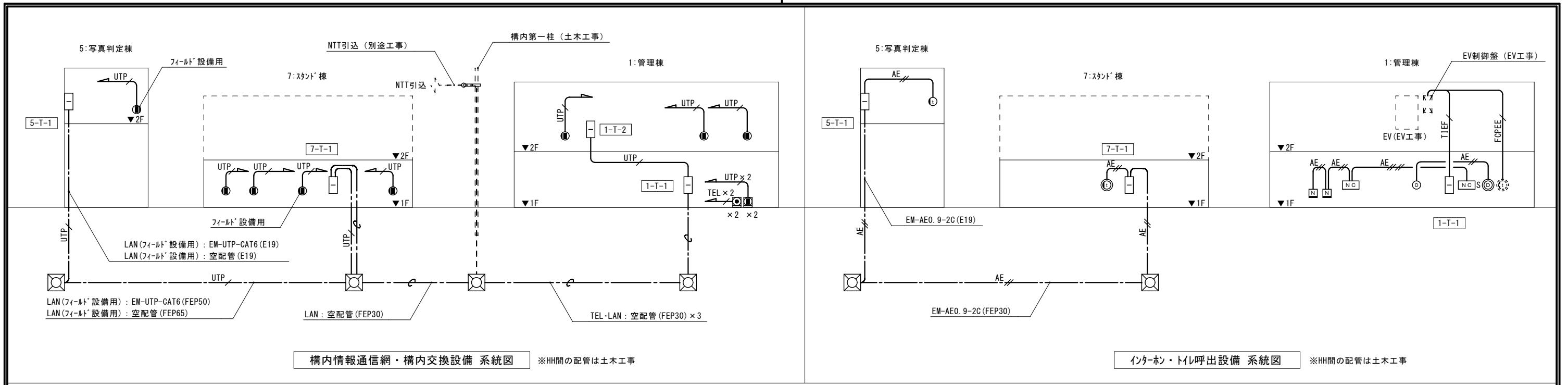


1階平面図 1/100

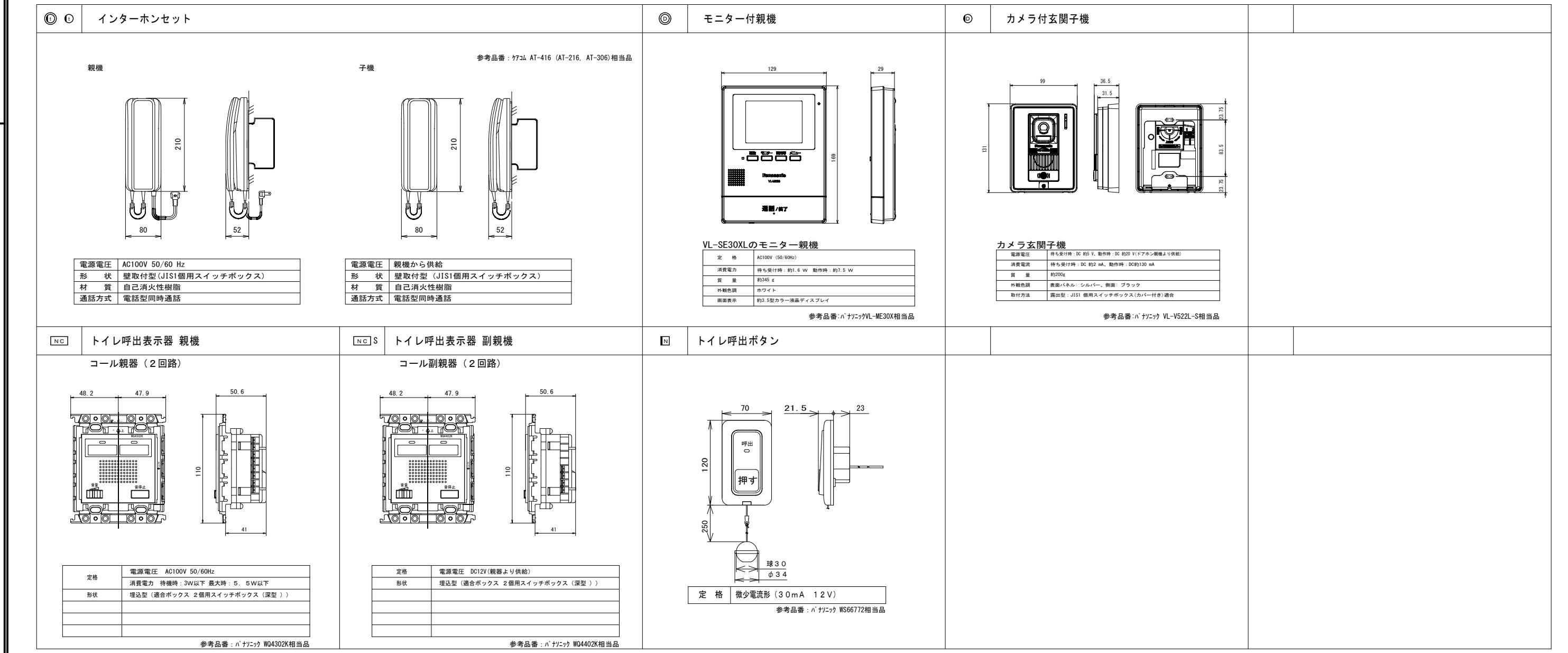
特記なき配線は下記による。		
EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)		
EM-EEF2.0-3C(1C:E) (FEP30)		

記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
■	電灯盤	
① 2	コンセント-壁付 2P15A×2	
① EET	コンセント-壁付 2P15A×1 EET付	
① 2EET	コンセント-壁付 2P15A×2 EET付	
① EW	コンセント-壁付 2P15A×1 ET付 電気温水器用	
① IH	コンセント-壁付 2P15A×1 E付100V IHクリッキングヒーター用	
① E.WP	防滴コンセント-壁付 2P15A×2 EET付 フル接地防水ダブル	
4E	ハーネス用0Aタップ 4ヶ口抜止接地付3m	
H	ハーネスジョイントボックス 2分岐送り付	
ADS	オートア用スイッチ	

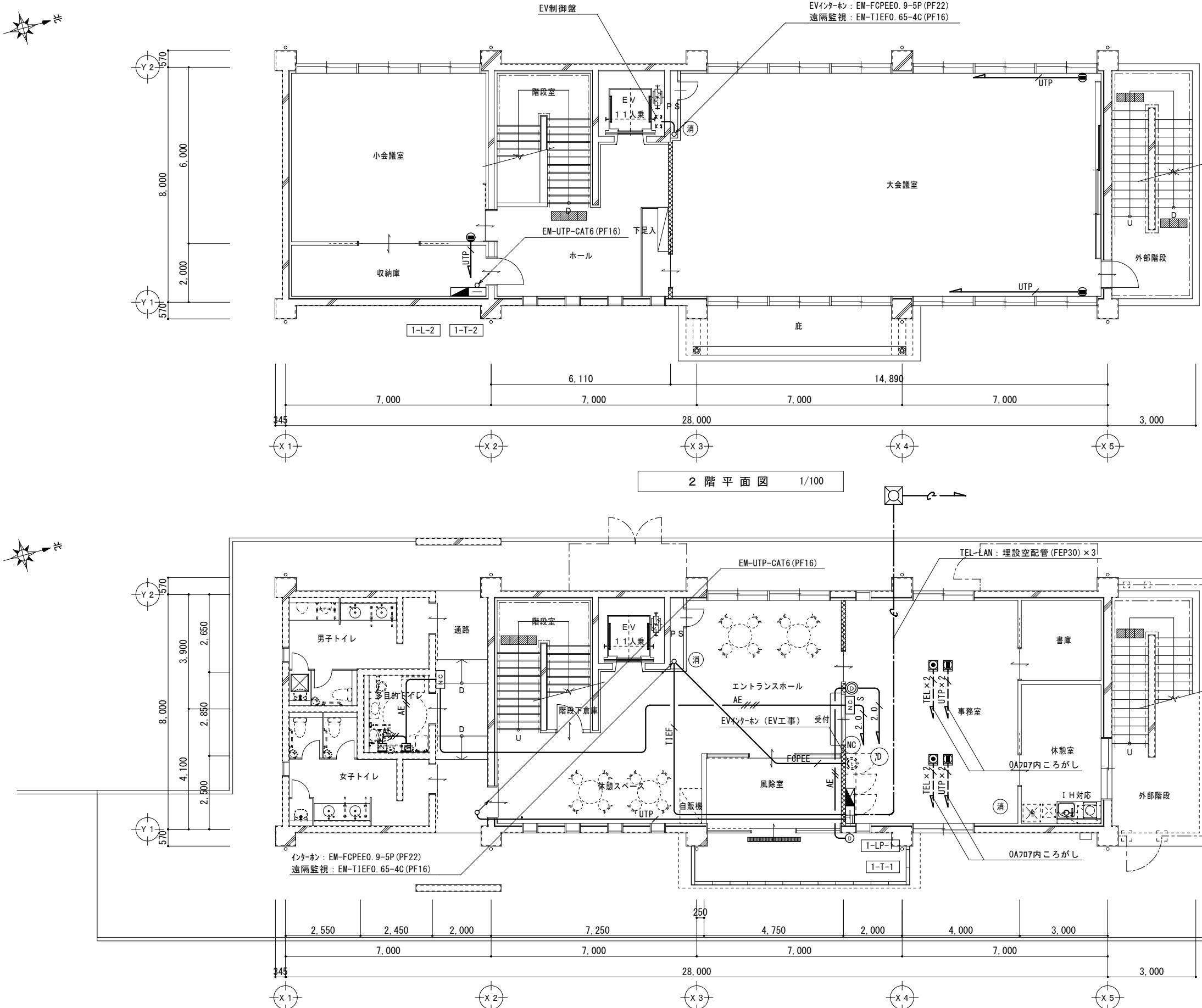
【注記】		
1. 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPF管にて保護すること。(立下露出部は金属線びにて保護する)		
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。		



参考機器姿図



特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士: エーエフ環境技術オフィス 水谷浩 (建築設備士 第28D1-0077MT号)		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 水道 検査 三種類	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日	



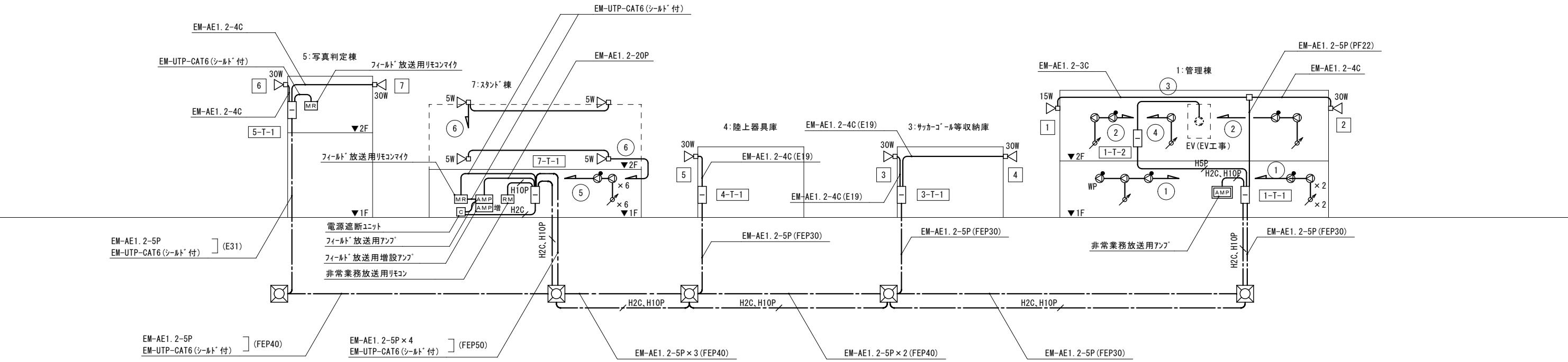
特記なき配線は下記による。		
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)	
UTP	EM-UTPCAT6(PF16)	LAN
TEL	空配管(PF22)	TEL
AE	EM-AE1.2-2C(PF16)	トイレ呼出・ドアポン
AE	EM-AE1.2-4C(PF16)	トイレ呼出
FCPEE	EM-FCPEEO.9-5P(PF16)	EVインターホン
TIEF	EM-TIEFO.65-4C(PF16)	EV遠隔監視
C	(FEP30)	

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	分電盤	
	端子盤	
	別途制御盤	
	情報用アタリット-壁付	
	情報用アタリット-二重床用	
	電話用アタリット-二重床用	
	ナースコール用受信盤-親機	
	ナースコール用受信盤-副親機	
	ナースコール押しボタン-壁付	
	ドアホン-親機	
	ドアホン	
	ハンドホール HH : R8K-60 900×900×900	土木工事

【注記】

1. 計線は天井裏ころがしとし、P.S. 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分は P.F 管にて保護すること。（立下露部は金属線びにて保護する）
2. 計線の接続はジョイントボックスを設けること。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表 設計者	設計 担当	設計 担当	設計 担当	設計 担当	法適合 確認	作図	工事 名称	設計 日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				津市海浜公園内陸上競技場管理棟等増築その他工事	
									検図	図面 名称	縮 尺
										【①管理棟】弱電設備 1階平面図、2階平面図	A2:1/100 A3:1/141 E015 (原図:A2)



### 拡声設備 系統図

特記なき配線は下記による。	
_____	EM-HP1.2-3C(PF16)
H2C	EM-HP1.2-2C(カットリレー用)
H5P	EM-HP1.2-5P(PF22)
H10P	EM-HP1.2-10P(PF28)
H10P	EM-HP1.2-10P(FEP30)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
—	端子盤	
[AMP]	非常業務放送用アンプ	非常業務放送
[RM]	非常業務放送用リモコン	非常業務放送
(S)	スピーカー	非常業務放送
(S)	スピーカー・アッテネータ付	非常業務放送
(S) WP	スピーカー・アッテネータ付-防滴形	非常業務放送
□ S 5W	スピーカー・ホーン形	非常業務放送
→	アッテネータ	非常業務放送
[C]	電源遮断ユニット	非常業務放送
[AMP]	フィールド放送用アンプ：240W	フィールド放送
[AMP] 増	フィールド放送用増設アンプ：120W	フィールド放送
[MR]	フィールド放送用リモコンマイク	フィールド放送
□ S 30W	スマリムスピーカー	フィールド放送
□ S 15W	スピーカー・ホーン形	フィールド放送
[S]	マンホール又はハンドルホール	

【注記】

- 施工は現状を十分調査の上、配管配線及び機器の撤去を行うこと。
- 配線は天井裏ところがしとし、P S及び軽量鉄骨壁下地の立上げ部分はP F管にて保護すること。  
(立下露部は金属縫綴にて保護する)
- 既設配線との接続はジョイントボックスを設けること。
- コア抜配線箇所は壁とし、スリーブ開口はも100未満  
(間隔は4D以上確保)とし、鉄筋探査の上施工すること。  
(コア抜は弱電含め最小限にとどめる)
- 非常放送アンプは、専用電源とする。
- 自動火災報知設備と連動させる。
- 鳴動方式は一斉鳴動とする。
- タイムアップは3分とする。
- 管理棟とスタンド棟のメッセージ内容を別とする。  
「管理棟1階で・・・」「スタンド棟で・・・」
- フィールド放送用スピーカーは、フィールド放送用アンプで各回線ごとの音量調節を行う。
- 放送設備を非常警報以外の目的と共に用する場合は、非常に自動的に非常警報以外の放送を停止できるようにする。
- タイムアップは3分以内とする。  
※現場確認者と防災ｾﾝﾀｰ等の監視者が確保され、現場確認者等から内線電話等により、現場確認の通報が当該防災ｾﾝﾀｰ等に伝達される体制が整っている場合は5分以内。
- 非常放送設備のAMP及びスピーカーは、消防認定品とする。

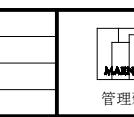
【非常業務放送系統図】				
No.	系統番号	棟	系統名称	
			階	名称（放送エリア）
1	(1)	管理棟	1	1階
2	(2)	管理棟	2	2階
3	(3)	管理棟	1~2	EV
4	(4)	管理棟	1~2	階段
5	(5)	スタンド棟	1	1階
6	(6)	スタンド棟	2	2階（スタンド）
7				予備
8				予備
9				予備
10				予備

系統番号	◎	◆	◎ WP	□ 5W	合計
①	3	2	1		
②	2	2			
③	1				
④	1				
⑤	6	1			
⑥				4	
計	13	5	1	20	39W

### 【フィールド放送系統図】

No.	系統番号	棟	名称（放送エリア）
1	1	管理棟	フィールド
2	2	管理棟	練習路
3	3	サッカーコート棟収納庫	フィールド
4	4	サッカーコート棟収納庫	フィールド
5	5	陸上器具庫	フィールド
6	6	写真判定棟	フィールド
7	7	写真判定棟	フィールド
8			予備
9			予備
10			予備
14			
15			

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



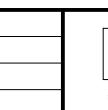
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
						検図 	図面名称 拡声設備 系統図・凡例・注記	縮 尺 A2: NS A3: NS 図面番号 E016 (原図:A2)

## 参考機器姿図

非常業務放送設備 ブロック図	壁掛型非常業務放送用アンプ	壁掛型非常業務放送用リモコン	天井埋込型スピーカー (ATT無)	防滴天井露出型スピーカー ATT付																							
<p>【管理棟】1階 事務室</p> <p>壁掛型業務放送装置 90W 10回線+一齊 緊急優先一齊 一齊 1 5 1 10 ブロック 回線選択 SP SP 1 10 スピーカー回線出力 SP SP 1 10 非常制御 RB AC100V プログラム タイマー</p> <table border="1"> <tr><td>常用電源</td><td>AC 100 V 50/60 Hz</td></tr> <tr><td>非常電源</td><td>D C 24 V 密閉型ニカド電池実装</td></tr> <tr><td>定格出力</td><td>90 W</td></tr> <tr><td>非常系統数</td><td>10 系統</td></tr> <tr><td>入出力</td><td>音声入力×7、制御入力×2 7、制御出力×3</td></tr> <tr><td>回線短絡保護</td><td>ヒューズレス方式</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>ライン：5 Hz～15 kHz</td></tr> <tr><td>非常警報音</td><td>音声警報、4ヶ国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応可 中国語、韓国語対応には所轄消防署との協議必要</td></tr> <tr><td>緊急放送</td><td>スイッチ×4（内蔵音源再生）</td></tr> <tr><td>チャイム</td><td>上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>ケース：鋼板 ライトアイボリー</td></tr> <tr><td>その他</td><td>緊急地震放送法制化対応、一齊移行タイマー内蔵、 自然空冷デジタルパワーアンプ採用、 放送選択スイッチの設定の任意登録、 セルフチェック機能、音声過入りリミット機能、 出火警メッセージ：81種類（ソフトウェアで組合せ可）</td></tr> </table> <p>参考品番：TOA FS10-910 相当品</p>	常用電源	AC 100 V 50/60 Hz	非常電源	D C 24 V 密閉型ニカド電池実装	定格出力	90 W	非常系統数	10 系統	入出力	音声入力×7、制御入力×2 7、制御出力×3	回線短絡保護	ヒューズレス方式	周波数特性	ライン：5 Hz～15 kHz	非常警報音	音声警報、4ヶ国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応可 中国語、韓国語対応には所轄消防署との協議必要	緊急放送	スイッチ×4（内蔵音源再生）	チャイム	上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類	仕上	ケース：鋼板 ライトアイボリー	その他	緊急地震放送法制化対応、一齊移行タイマー内蔵、 自然空冷デジタルパワーアンプ採用、 放送選択スイッチの設定の任意登録、 セルフチェック機能、音声過入りリミット機能、 出火警メッセージ：81種類（ソフトウェアで組合せ可）	<p>AMP</p> <p>壁掛型非常業務放送用アンプ</p> <p>RM</p> <p>壁掛型非常業務放送用リモコン</p> <p>◎</p> <p>天井埋込型スピーカー (ATT無)</p> <p>◎</p> <p>天井埋込型スピーカー (ATT付)</p> <p>L級</p> <p>スピーカーユニット 16 cmコーン型 定格入力 6 W/3 W/1 W 出力音圧レベル 93 dB/W (1 m) 周波数特性 80 Hz～14 kHz 入力インピーダンス 1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ 本体仕上 黒色モールド成型 パネル アルミバンディング アッテネータ 4段階（大/中/小/切）</p> <p>参考品番：TOA FS-1010RM 相当品</p> <p>型式：SC6Hi-1V0-M, SC6Hi-1V3-M</p>	<p>◎</p> <p>天井埋込型スピーカー (ATT付)</p> <p>L級</p> <p>スピーカーユニット 16 cmコーン型 定格入力 6 W/3 W/1 W 出力音圧レベル 93 dB/W (1 m) 周波数特性 80 Hz～14 kHz 入力インピーダンス 1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ 本体仕上 黒色モールド成型 パネル アルミバンディング アッテネータ 4段階（大/中/小/切）</p> <p>参考品番：TOA PC-2238TWP 相当品</p>	<p>WP</p> <p>防滴天井露出型スピーカー ATT付</p> <p>L級</p> <p>定格入力 3 W (3.3 kΩ), 2 W (5 kΩ), 1 W (10 kΩ) 出力音圧レベル 94 dB (1 W, 1 m) 周波数特性 160 Hz～16 kHz スピーカー 防滴 12 cmコーン型 仕上 ケース：樹脂 ライトグレー 音量調節器 5段切換 その他 防水性能：IPX4 (天井 (水平部) 施工時)</p> <p>参考品番：TOA FS-1010RM 相当品</p>
常用電源	AC 100 V 50/60 Hz																										
非常電源	D C 24 V 密閉型ニカド電池実装																										
定格出力	90 W																										
非常系統数	10 系統																										
入出力	音声入力×7、制御入力×2 7、制御出力×3																										
回線短絡保護	ヒューズレス方式																										
周波数特性	ライン：5 Hz～15 kHz																										
非常警報音	音声警報、4ヶ国語「日本語+英語+中国語+韓国語」に対応可 中国語、韓国語対応には所轄消防署との協議必要																										
緊急放送	スイッチ×4（内蔵音源再生）																										
チャイム	上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類																										
仕上	ケース：鋼板 ライトアイボリー																										
その他	緊急地震放送法制化対応、一齊移行タイマー内蔵、 自然空冷デジタルパワーアンプ採用、 放送選択スイッチの設定の任意登録、 セルフチェック機能、音声過入りリミット機能、 出火警メッセージ：81種類（ソフトウェアで組合せ可）																										
	<p>5W</p> <p>ホーンスピーカー</p> <p>L級</p> <p>※スピーカー取付金具：SP-301</p>	<p>φ</p> <p>アッテネータ</p> <p>L級</p>	<p>φ</p> <p>アッテネータ</p> <p>L級</p>	<p>□</p> <p>電源遮断ユニット</p>																							
		<p>SH-05</p>	<p>V-1S</p>	<p>コンセント AC100 V, 50/60 Hz 電力容量 最大800 W 電流容量 最大10 A (ACアウトレット1個) 制御電源 DC24 V, 10 mA (非常制御信号RB) 制御方法 RB端子0 Vで商用電源出力をOFF 表示灯 (LED) 1 (通常時：緑色点灯、非常時：消灯) プレート 付</p>																							
特記事項																											

意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者

一級建築士  
第320204号  
前野 将輝

設計担当

一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当

一級建築士  
第378328号  
加藤 早妃

設計担当

一級建築士  
第360917号  
前田 祐作

法適合確認

水商  
検査  
三橋  
神野

工事名称

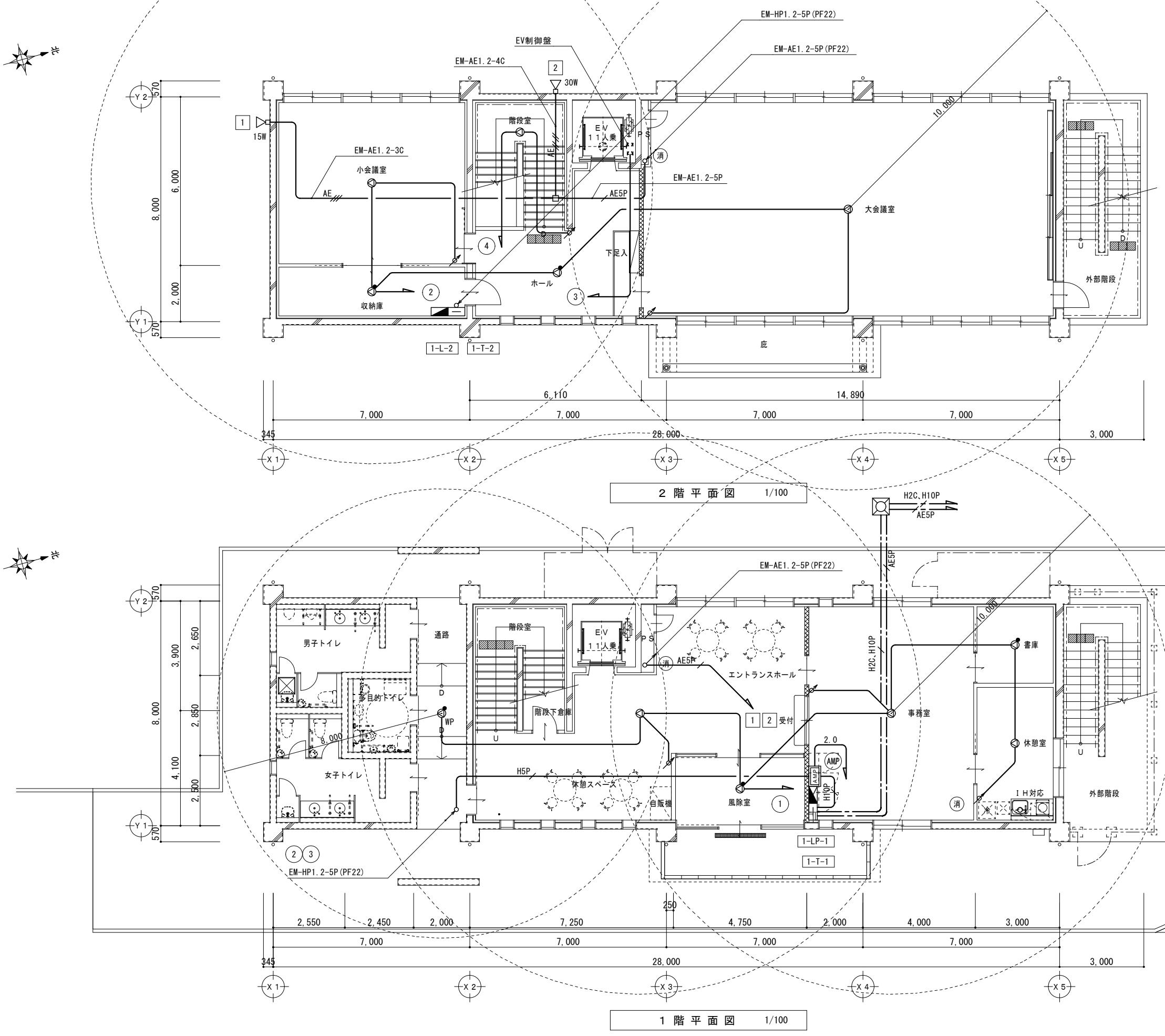
海浜公園内陸上競技場改修工事  
図面名称  
拡声設備（非常業務放送）機器姿図

設計日

縮尺  
A2: NS  
A3: NS  
図面番号  
E017  
(原図:A2)

## 参考機器姿図

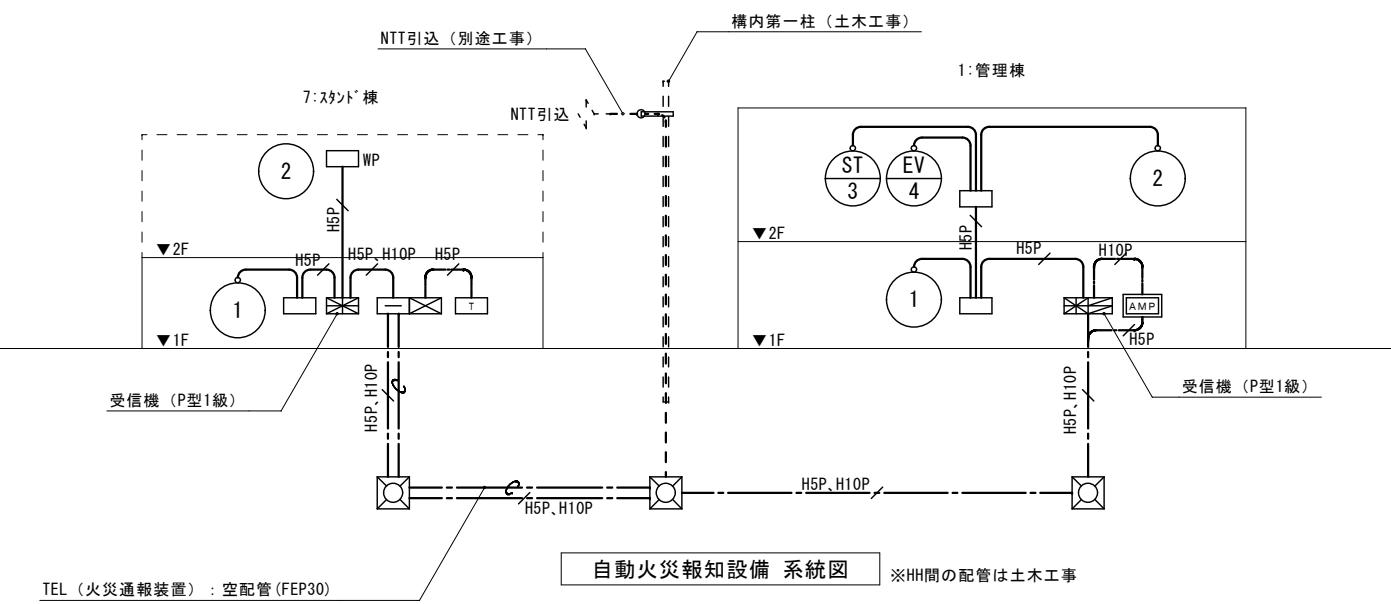
30W   スリムスピーカー 30W	15W   ホーンスピーカー	AMP   システムマネージメントアンプ	AMP 増   システムマネージメント増設アンプ																														
<p>■ 仕様</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>30 W</td></tr> <tr><td>定格インピーダンス</td><td>330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>390 Hz ~ 12 kHz (JIS C 5504)</td></tr> <tr><td>指向角</td><td>水平: 約90° (2 kHz), 垂直: 約20° (2 kHz)</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>ホーンスピーカー×4</td></tr> <tr><td>使用温度範囲</td><td>-20 °C ~ +55 °C</td></tr> <tr><td>保護等級</td><td>IPX5</td></tr> <tr><td>その他の仕上</td><td>JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる ケース: アルミ ライトグレー (マンセルN7.0近似色) 粉体塗装 前面ネット: アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1.0近似色) 塗装 取付ボルト類: ステンレス</td></tr> <tr><td>寸法</td><td>167 (W) × 665 (H) × 140.5 (D) mm (突起部を除く)</td></tr> <tr><td>質量</td><td>8 kg</td></tr> </table> <p>※スピーカー面は垂直または下向きに取り付けてください。 ※安全のため十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。</p> <p>■ 外観図</p> <p>(*)1) スピーカーケーブル (φ6.3 mm 2m先バラ AWG20相当) (*)2) 配線時のご注意 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。 (ご注意) スピーカーケーブルは、強風により捲れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</p> <p>スピーカー取付例 ※( )内は参考寸法値です。</p> <p>【注記】 スピーカーは、取付金物で「水平方向0° ~ 90°」「垂直方向0° ~ 5°」の範囲で可動出来るものとし、角度については監督員と協議の上決定とする。</p> <p>※スピーカー取付金具: Q-HA-1100A × 2個</p>	定格入力	30 W	定格インピーダンス	330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)	出力音圧レベル	114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)	周波数特性	390 Hz ~ 12 kHz (JIS C 5504)	指向角	水平: 約90° (2 kHz), 垂直: 約20° (2 kHz)	使用スピーカー	ホーンスピーカー×4	使用温度範囲	-20 °C ~ +55 °C	保護等級	IPX5	その他の仕上	JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる ケース: アルミ ライトグレー (マンセルN7.0近似色) 粉体塗装 前面ネット: アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1.0近似色) 塗装 取付ボルト類: ステンレス	寸法	167 (W) × 665 (H) × 140.5 (D) mm (突起部を除く)	質量	8 kg	<p>L級</p> <p>※スピーカー取付金具: SP-301</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3 kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>109 dB (1 W, 1 m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>315 Hz ~ 9 kHz</td></tr> <tr><td>その他</td><td>防水性能: IP65 ホーン色: オフホワイト</td></tr> </table> <p>型式: SH-15</p>	定格入力	15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3 kΩ)	出力音圧レベル	109 dB (1 W, 1 m)	周波数特性	315 Hz ~ 9 kHz	その他	防水性能: IP65 ホーン色: オフホワイト	<p>電源 AC 100 V 50/60 Hz, DC 24 V 定格出力 240 W 入力 入力×3 (マイク、ライン切換), BGM×2, 緊急ページング他 出力 録音、ライン、ブリ、スピーカー 回線選択キー 5局+一斉 (個別放送が可能) 制御入力 制御入力×3、電源制御、チャイム制御 機能 回線音量調節、内蔵チャイム×4、2台目増設、優先制御</p>	<p>電源 AC 100 V 50/60 Hz, DC 24 V 定格出力 120 W 入力 パワーアンプ 出力 スピーカー 回線選択キー 5局+一斉 (個別放送が可能) 制御入力 電源制御</p>
定格入力	30 W																																
定格インピーダンス	330 Ω (30 W), 500 Ω (20 W), 1 kΩ (10 W)																																
出力音圧レベル	114 dB (1 W, 1 m換算値) (JIS C 5504)																																
周波数特性	390 Hz ~ 12 kHz (JIS C 5504)																																
指向角	水平: 約90° (2 kHz), 垂直: 約20° (2 kHz)																																
使用スピーカー	ホーンスピーカー×4																																
使用温度範囲	-20 °C ~ +55 °C																																
保護等級	IPX5																																
その他の仕上	JIS C 5504 (ホーンスピーカー) に準じる ケース: アルミ ライトグレー (マンセルN7.0近似色) 粉体塗装 前面ネット: アルミ エキスパンドメタル 黒 (マンセルN1.0近似色) 塗装 取付ボルト類: ステンレス																																
寸法	167 (W) × 665 (H) × 140.5 (D) mm (突起部を除く)																																
質量	8 kg																																
定格入力	15 W (670 Ω), 10 W (1 kΩ), 5 W (2 kΩ), 3 W (3 kΩ)																																
出力音圧レベル	109 dB (1 W, 1 m)																																
周波数特性	315 Hz ~ 9 kHz																																
その他	防水性能: IP65 ホーン色: オフホワイト																																
TOA HA-500MK2 相当品	MR   頂上型リモートマイク	TOA VM-2240 相当品	TOA VM-2120E 相当品																														
	<p>写真判定棟: 1台 スタンド棟: 1台</p> <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>DC 24 V (本体側より供給/A Cアダプター)</td></tr> <tr><td>マイク</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサー型</td></tr> <tr><td>操作部</td><td>全回線キー×1, グループキー×2, 回線選択キー×10, トークキー×1</td></tr> </table>	電源	DC 24 V (本体側より供給/A Cアダプター)	マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型	操作部	全回線キー×1, グループキー×2, 回線選択キー×10, トークキー×1	<p>木製ラック</p> <p>写真判定棟: 1台 スタンド棟: 1台</p> <table border="1"> <tr><td>仕上</td><td>表面: コート紙 黒 ガラス扉: 透明強化ガラス (鍵付), 270°開閉 その他 棚板2枚付、3U中継用パネル付属</td></tr> </table>	仕上	表面: コート紙 黒 ガラス扉: 透明強化ガラス (鍵付), 270°開閉 その他 棚板2枚付、3U中継用パネル付属																							
電源	DC 24 V (本体側より供給/A Cアダプター)																																
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型																																
操作部	全回線キー×1, グループキー×2, 回線選択キー×10, トークキー×1																																
仕上	表面: コート紙 黒 ガラス扉: 透明強化ガラス (鍵付), 270°開閉 その他 棚板2枚付、3U中継用パネル付属																																
TOA RM-200MJ 相当品		TOA WR-012TB 相当品																															



【注記】

- 配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPF管にて保護すること。(立下露出部は金属線びにて保護する)
- 配線の接続はジョイントボックスを設けること。

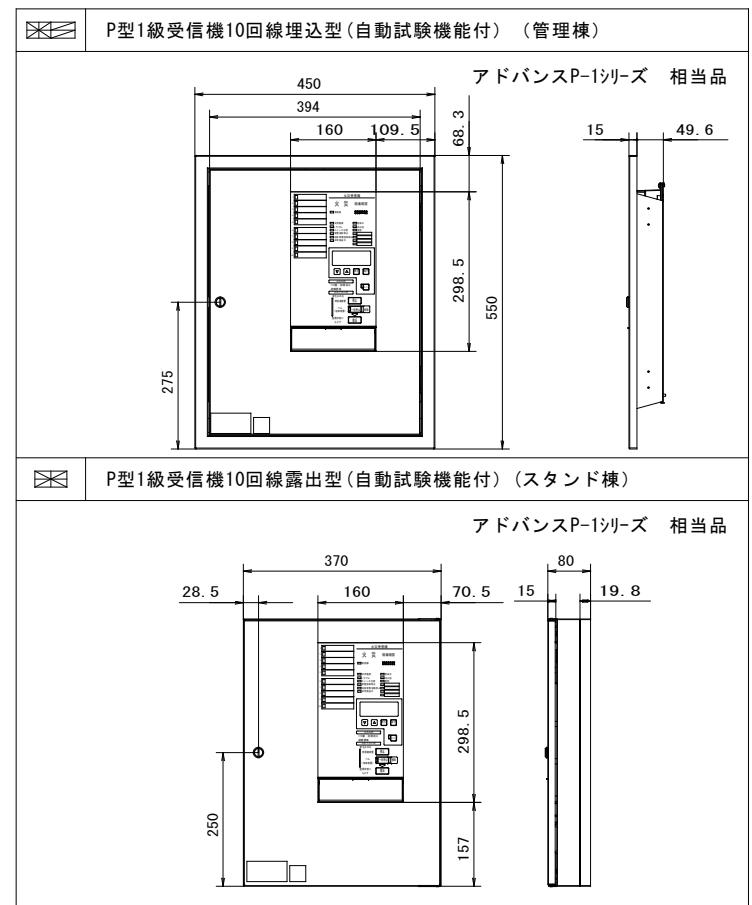
凡 例			
記 号	名 称	備 考	
■	受信機	P型1級 自動試験機能付	機器仕様参照 総合盤内組込
■	受信機	P型1級 自動試験機能付	機器仕様参照 露出壁付
◎	リング型表示灯付発信機	P型1級(管理棟)、P型1級(スタンド棟) アドレス付 AC・DC 24V LED式	
□	総合盤	○ 収容	露出壁付
□ WP	総合盤(屋外用)	○ 収容	露出壁付(屋外用)
□ S	光電式スポット型感知器	2種	自動試験機能付
□ S	光電式スポット型感知器	2種	点検ボックス付 自動試験機能付
□ D	差動式スポット型感知器	2種	自動試験機能付
□ W	差動式スポット型感知器	2種	防水 自動試験機能付
□ T	定温式スポット型感知器	1種 70°C 防水型	自動試験機能付
Ω	終端抵抗		
○ No	自火報警区域番号	平面区画	
○ ST No	自火報警戒区域番号	階段	
○ EV No	自火報警戒区域番号	エレベータ	
■	火災通報装置	アナログ回線用	露出壁付
□ T	火災通報専用電話機		
■	コア抜		



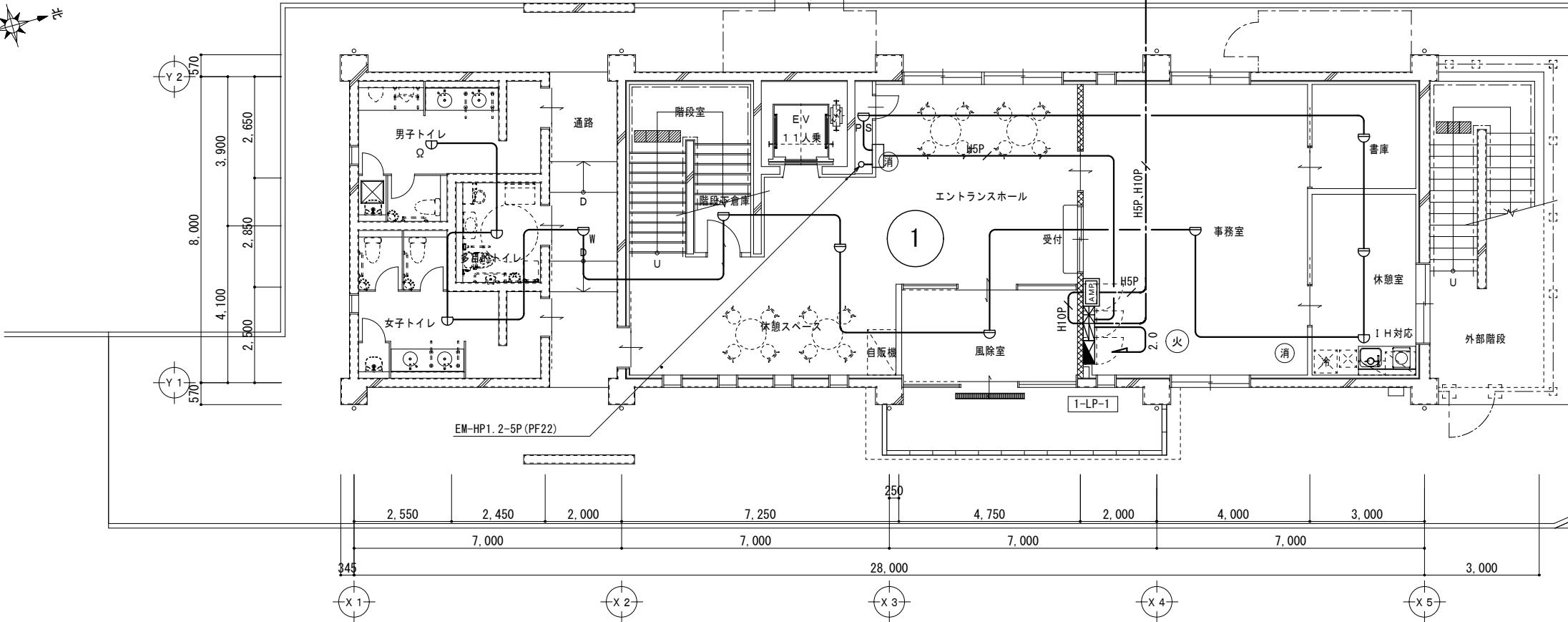
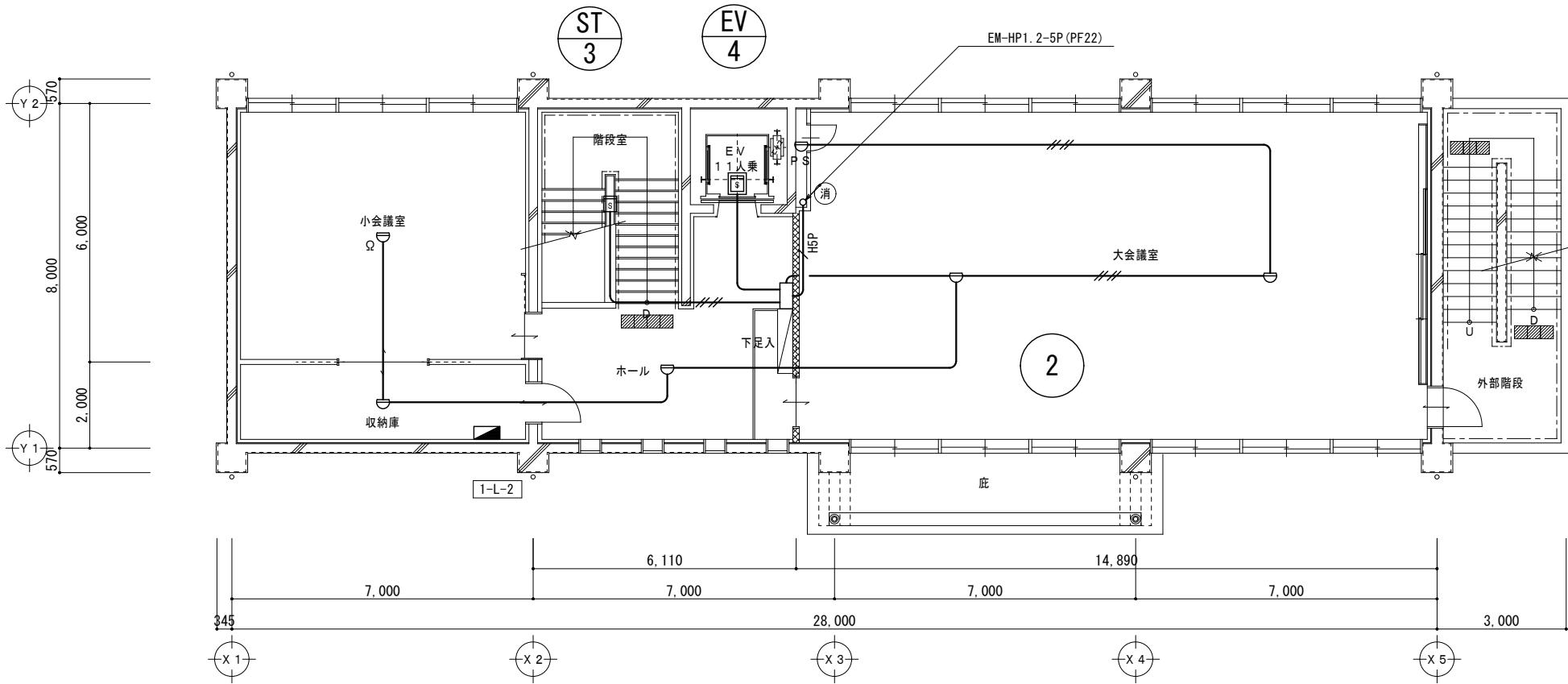
(注記事項)	
1. 記入なき配管配線は、下記とする。	
2.0 EM-EEF2.0-3C(1C-E) (PF22)	
EM-AE0.9-2C (PF16)	
EM-AE0.9-4C (PF16)	
H5P EM-HP1.2-5P (PF22)	
H10P EM-HP1.2-10P (FEP30)	
※二重天井内はコロガシ配線とする。	
配管保護の必要な場合、P F管にて保護とする。	
2. 界壁貫通部分には貫通処理を施すこと(平面図参照)	
3. (註):電灯盤の主幹ブレーカ1次側より専用回路にて電源供給(専用電源)とする。	
4. 火報受信機仕様	
1) P型1級、壁掛型、窓式、主音響(音声警報)内蔵、蓄積式 予備電源内蔵、自動断線警報機能付、非常放送連動型	
2) 表示内訳 ・火災表示 10L (P型1級)	
3) 諸表示部 (5L標準装備)	
4) 移報信号出力 ・エレベータ制御盤、非常放送アンプ、誘導信号装置	
5. 感知器の設置位置は、空気吹出口から1.5m以上離すこと。	
6. 鳴動方式は一斉鳴動とする。	
7. 非常放送設備と連動する。	
8. 鳴動方式はヒ'カ'鳴動とする。	

機器仕様	
P型1級受信機 自動試験機能付(小型)	
ア) 電 源	常用電源 AC 100V 50/60Hz 予備電源 DC 24V Ni cd蓄電池(1時間監視、10分間作動)
イ) 表 示	P型1級: 窓式 10回線(管理棟) P型1級: 窓式 10回線(スタンド棟) 自火報回線 10回線(予備5回線) 自火報回線 10回線(予備7回線) ・自火報 5回線 ・自火報 3回線
ウ) 機 能	
・発報階音声鳴動対応 ※区分: フロア、階段、エレベータ(増設スピーカ接続可) ・警報代表出力 4点(警報種別マルチ設定機能対応) ・フリースイッチ 4点(起動/移報停止) ・液晶表示機能付 自動試験機能付感知器のアドレス表示/部屋番号表示 ・操作ガイド機能付(液晶表示ガイド・音声ガイド) ・履歴管理機能(履歴情報の確認・取り出し等が可能) ・イベント履歴: 10,000件 自動試験結果履歴: 13,000件 ・自動試験機能付感知器は1回線当たり最大63個接続可能 (アドレスブースタ使用時)	

【火災通報装置関連】火災通報装置(本体)+電話機  
 1. NTT固定電話のIP網移行に支障がないように施工する。  
 2. 電話回線は火災通報装置専用とする。※一般回線と兼用する場合は、火災通報装置の機能に支障を生じさせない措置を講じる。  
 3. メッセージ内容は次のとおりとする。  
 ・住所は津市から  
 ・建物名称は2回繰り返し  
 ・電話番号は建物の代表電話番号  
 ・電話番号は059から  
 4. 専用電源とする



特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士: エーエフ環境技術オフィス 水谷浩(建築設備士 第28D1-0077MT号)	MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 法適合認証	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
				検査 三橋 前野 神野	
				図面名称 自動火災報知設備 系統図・凡例・注記	



**【注記】**

- 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPF管にて保護すること。(立下露出部は金属線びにて保護する)
- 配線の接続はジョイントボックスを設けること。

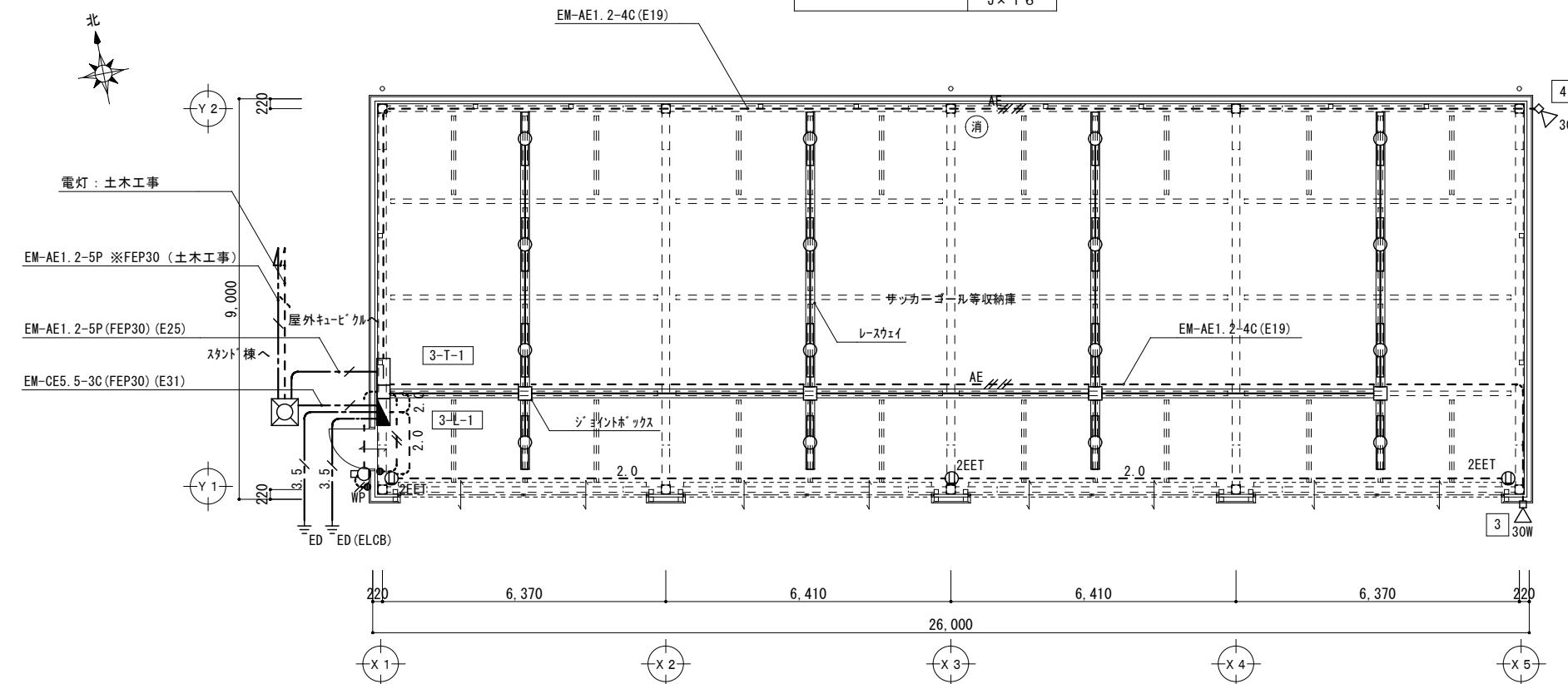
3-T-1

1

1

【分電盤仕様】

- 3-L-1 : 屋
  - 3-T-1 : 屋



平面図 1/100

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設  
一級建  
第32020  
前野 将

設計  
一級建築  
第307  
三橋

担当  
建築士  
846号  
五百子  
設  
一級  
第37  
加藤

設計  
一  
第3  
前

大計担当  
級建築士  
360917号  
田 祐作

設計担当

法適合確認

工事名称  
海浜公園  
図面名称  
【③サ】

## 園内陸上競技

支場改修工事

電灯・コンセント  
分電盤図

拡声設備 平面

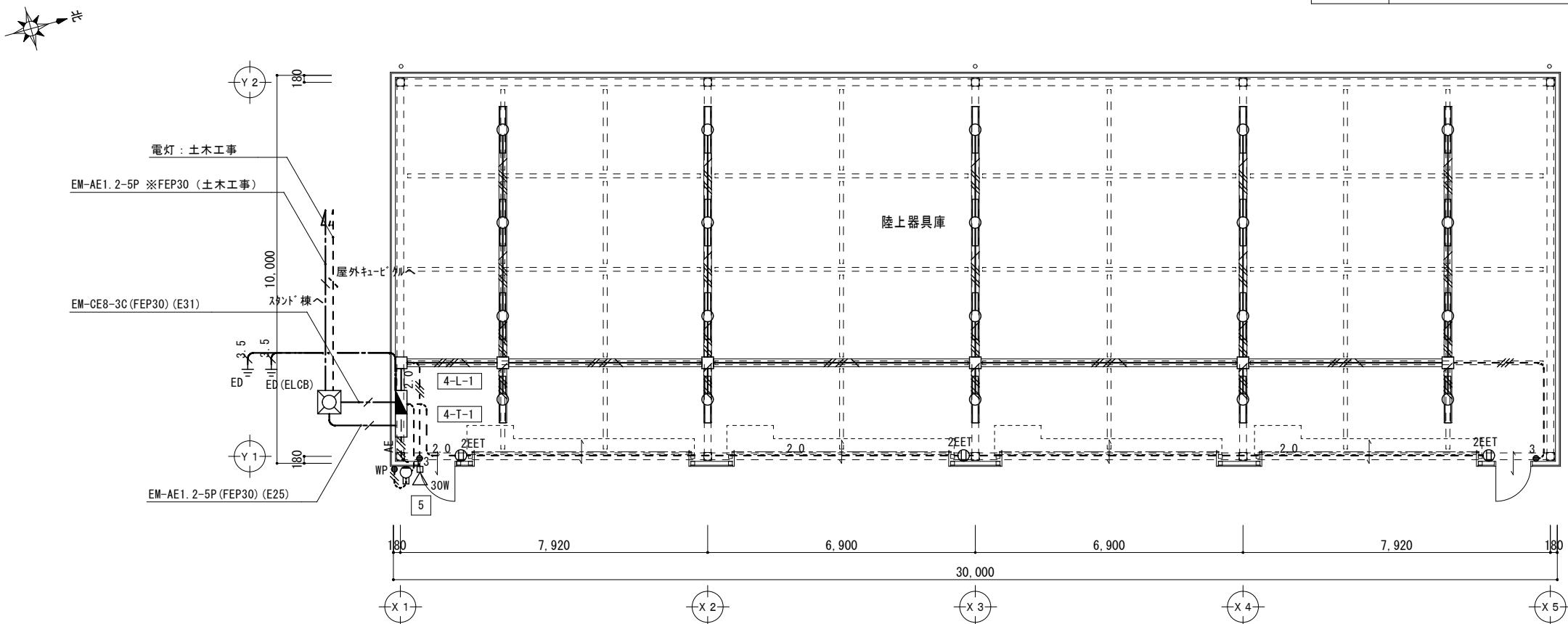
図 縮 尺  
A2:1/100  
A3:1/141



【分電盤仕様】

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	端子盤	
●	埋込スイッチ	1P15A×1
●WP	埋込スイッチ（防雨型）	1P15A×1
① 2EET	コンセント-壁付	2P15A×2 EET
± ED	接地極（D種）	接地極埋設標共
± ED (ELCB)	接地極（D種・ELCB）	接地極埋設標共
	パンельホール HH : R8K-60 600×600×600	

特記なき配線は下記による。	
- - 2.0 -	EM-IE2.0×3(1C:E)
- - # - -	EM-IE1.6×2(E19)
- - // - -	EM-IE1.6×3(E19)
- - - - -	EM-IE1.6×3(1C:E) (E19)
_____	EM-IE1.6×3(1C:E)
_____	EM-IE1.6×5(1C:E)
- - // / AE	EM-AE1.2-4C(E19)



平面図 1/100

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者  
一級建築士  
第320204号  
前野 将輝  
設計担当  
一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当 設計担当 設計  
一級建築士 一級建築士 設  
第378328号 第360917号 設  
加藤 早妃 前田 祐作 設

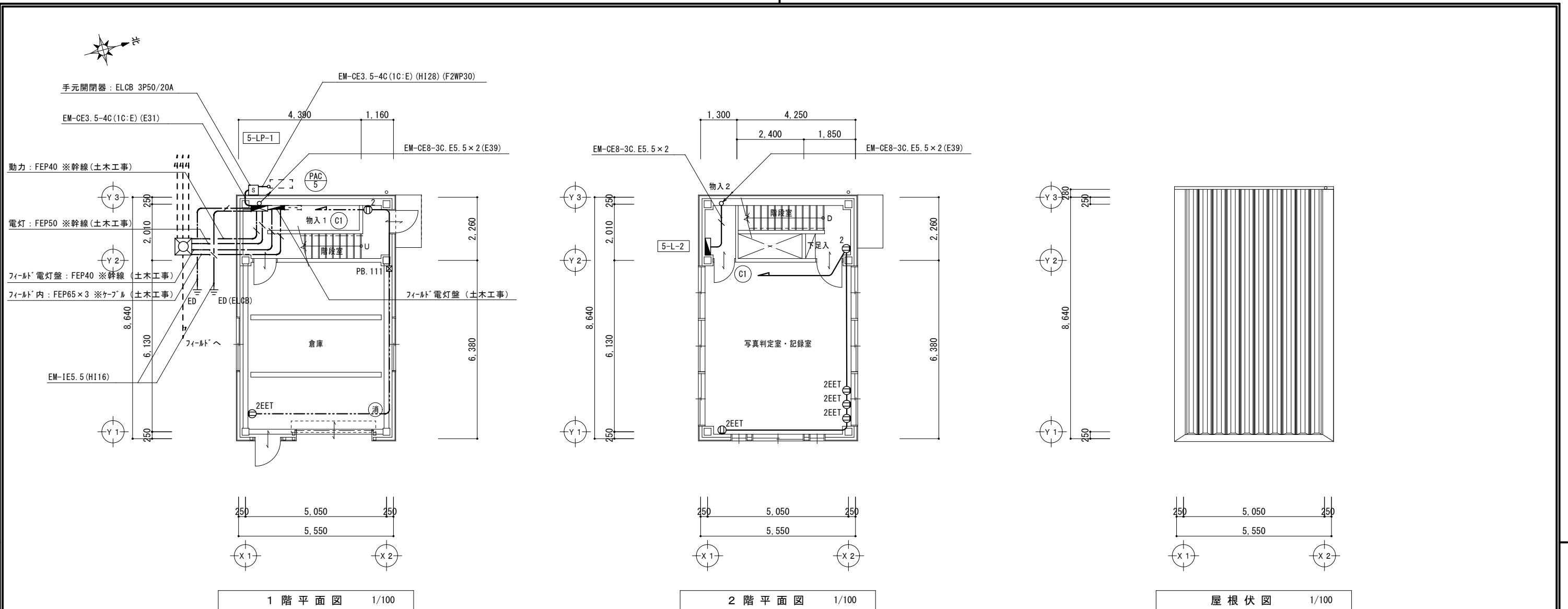
法適合性

水道  
検査  
三橋

工事名称  
海浜公園内  
図面名称  
【④】陸上器

【工具庫】電灯・コンセント・拡声

縮 尺  
A2:1/100  
A3:1/141



特記なき配線は下記による。		
---	EM-IE2.0×3(1C:E)(E19)	
—	EM-EEF2.0~3C(1C:E)(PF22)	

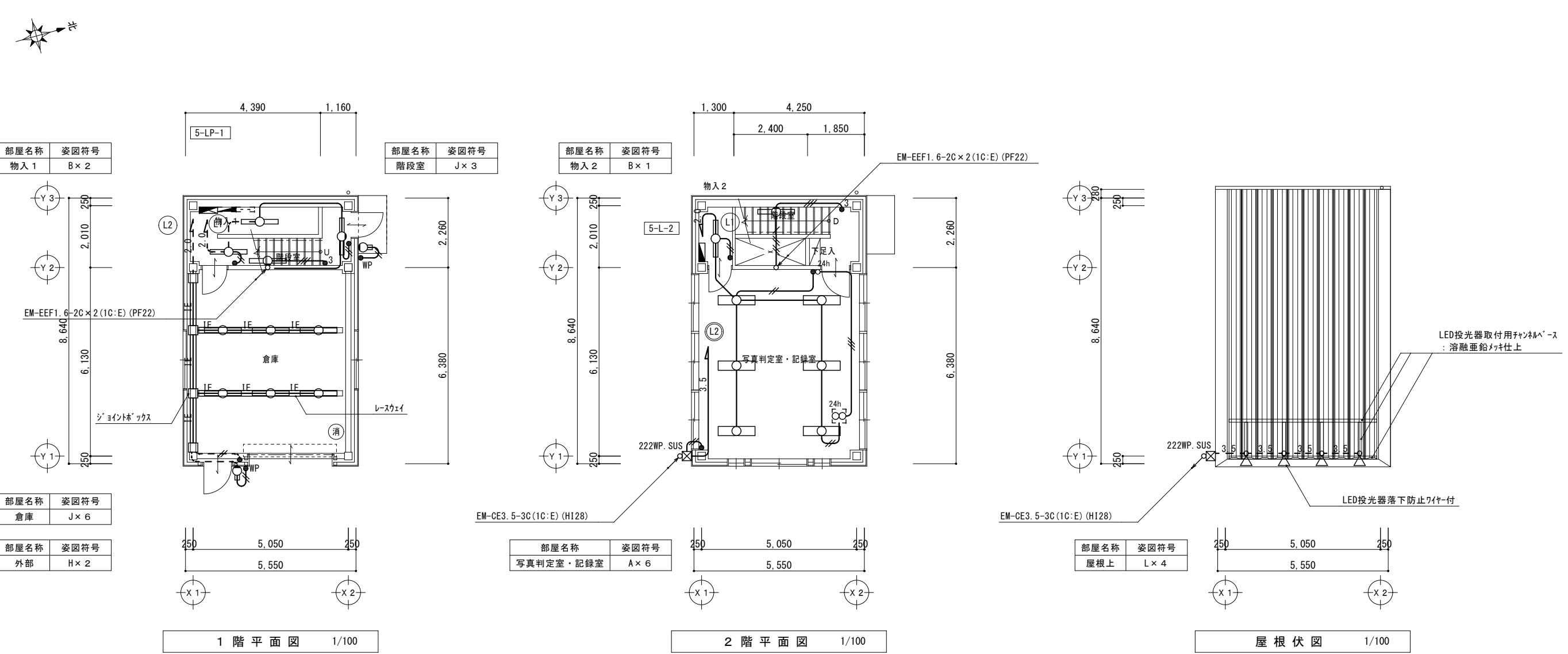
記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
■	電灯分電盤	
△ ED	接地極(D種) 接地極埋設標共	
△ ED(ELCB)	接地極(D種-ELCB) 接地極埋設標共	
○ S	開閉器	
① 2	コンセント壁付 2P15A×2	
① 2EET	コンセント壁付 2P15A×2 EET	
□ HH	R2K-60 900×900×900	

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧(V)			開閉器		リモコン リレー	容量(VA)		備考	
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P	AF/AT	照明	コンセント	
5-LP-1 1φ 3W 105/210V	誘			○		○	50/20		100		誘導灯
	5-L-2 送り 3.8 kVA										
	L1	○		○		○	50/20		103		写真判定棟1F照明
	L2	○		○		○	50/20		141		写真判定棟1F照明
	C1	○		○		○	50/20		300		写真判定棟1Fコンセント
		○	○		○	○	50/20		1,000		予備
		○	○		○	○	50/20		1,000		予備
				計 344		2,300					
				合計 2.6 kva							
				電灯							
				セパレーター							
				↓							
盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧(V)	負荷名称	設置場所	負荷容量(kw)	配線遮断器		二次側配線	動力		
5-LP-1 3φ 3W 210V	1	200	PAC-5	外部西側	2.40	○	50/20	EM-CE3.5-4C(1C:E)	H128		
				合計 2.40 kw							

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧(V)			開閉器		リモコン リレー	容量(VA)		備考	
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P	AF/AT	照明	コンセント	
5-L-2 1φ 3W 105/210V	T	○		○		○	50/20			150	5-T-1
	L1	○		○		○	50/20			308	写真判定棟2F照明
	L2	○	○	○	○	○	50/20			812	写真判定棟RF照明
	C1	○		○		○	50/20			750	写真判定棟2Fコンセント
		○	○	○	○	○	50/20			1,000	予備
		○	○	○	○	○	50/20			1,000	予備
				計 1,120		2,900					
				合計 4.0 kva							
				特記事項							

【分電盤仕様】			
・5-LP-1：屋内壁掛型			
・5-L-2：屋内壁掛型（上部付）			
・5-T-1：屋内壁掛型（上部・下部ダ'外付）			
・手元開閉器：屋外壁掛型（SUS製） ELCB 3P50/20A			

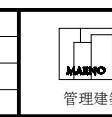
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			会社 MANO 株式 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第36917号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第36917号 前田 祐作	法適合確認 水商 検査 三橋 神野	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事			設計日 縮尺 図面番号 E024 (原図:A2)
	情報機器入出力	拡声	インターホン		情報機器入出力	20P	3P	露出2P15A×2		【写真判定棟】幹線・動力・コンセント設備 1階・2階平面図、分電盤図 A3:1/141	A2:1/100		



特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
●	埋込スイッチ	1P15A×1
● 3	埋込スイッチ	3W15A×1
● WP	埋込スイッチ（防雨型）	1P15A×1
	換気扇-天井付	機械設備
	換気扇-天井付（24H換気）	機械設備
○ 24h	スイッチ	機械設備 材料支給

特記なき配線は下記による。				
3.5	EM-CE3.5-3C(1C:E) (PF28)		EM-EEF1.6-3C+2C(1C:E) (PF28)	
- 3.5 -	EM-CE3.5-3C(1C:E) (HI28)	- - 2.0 -	EM-IE2.0×3(1C:E) (E19)	
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)		EM-IE1.6×3(1C:E)	
	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (PF22)	- - - - -	EM-IE1.6×3(1C:E) (E19)	
	EM-EEF1.6-3C(PF22)	- - # - -	EM-IE1.6×2(E19)	
	EM-EEF1.6-2C(PF16)			

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者  
一級建築士  
第320204号  
前野 将輝

設計担当  
一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当  
一級建築士  
第360917号  
前田 祐作

設計担当	法適合確認
	検査 E

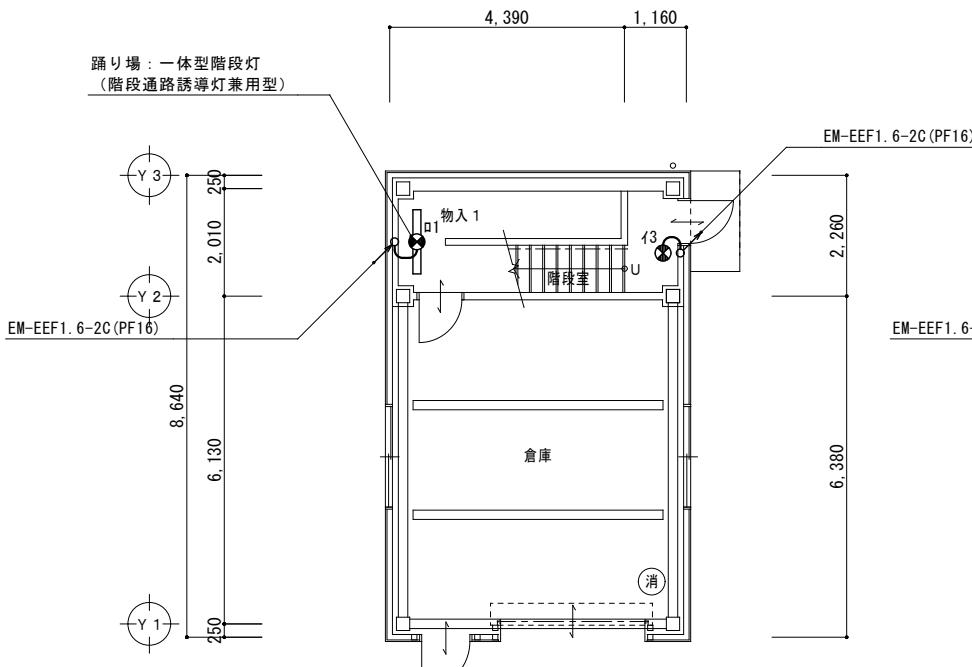
水商  
背筋  
三橋

工事名称  
**海浜公園内陸上競技場改修工事**

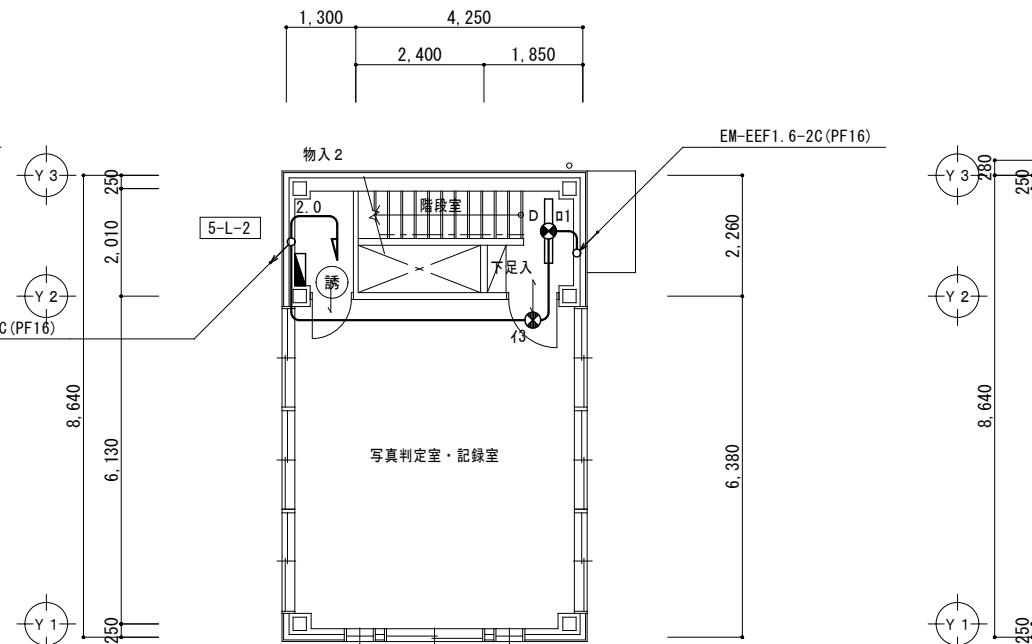
図面名称  
【⑤写真判定棟】電灯設備 1階・2階平面

縮尺  
A2: 1  
A3: 1

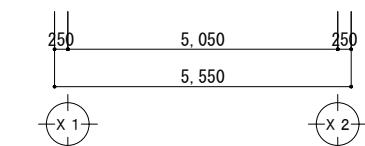
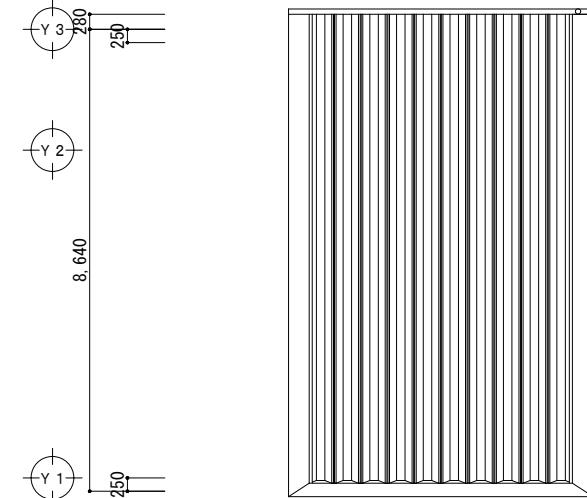
	設計日
尺 /100 /141	図面番号 E025 (原図:A2)



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

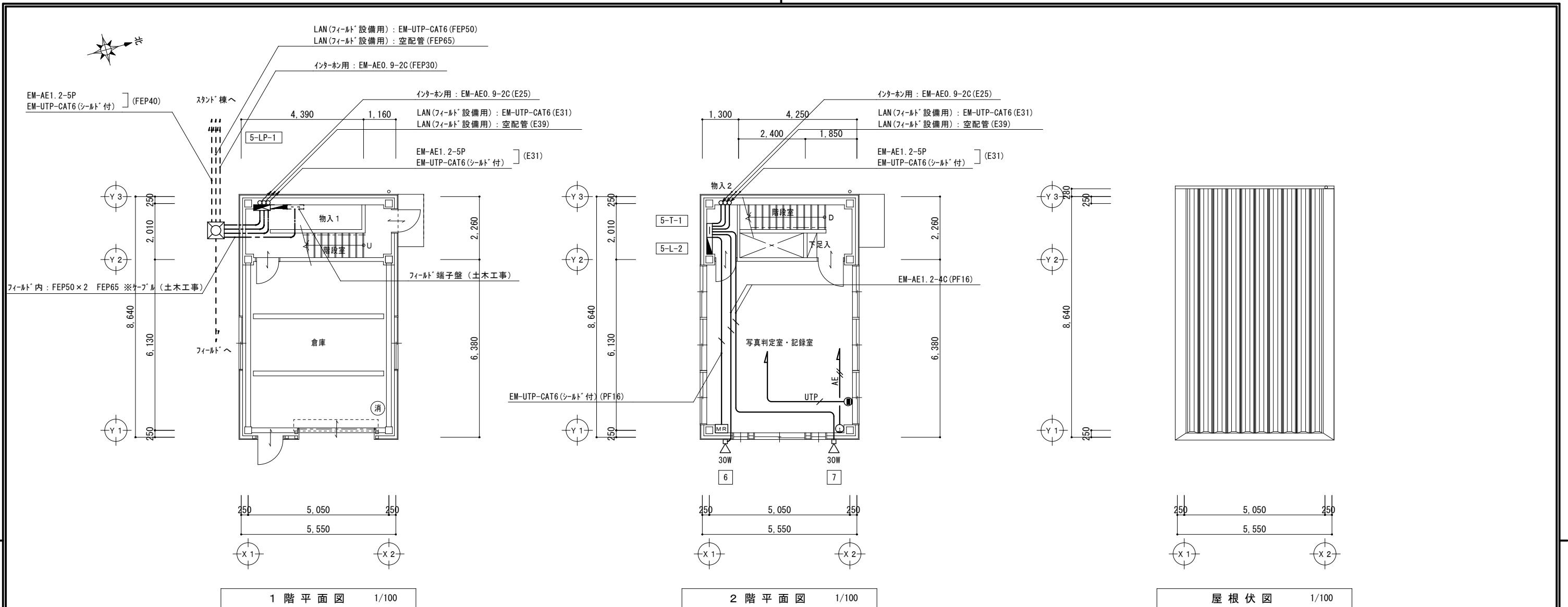
特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)
—	EM-EEF1.6-2C(PF16)

**【誘導灯関連】**  
 1. 避難口誘導灯を設置する箇所の建具は、内側から鍵を用いずサムターン等で手動開放可能とする。  
 2. 誘導灯は専用電源とする。  
 3. 誘導灯と非常用の照明装置の電源は別とする。

特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）

MAENO	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

工事名称 検査 三種類	海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【⑤写真判定棟】誘導灯設備 1階・2階平面図	設計日 縮尺 A3:1/141 A3:1/100 E026 (原図:A2)
-------------------	--	--



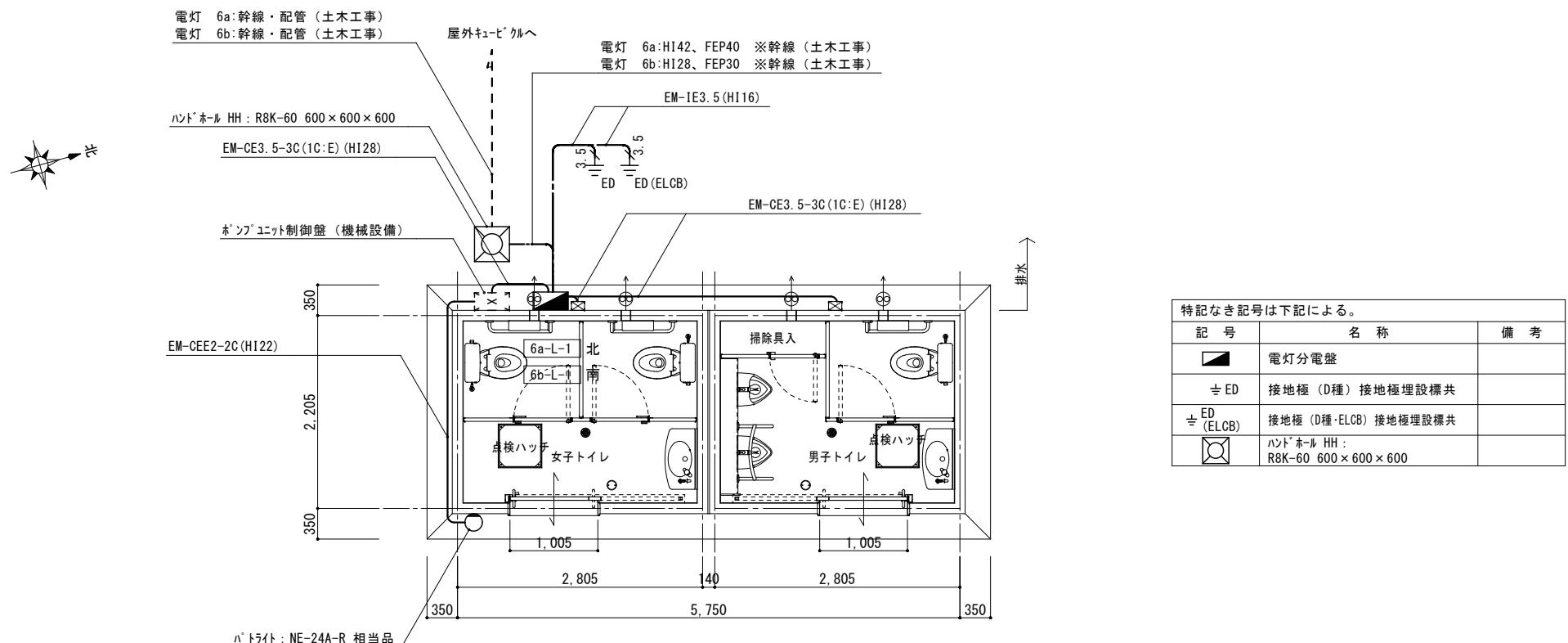
特記なき記号は下記による。		
UTP	EM-UTPCAT6(PF16)	LAN
AE	EM-AE0.9-2C(PF16)	インターホン

特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
■	分電盤	
□	端子盤	
●	情報用7ワットレト-壁付	
○	電話機形インターホン子機-壁付	
□	ハンドホール HH : R2K-60 900×900×900	

特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）

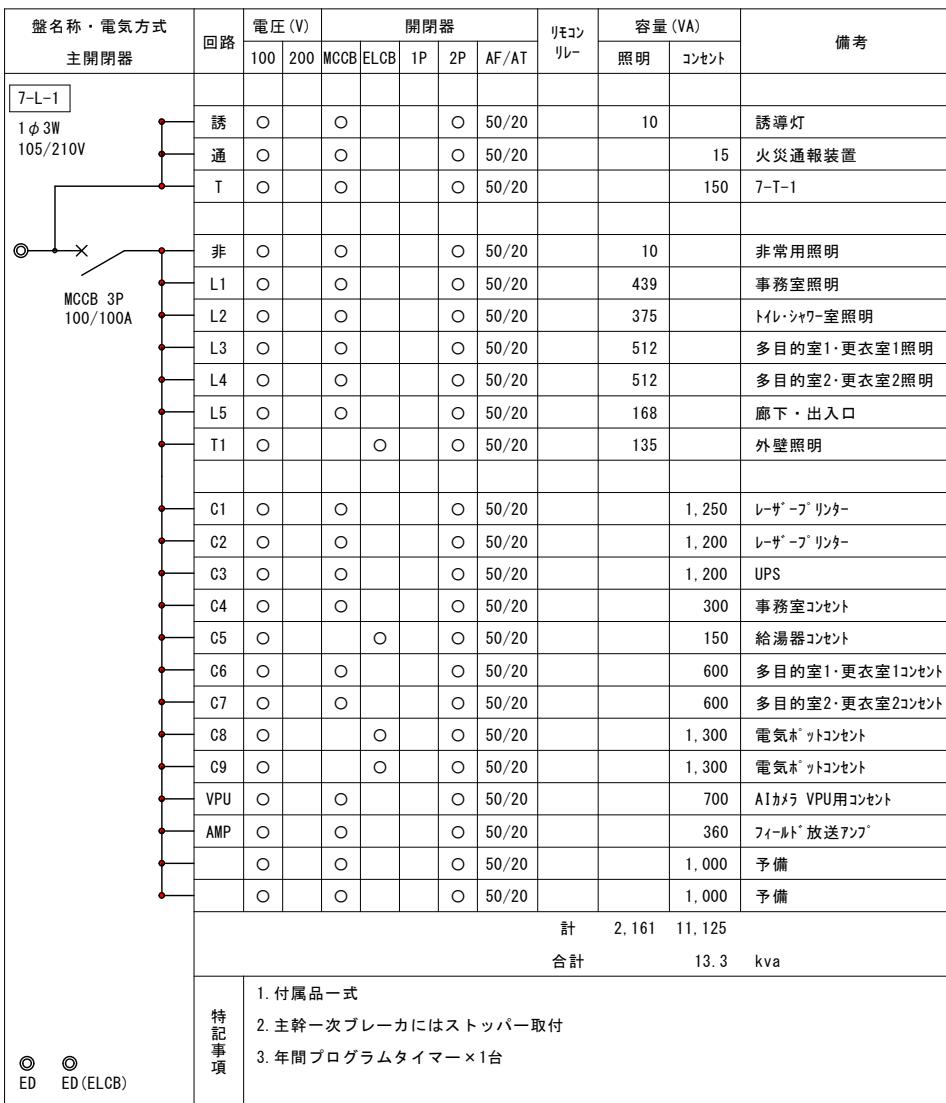
MAENO	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 法適合確認 ○	作図 水道 検査 三橋
-------	---	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	--------------------	----------------------

工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
図面名称 【⑤写真判定棟】弱電・拡声設備 1階・2階平面図	縮尺 A2:1/100 図面番号 E027 (原図:A2)



【分電盤仕様】

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作					
										横断面 【⑥屋外トイレ棟】幹線設備 平面図、分電盤図	縮尺 A2:1/50
										図面番号 E028 (原図:A2)	A3:1/70.7



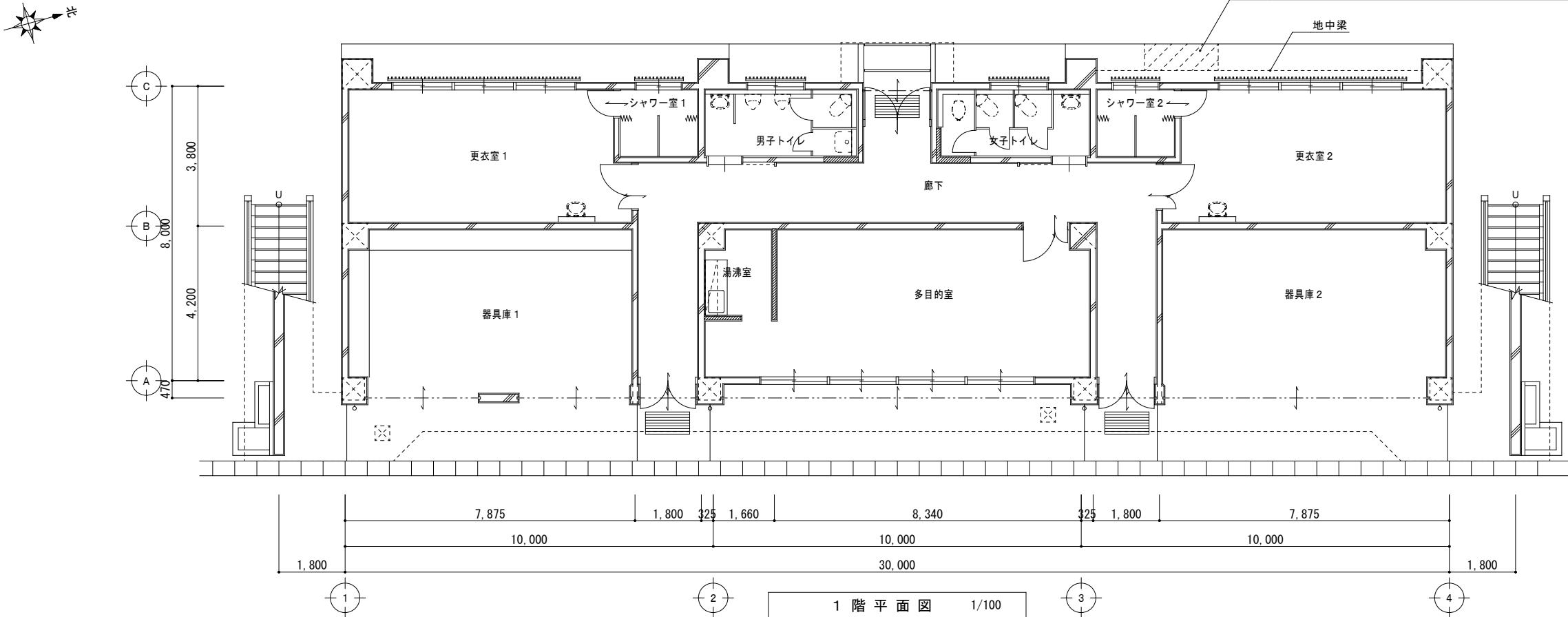
構内情報通信	拡声	コンセント
情報機器スペース	40P	露出2P15A×2

ED     ED (ELCB)

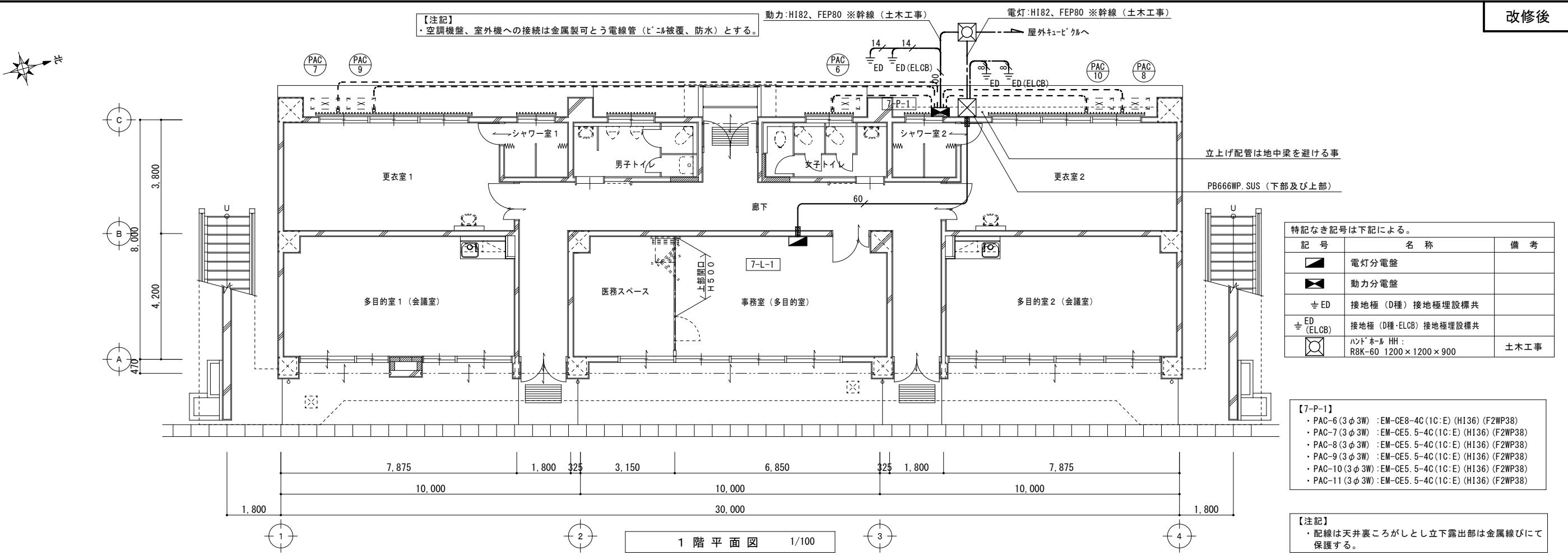
1. 付属品一式
2. 主幹一次ブレーカにはストッパー取付
3. 年間プログラムタイマー×1台

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 前野 将輝 三橋 五百子 加藤 早妃 前田 祐作	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
									水商		
									候図		
									圓面名称 【⑦スタンド棟】分電盤図	縮尺 A2: NS E029 (原図:A2)	圓面番号 A3: NS

改修前

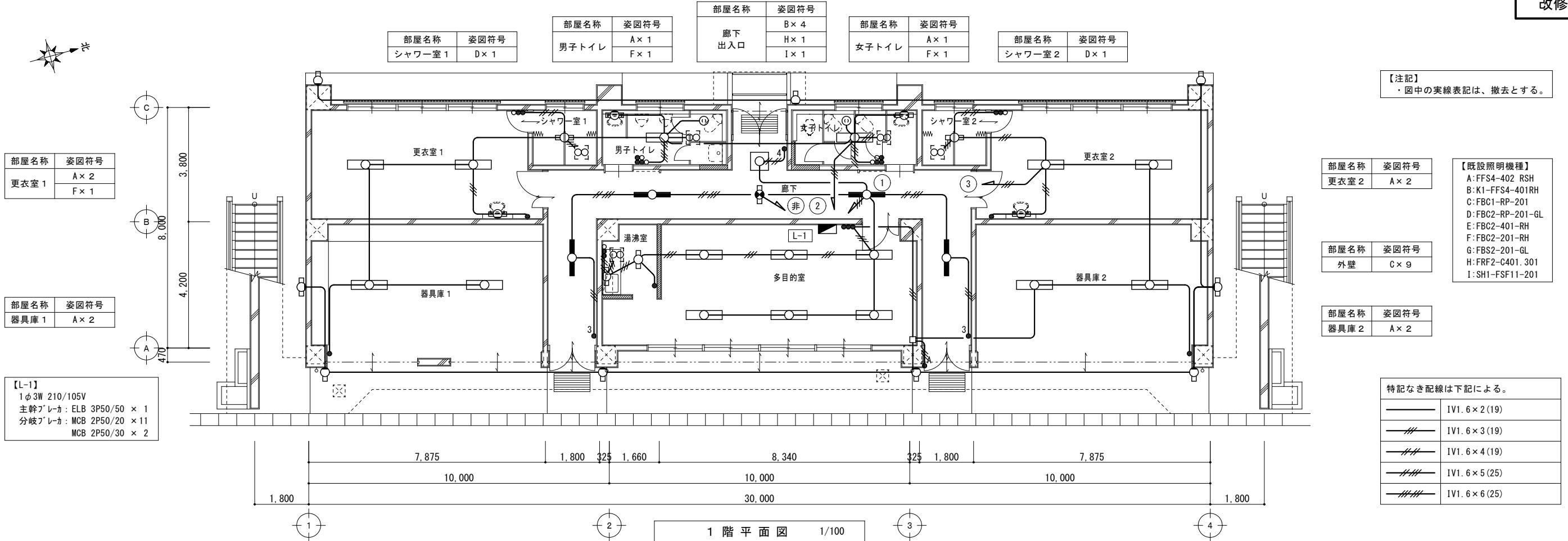


改修後

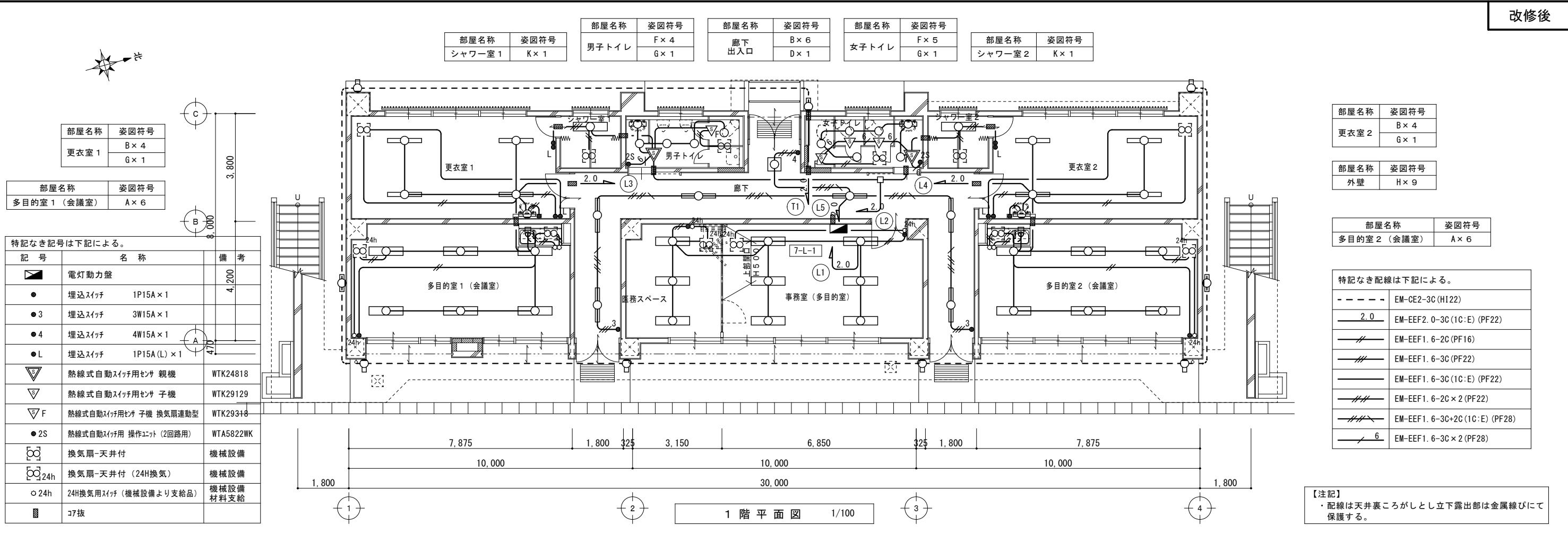


特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 ○	作図 水商 検査 三橋 監理 神野	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【⑦スタンド棟】改修前 改修後 幹線・動力設備 縮尺 A2:1/100 A3:1/141	設計日

改修前

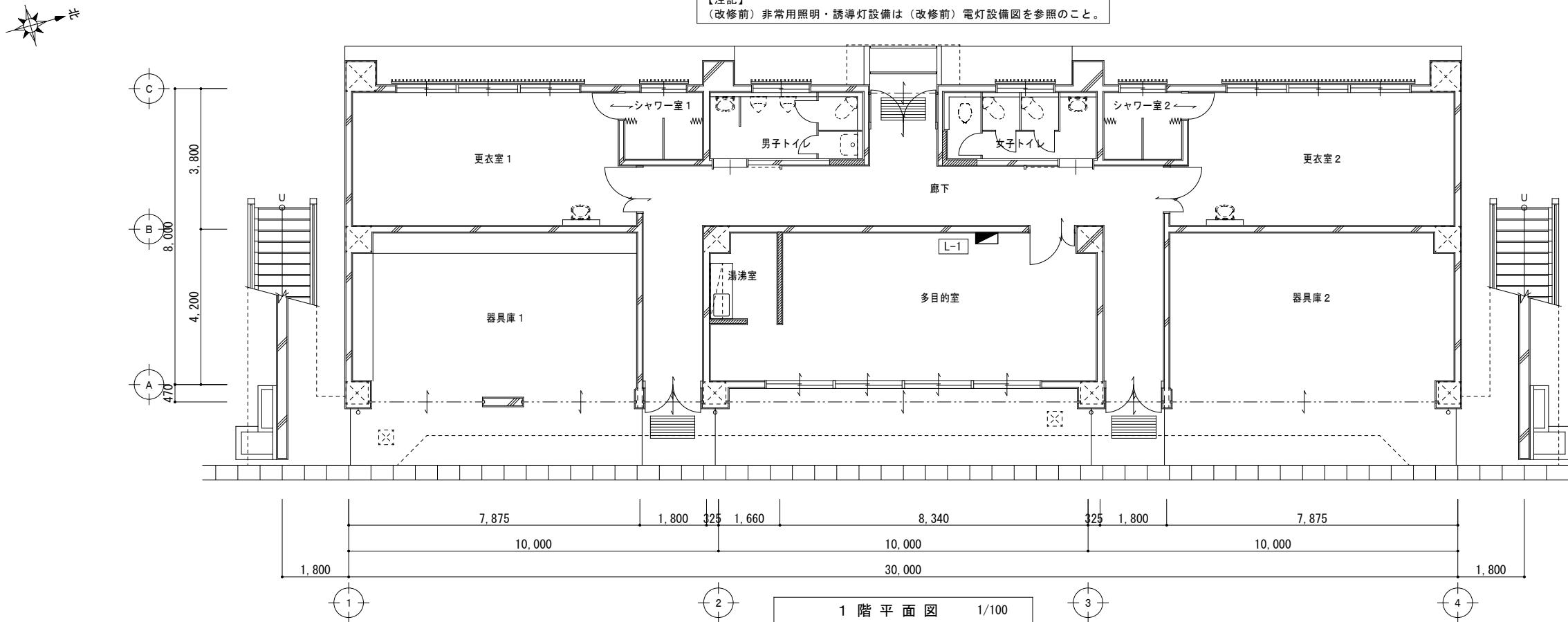


改修後

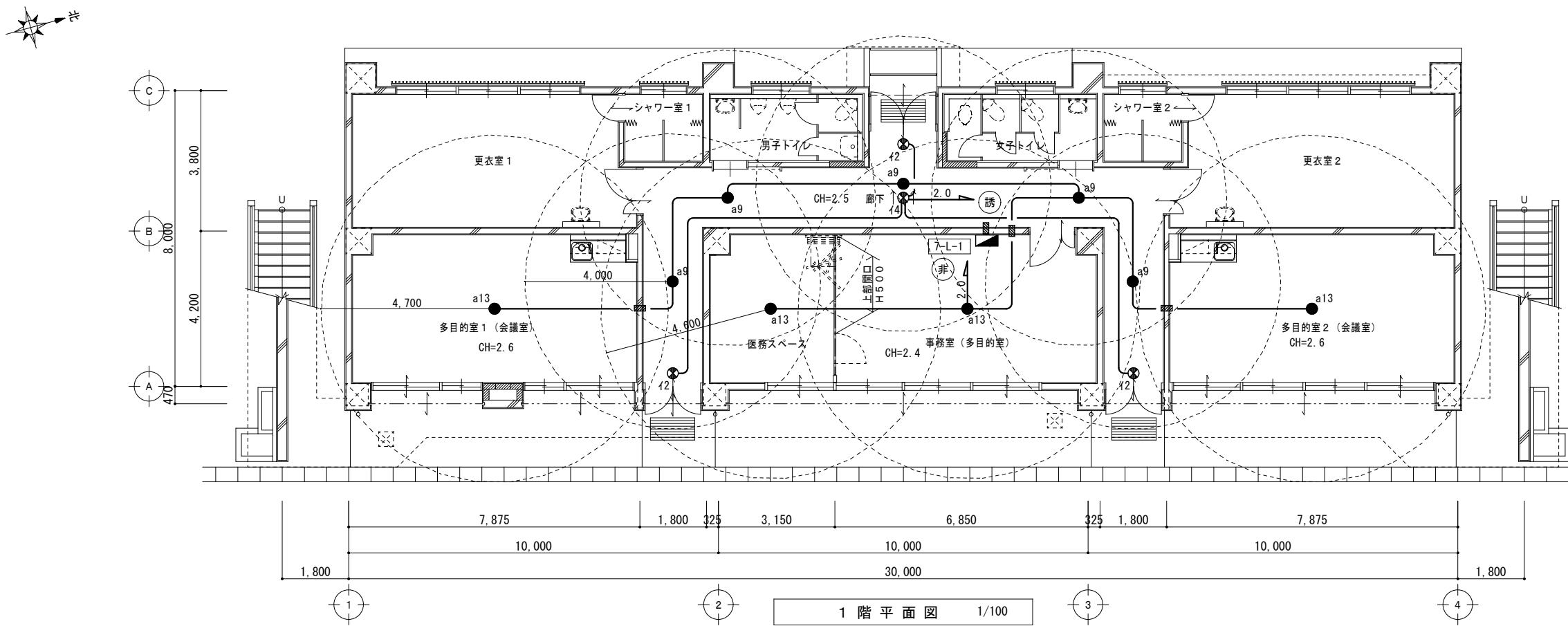


特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士: エーエフ環境技術オフィス 水谷浩 (建築設備士 第28D1-0077MT号)		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 作図 水商 検査 三橋 神野	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事		設計日 縮尺 A2:1/100 E031 (原図:A2)
	会社	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 1階平面図									

改修前



改修後

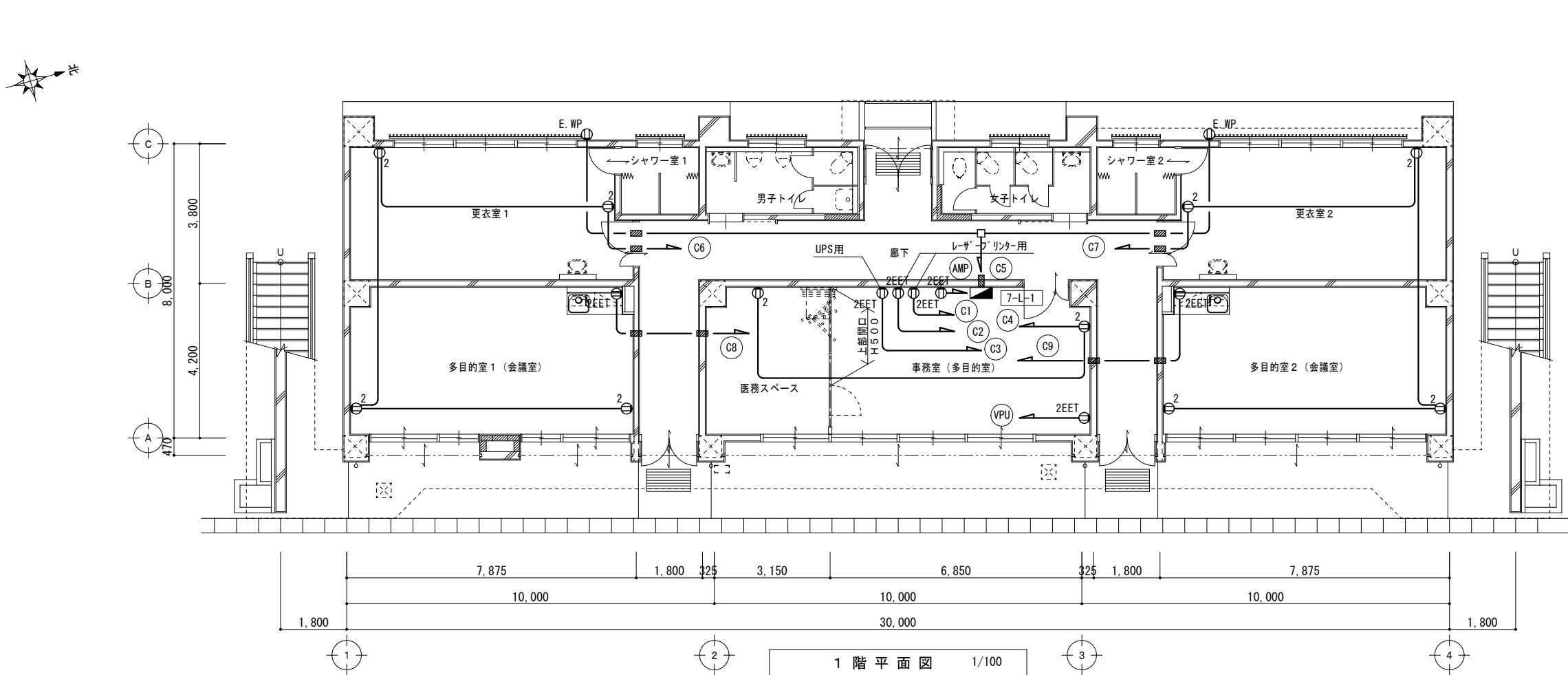
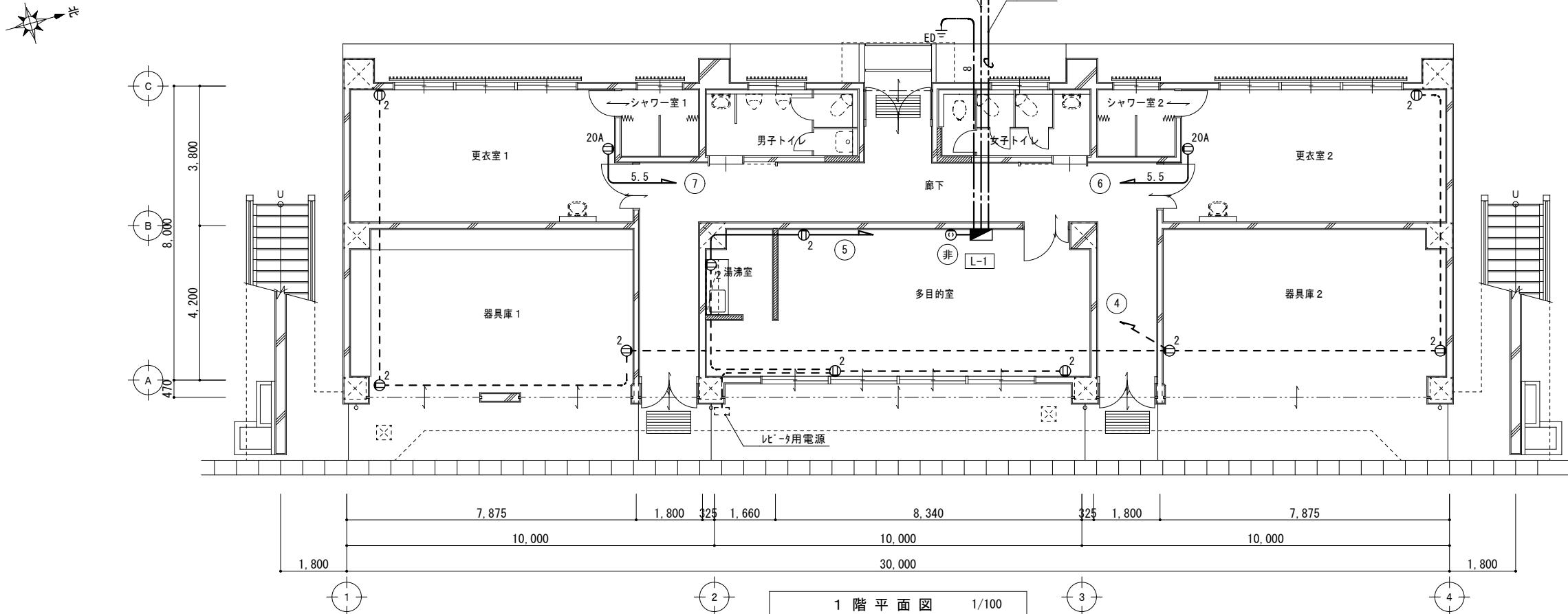


特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 ○	作図 水商 検査 三橋

工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	縮尺	A2:1/100
図面名称 【⑦スタンド棟】改修前	非常用照明・誘導灯設備	A3:1/141
改修後		(原図:A2)

改修前

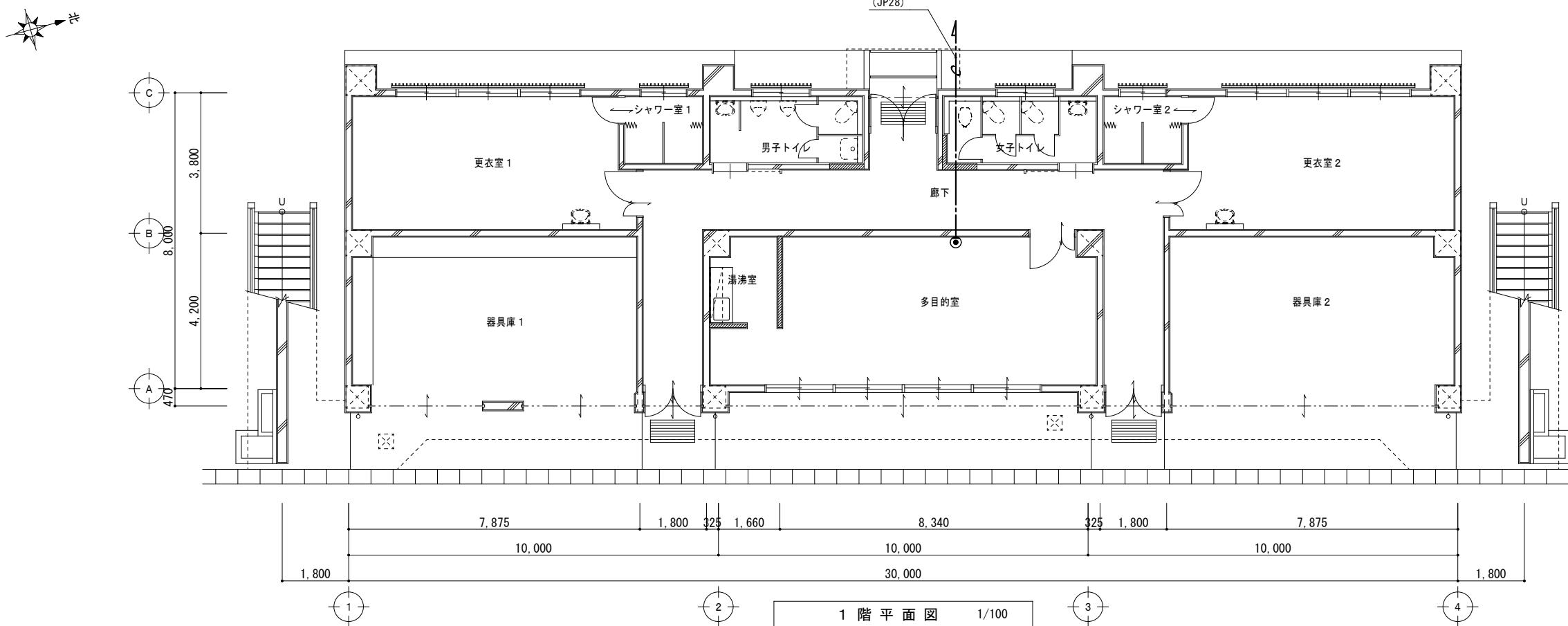


特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

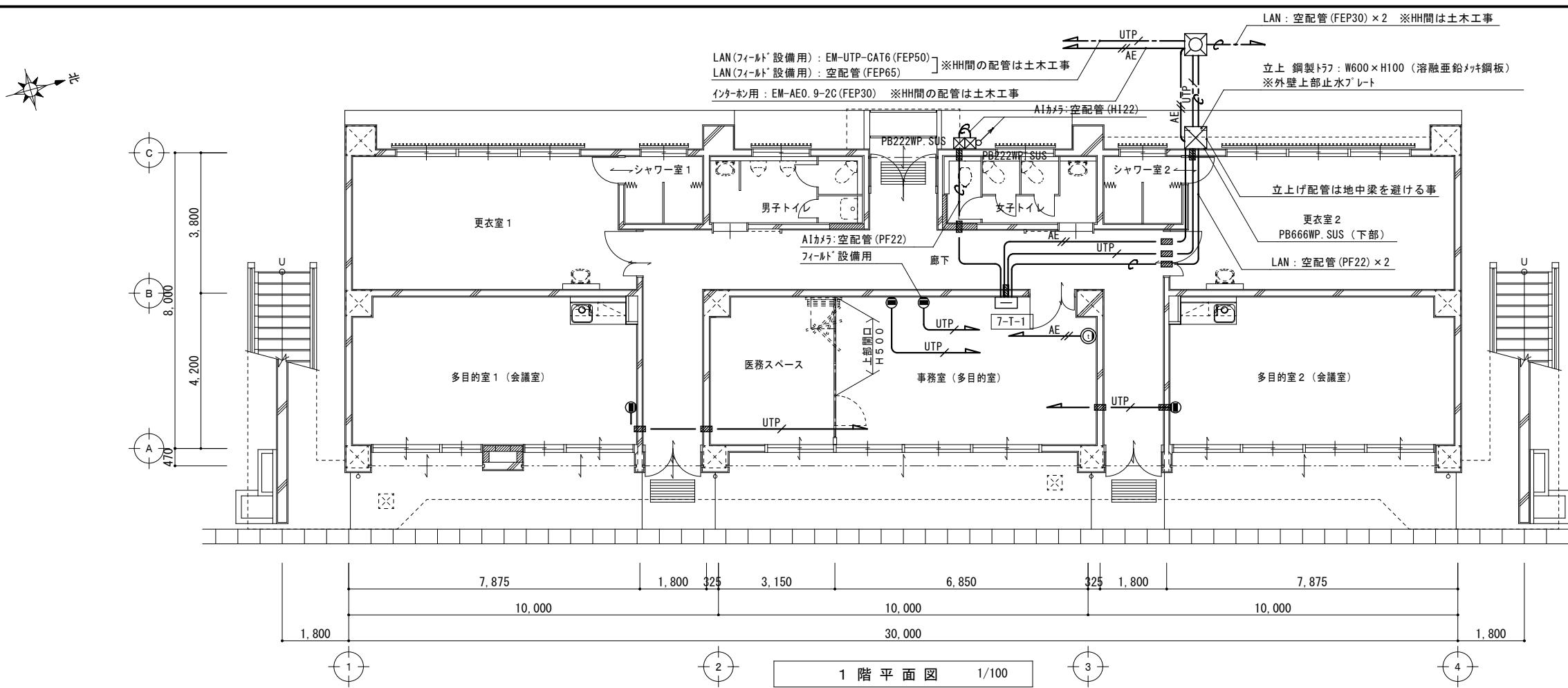


代表設計師 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 作図 水商 検査 三橋	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【⑦スタンド棟】改修前   改修後   コンセント設備 縮 尺 A2:1/100 図面番号 E033 (原図:A2)
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------	---

改修前



改修後

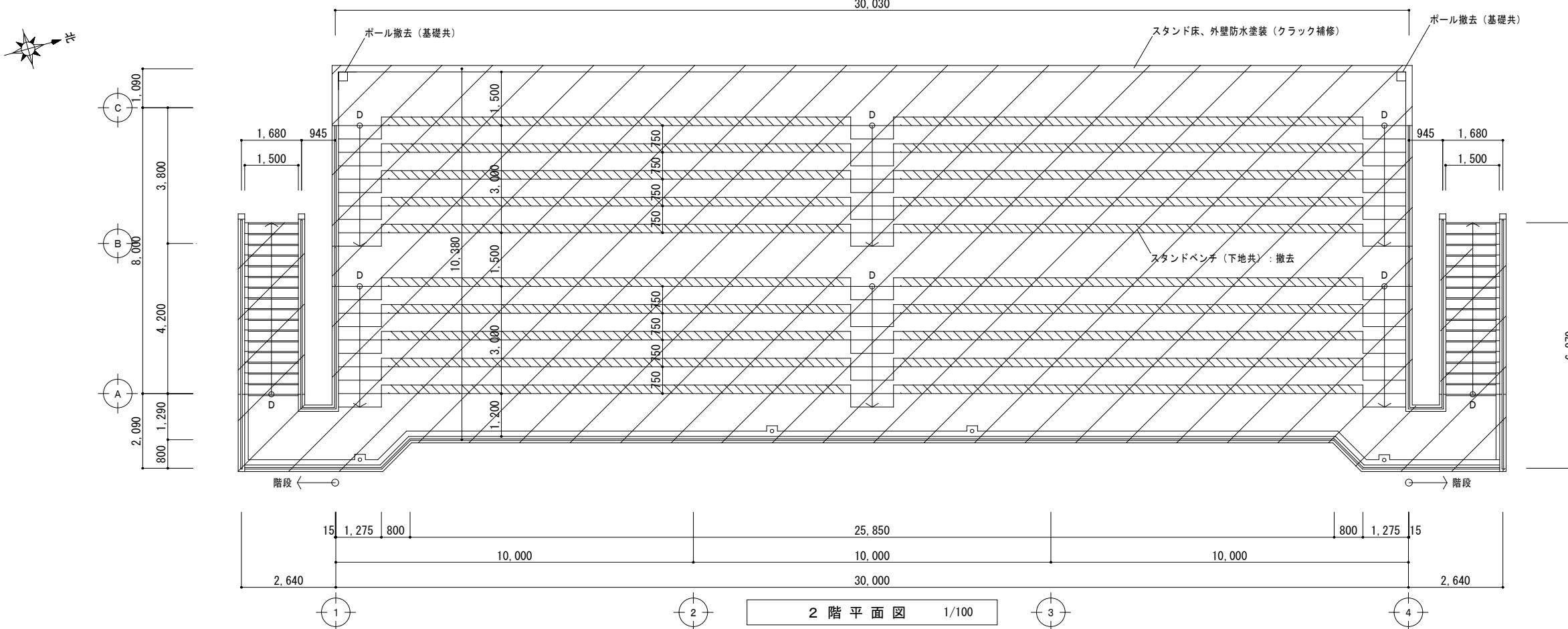


特記なき配線は下記による。		
UTP	EM-UTP-CAT6	LAN
TEL	空配管 (PF22)	TEL
AE	EM-AE0.9-2C	インターホン

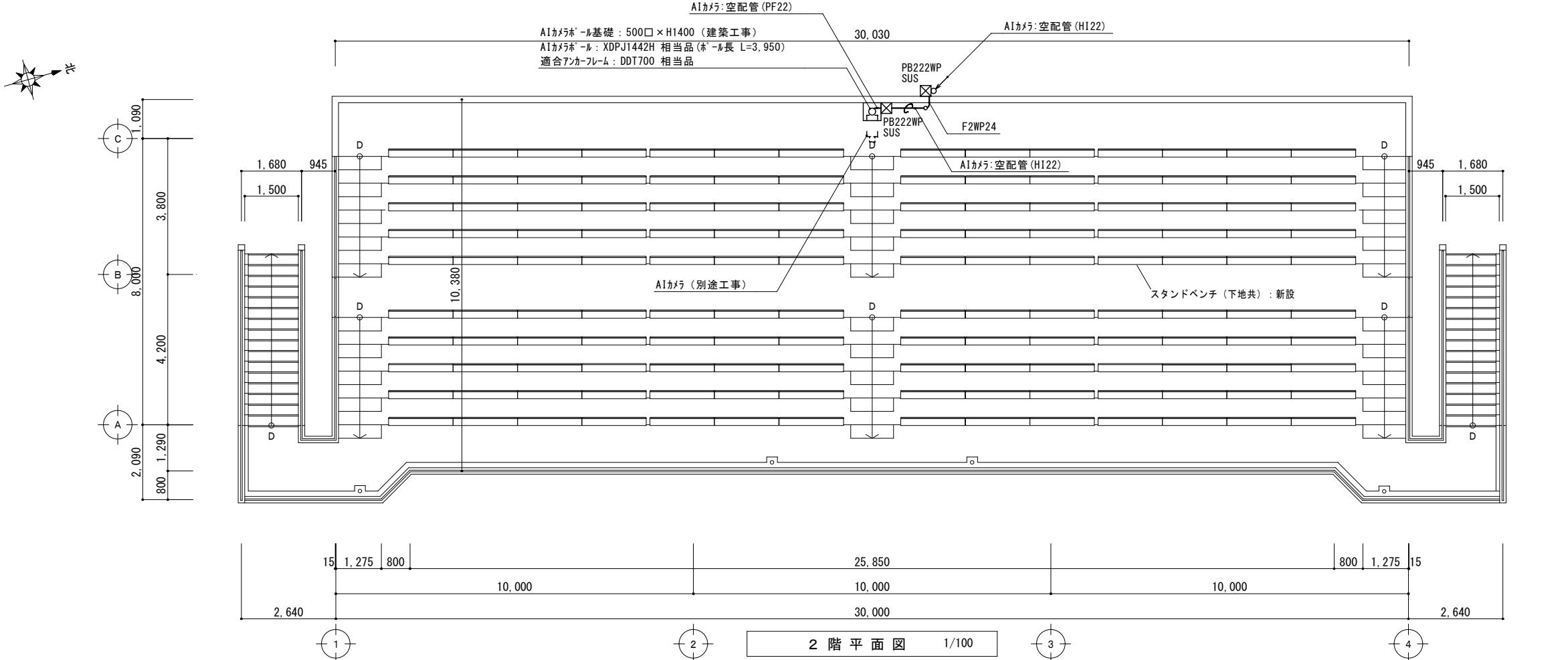
記号	名称	備考
—	端子盤	
●	情報用7カットレット-壁付	
○	電話用7カットレット-壁付	
◎	電話機形インターホン親機-壁付	
■	フルホーネクス	
■	コア抜	
□	ハンドホール HH : R8K-60 900×900×900	土木工事

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士: エーエフ環境技術オフィス 水谷浩 (建築設備士 第28D1-0077MT号)	MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 法適合確認	作図 水商 検査 三橋 監修 神野	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	縮尺 A2:1/100 図面番号 E034 改修前 改修後 1階平面図	設計日 A3:1/141 (原図:A2)

改修前



改修後

特  
記  
事  
項

意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）



代表設計者

一級建築士  
第320204号  
前野 将輝

設計担当

一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当

一級建築士  
第378328号  
加藤 早妃

設計担当

一級建築士  
第360917号  
前田 祐作

設計担当

法適合確認

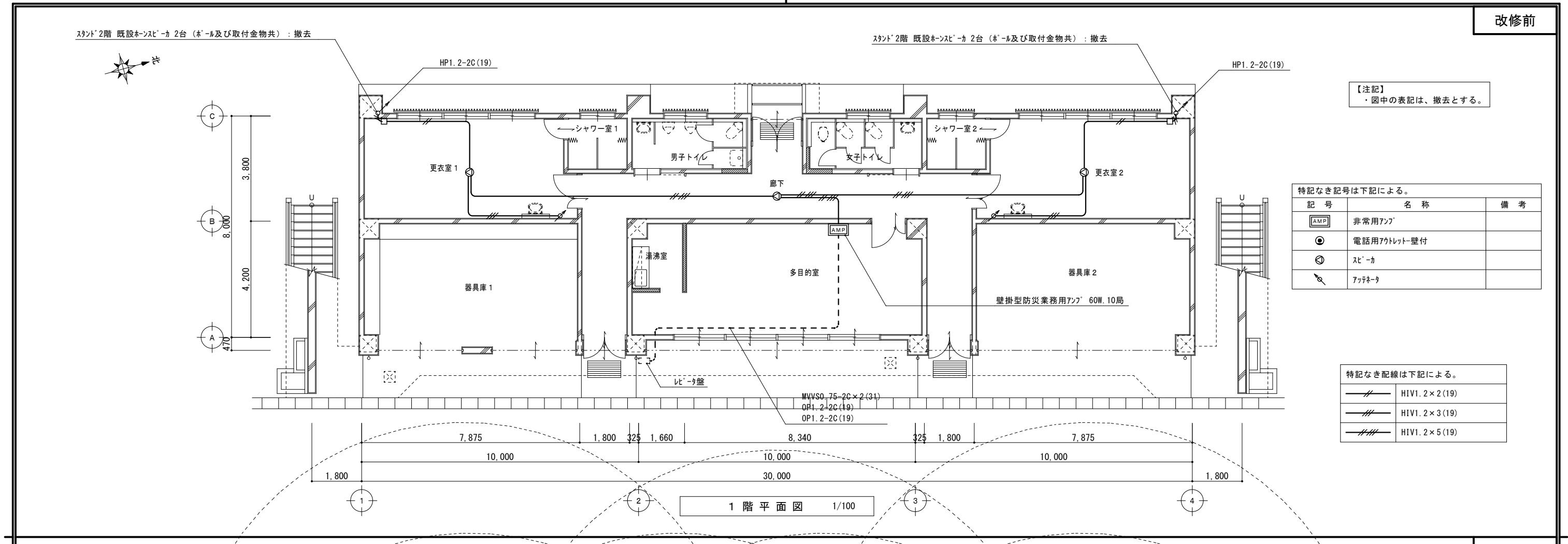
作図

水商  
検査  
三橋工事名称  
海浜公園内陸上競技場改修工事図面名称  
【⑦スタンド棟】改修前 改修後縮尺  
A2:1/100  
A3:1/141

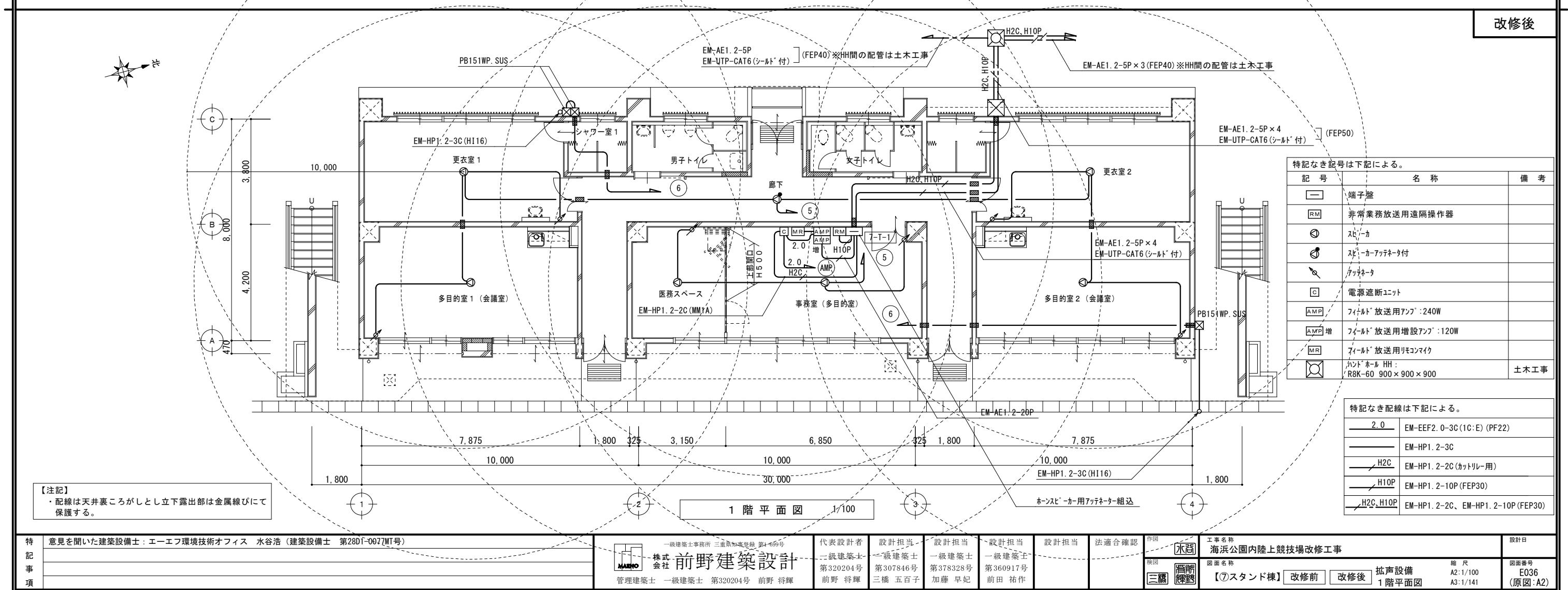
設計日

E035  
(原図:A2)

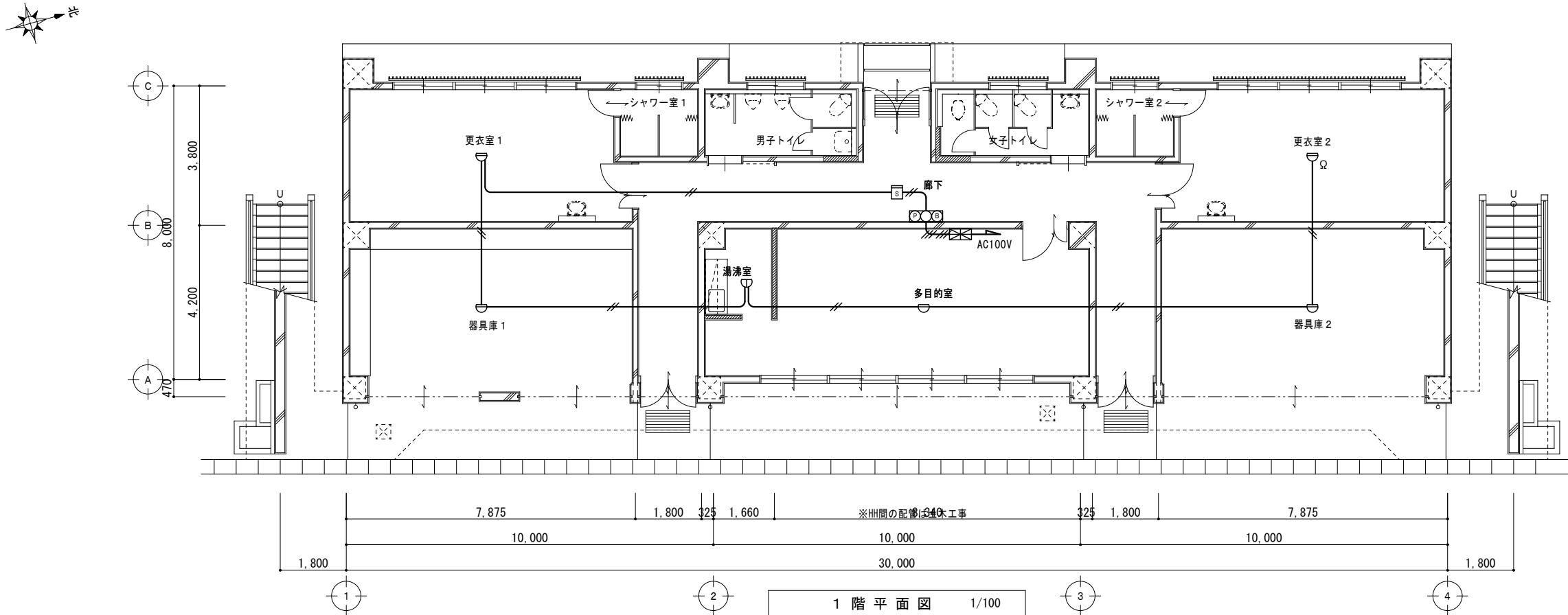
改修前



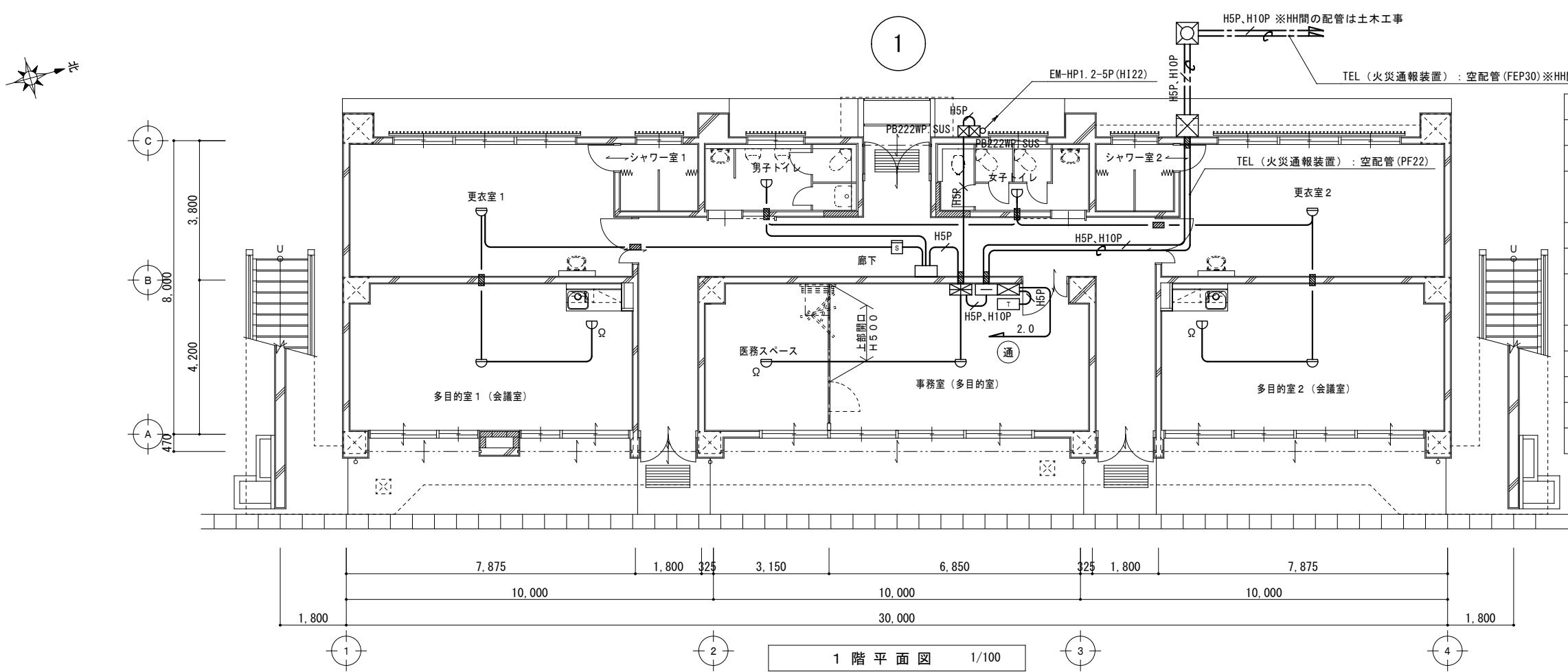
改修後



改修前



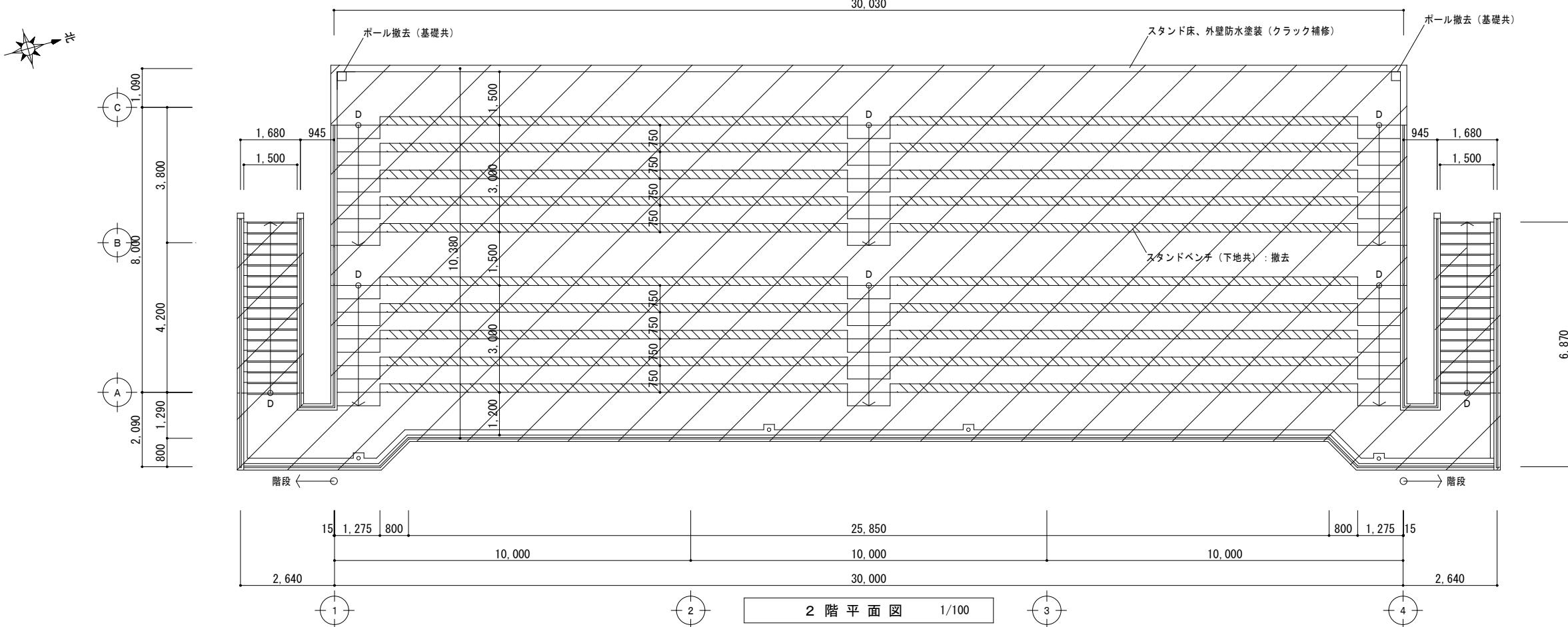
改修後



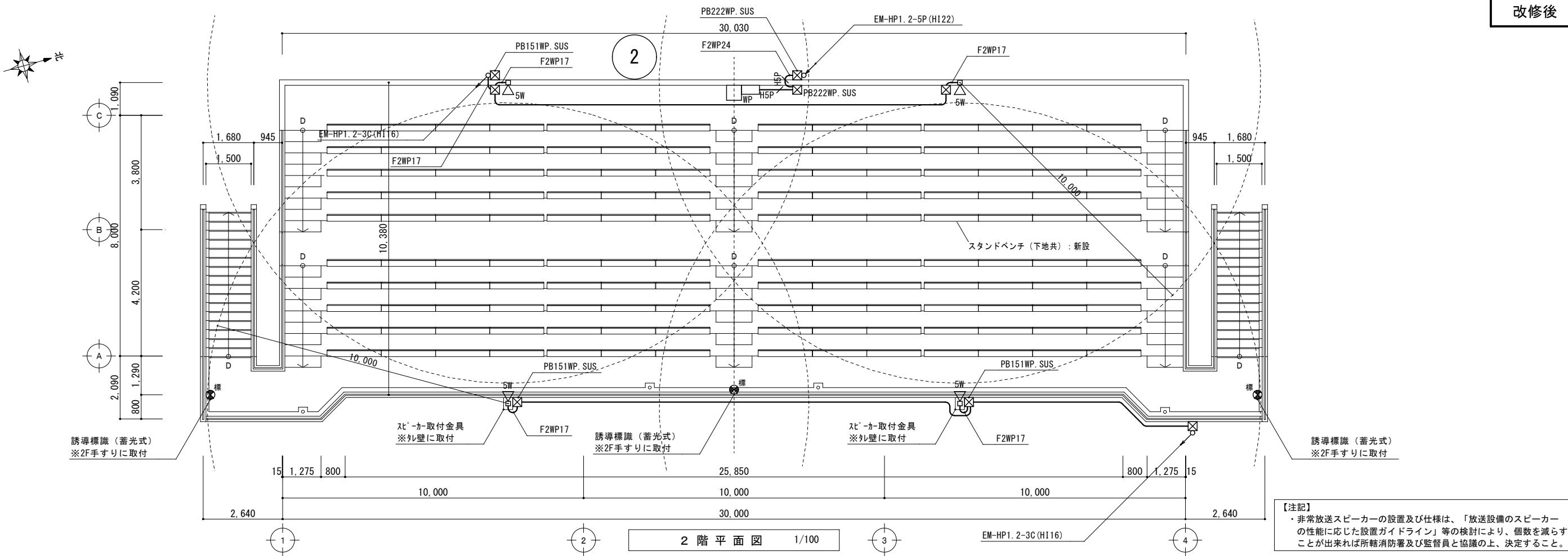
特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 代表建築士 第320204号 前野 将輝 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 代表建築士 第320204号 前野 将輝 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 法適合確認 作図 水商 検査 三橋 図面名称 【⑦スタンド棟】改修前 改修後 自動火災報知設備 縮尺 A2:1/100 A3:1/141 図面番号 E037 (原図:A2)
---	---

## 改修前



改修後



【注記】

- ・非常放送スピーカーの設置及び仕様は、「放送設備のスピーカーの性能に応じた設置ガイドライン」等の検討により、個数を減らすことが出来れば所轄消防署及び監督員と協議の上、決定すること。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 <b>株式会社 前野建築設計</b> 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 三橋 五百子 加藤 早妃 前田 祐作	代表設計者 一級建築士 第320204号	設計担当 一級建築士 第307846号	設計担当 一級建築士 第378328号	設計担当 一級建築士 第360917号	設計担当	法適合確認	作図 	工事名称 <b>海浜公園内陸上競技場改修工事</b>	設計日
									検図 		
									三橋 	図面名称 【⑦スタンド棟】 誘導灯・拡声器 自動火災報知設備 2階平面図	縮尺 A2:1/100 A3:1/141
										図面番号 E038 (原図:A2)	

機械設備工事特記仕様書 1 工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事		(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規格が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約時に明らかにならなかったやむえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 1) 引渡しを要するもの ( ) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物 ( ) 処理方法 ( ) なお施工に際して砕石等特別管理廃棄物及び疑わしい機器等を見発した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。 3) 建設発生土 ( ) 構内敷きならし ( ) 処分地指定 処分地 ( ) ( ) 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 ( ) km 4) 現場内において再利用を図るもの ( ) 5) 分別解体等の方法 <table border="1"><thead><tr><th>工程</th><th>作業内容</th><th>分別解体等の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>□ 新築</td><td>□ 有</td><td>□ 手作業</td></tr><tr><td>□ 改修</td><td>□ 無</td><td>□ 手作業、機械作業併用</td></tr><tr><td>□ 解体</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 6) 再資源化を図るもの ( ) コンクリート塊 ( ) アスファルトコンクリート塊 ( ) 建設発生木材 ( ) 7) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効的な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(マコトA、B2、D2票を提示すること。)		工程	作業内容	分別解体等の方法	□ 新築	□ 有	□ 手作業	□ 改修	□ 無	□ 手作業、機械作業併用	□ 解体			(21) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(令和2年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者者が行うこと。 (22) 現場での安全確保(自主施工の原則) 1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえ、工事を実施すること。 (23) 建設副産物情報交換システムの利用 受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬出がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画書及び「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬出があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。	
工程	作業内容	分別解体等の方法															
□ 新築	□ 有	□ 手作業															
□ 改修	□ 無	□ 手作業、機械作業併用															
□ 解体																	
2 工事場所 津市末広町 地内		(24) 9 工事細目 (1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。															
3 建設概要 管理棟 鋼筋コンクリート造 2階建 延面積 4 48.0 00m <sup>2</sup> 監理棟 鋼骨造 2階建 延面積 95.9 00m <sup>2</sup> サッカーゴール棟 収納庫 鉄骨造 平屋建 延面積 234.0 00m <sup>2</sup> 陸上器具庫 鉄骨造 平屋建 延面積 300.0 00m <sup>2</sup> 屋外トイレ ユニット 延面積 13.0 00m <sup>2</sup> x 2 改修 スタンド棟 鉄筋コンクリート造 240.0 00m <sup>2</sup>		■ 給水管 ■ 水道用硬質塩化ビニルライング鋼管 JISWA K116 (一般: SGP-VB 地中 : SGP-VD) □ フランジ付硬質塩化ビニルライング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中 : SGP-FVD) ※ 繋ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100mはねじ又はフランジ接合、125m以上は フランジ接合(工場加工)とする。 ■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般・地中 : HVP) □ 水道配用ポリエチレン管 JWAWA K 144 (地中 : PE) □ 水道用ステンレス鋼管 JWAWA G 115 (最高使用圧力1.0MPa以下) □ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448 (最高使用圧力2.0MPa以下) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。															
4 適用基準 国面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官房局營繕部監修 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)令和4年版」 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)令和4年版」 「公共建築設備工事標準団(電気、機械設備工事編)令和4年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」 独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。		■ 離排水管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ重巻き) ■ 土間・一般 : 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 : リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) 又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に纏めモルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。															
5 一般事項 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうる場合には、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては、予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 ■建築工事に準じる 完成図等 : ( ) 作成する ( ) 完成図 ( ) 保全に関する資料 ( ) ・ 完成図作図範囲 (設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権第27条及び第28号に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。 ※ 工事写真は當緒工事写真撮影要領(国土交通大臣官房官房局營繕部監修(最新版))に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(令和5年1月1日付け国営建技第14号)」による。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。		■ 通気管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ重巻き) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) 又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に纏めモルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。															
(2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機器届出書(メーカーリスト)、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。		■ 汚水管 □ 排水用硬質塩化ビニルライング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般 : 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間 : リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) 又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に纏めモルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。															
(3) 官署等への届出手続 工事に伴う關係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防設備等設置届出書の作成 日本工事(建築工事 電気設備工事 機械設備工事) □ 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。		■ 給湯管 ■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライング鋼管 JWAWA K 140 (SGP-HVA) □ 水道用ステンレス鋼管 JWAWA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448															
(4) 品質管理 工事施工に関して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。		■ ガス管 ■ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 上間 : 塩化ビニル被覆鋼管(黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中 : PE) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。															
(5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度(設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ) ・ 基礎寸法 2) 配管・タクト工事 ・ 支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 4) 水栓・リモコンスイッチ類の取付高さ		■ 消火管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。															
(6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない		■ 屋外埋設排水 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372 (フレキシブル鋼管コンクリート製品) (1) 水路用遠心力鉄筋コンクリート管															
(7) 耐震安全性の分類 構造体( )類 建築非構造部材( )類 建築設備( )類		■ 冷温水配管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライング鋼管 JWAWA K 140 (一般 : SGP-VA, WB) (一般 : SGP-FVA, FVB)															
(8) 機器の地震力 (主要機器) □ 図示による 機器名 空冷ヒートポンプエアコン式マルチエアコン(屋外機)、空冷ヒートポンプバッケージエアコン(屋外機) 設置階 (1.0) 設計標準震度Ks (1.0) 地域係数 (1.0)		■ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライング鋼管 JWAWA K 116 (一般 : SGP-VA, WB) □ フランジ付硬質塩化ビニルライング鋼管 WSP 011 (一般 : SGP-FVA, FVB)															
その他監督員が指示するもの (9) 冷媒(フロン類)の回収 □ 適用する □ 適用しない 冷媒機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類を監督員に提出すること。 ・ フロン回収行程管理票 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券) 撤去する前にフロンを屋外ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行うこと。 パッケージ空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中の飛散を防止する措置を講じること。		■ ドレン管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) 又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に纏めモルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。															
(10) 中間技術検査 実施回数 ( ) 回 実施する段階 ( )		■ 冷媒管 □ 鋼及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H300による。製造者標準品 ただし、保温厚はガス管 20mm、液体管 10mmとする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。															
		※ 弁類 揚水ポンプ(二次側)、消火ポンプ(二次側)、水道直面部は10Kとし、それ以外は5Kとする。塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。															

特 記 事 項	 <b>株式会社 前野建築設計</b> <small>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</small>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第37846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第36917号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第37832号 前田 祐作	法適合確認	作図 	工事名称 <b>海浜公園内陸上競技場改修工事</b>	設計日
								検図 	図面名称 <b>機械設備工事 特記仕様書（1）</b>	縮尺 A2:N.S A3:N.S
								三稿 	M001 原図 : A2	

<p>* 横走り管の吊り間隔</p> <table border="1"> <tr><td>鋼管</td><td>100A以下</td><td>—</td><td>2m 以下</td></tr> <tr><td></td><td>125A以上</td><td>—</td><td>3m 以下</td></tr> </table> <p>* 横走り管形鋼振れ止め支持間隔</p> <table border="1"> <tr><td>支抗間隔</td><td>6m 以下</td><td>8m 以下</td><td>12m 以下</td></tr> <tr><td>鋼管</td><td>—</td><td>50A~100A</td><td>125A~</td></tr> <tr><td>ビニル管 耐火二層管 銅管</td><td>80A以下</td><td>—</td><td>1m 以下</td></tr> <tr><td></td><td>100A以上</td><td>—</td><td>2m 以下</td></tr> </table>	鋼管	100A以下	—	2m 以下		125A以上	—	3m 以下	支抗間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下	鋼管	—	50A~100A	125A~	ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	—	1m 以下		100A以上	—	2m 以下	<p>3) 種別 給排水衛生設備配管の保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>屋内露出</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>合成樹脂製カバー</td><td></td></tr> <tr><td>機械室・書庫・倉庫</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>原紙</td><td>アルミガラス粘着テープ</td></tr> <tr><td>天井内・P.S内</td><td>アルミガラス化粧保温筒</td><td>アルミガラスクロス粘着テープ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>壁内(ビット内)</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>着色アルミガラス粘着テープ</td></tr> <tr><td>屋外露出</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>SUS鋼板仕上</td></tr> </tbody> </table> <p>* 1) 排水管については、上表暗渠内(ビット内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。 * 2) サヤ管工法：架橋ボルトエレメント・ボリブデン管使用の場合には、上表保温不要。 * 3) 消火管の外部露出のは保温を行なう。</p>		1	2	3	4	屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラス粘着テープ	天井内・P.S内	アルミガラス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ			壁内(ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラス粘着テープ	屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	<p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>陸上ポンプ、送排風機(エアハンドル)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。</li> <li>配管中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。</li> <li>系統が分かるように、必要箇所(機械室、P.S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ取付を行なうこと。手書きもしくはカッティングシートとする。</li> <li>機器・配管・支持物には、絶縁処理を行うこと。</li> <li>配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。</li> <li>屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。 もしくはあと施工アンカーエ法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカーエ法を採用する場合、ケミカルアンカーアを使用し施工すること。</li> <li>機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準規格、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。</li> <li>雨水取り口に取り付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。</li> <li>屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分歧部には、地中埋設標を施工すること。</li> <li>冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。</li> <li>水栓は、節水機構付きのものを使用すること。</li> <li>冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行なうこと。</li> <li>地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。       <ul style="list-style-type: none"> <li>管は継ぎ手の組み合せにより可とう性をもたせる。</li> <li>接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。</li> <li>上間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。</li> <li>呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。</li> </ul> </li> <li>屋外露出及び多湿箇所(トレーンビット等)の配管台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。</li> <li>屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。</li> <li>合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行なうこと。</li> <li>送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。</li> </ol>																																																																																																																														
鋼管	100A以下	—	2m 以下																																																																																																																																																																																			
	125A以上	—	3m 以下																																																																																																																																																																																			
支抗間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下																																																																																																																																																																																			
鋼管	—	50A~100A	125A~																																																																																																																																																																																			
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	—	1m 以下																																																																																																																																																																																			
	100A以上	—	2m 以下																																																																																																																																																																																			
	1	2	3	4																																																																																																																																																																																		
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー																																																																																																																																																																																			
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
天井内・P.S内	アルミガラス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																																																																																																																				
壁内(ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																		
<p>* 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔</p> <table border="1"> <tr><td>基準外径 9.52mm 以下</td><td>吊り間隔 1.5m 以下</td></tr> <tr><td>基準外径 12.70mm 以上</td><td>吊り間隔 2.0m 以下</td></tr> <tr><td>形鋼振れ止め支持間隔は、钢管に準ずる。</td><td></td></tr> </table> <p>(2) ダクト工事</p> <p>矩形ダクト □ 亜鉛板 JIS G 3302 (SGCC、SGCA) 鎌金付着Z18以上</p> <p>□ ステンレス鋼板 JIS G 4305</p> <p>工法</p> <p>□ アングルフランジ工法</p> <p>□ 共板フランジ工法</p> <p>□ スライドオンフランジ工法</p> <p>形鋼補強</p> <p>■ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317</p> <p>丸ダクト</p> <p>■ スパイラルダクト</p> <p>■ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)</p>	基準外径 9.52mm 以下	吊り間隔 1.5m 以下	基準外径 12.70mm 以上	吊り間隔 2.0m 以下	形鋼振れ止め支持間隔は、钢管に準ずる。		<p>空調設備配管の保温仕様 (R、G保溫材の仕様のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>屋内露出</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>合成樹脂製カバー</td><td></td></tr> <tr><td>機械室・書庫・倉庫</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>原紙</td><td>アルミガラス粘着テープ</td></tr> <tr><td>天井内・P.S内</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>アルミガラスクロス粘着テープ</td><td></td></tr> <tr><td>壁内(ビット内)</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>着色アルミガラス粘着テープ</td><td></td></tr> <tr><td>屋外露出</td><td>保温筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>SUS鋼板仕上</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>* 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別</p> <p>■ 保温化粧成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)</p>		1	2	3	4	5	屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー		機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラス粘着テープ	天井内・P.S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス粘着テープ		壁内(ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラス粘着テープ		屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上		<p>機器保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>冷水・冷温水タンク</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>鉄線</td><td></td><td>SUS鋼板仕上</td></tr> <tr><td>鋼板製タンク</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td></td><td></td><td>カラー・亜鉛板(屋内)</td></tr> <tr><td>冷水・冷温水ヘッド</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>温水・膨張・還水</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>貯湯タンク</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td></td><td></td><td>SUS鋼板仕上</td></tr> <tr><td>温水・蒸気ヘッダ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>熱交換器</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>* 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要</p>		1	2	3	4	5	冷水・冷温水タンク	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線		SUS鋼板仕上	鋼板製タンク	保溫板	ポリエチレンフィルム			カラー・亜鉛板(屋内)	冷水・冷温水ヘッド						温水・膨張・還水						貯湯タンク	保溫板	鉄線			SUS鋼板仕上	温水・蒸気ヘッダ						熱交換器																																																																																															
基準外径 9.52mm 以下	吊り間隔 1.5m 以下																																																																																																																																																																																					
基準外径 12.70mm 以上	吊り間隔 2.0m 以下																																																																																																																																																																																					
形鋼振れ止め支持間隔は、钢管に準ずる。																																																																																																																																																																																						
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																	
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー																																																																																																																																																																																		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラス粘着テープ																																																																																																																																																																																	
天井内・P.S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
壁内(ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																		
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																	
冷水・冷温水タンク	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線		SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																	
鋼板製タンク	保溫板	ポリエチレンフィルム			カラー・亜鉛板(屋内)																																																																																																																																																																																	
冷水・冷温水ヘッド																																																																																																																																																																																						
温水・膨張・還水																																																																																																																																																																																						
貯湯タンク	保溫板	鉄線			SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																	
温水・蒸気ヘッダ																																																																																																																																																																																						
熱交換器																																																																																																																																																																																						
<p>(3) 保温塗装工事</p> <p>1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。</p> <table border="1"> <tr><td>■ ガラスウール保溫材</td><td>保溫板、保溫筒、保溫帶 JIS A 9504 40K</td></tr> <tr><td>(屋内一般等)</td><td></td></tr> <tr><td>■ 給水管</td><td>■ 排水管</td><td>■ 給温管</td><td>□ 消火管(露出部)</td></tr> <tr><td>□ 蒸気管(往)</td><td>□ 蒸気管(還)</td><td>□ 冷水・冷温水管</td><td>□ 冷媒管</td></tr> <tr><td>(屋外等)</td><td></td></tr> <tr><td>■ 給温管(70°C以上)</td><td>□ 温水管</td><td>□ 蒸気管</td><td>□ 冷水・冷温水管</td></tr> <tr><td>□ 冷媒管</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>□ ロックウール保溫材</td><td>保溫板 JIS A 9504 1号又は2号</td></tr> <tr><td>保溫板、保溫帶、ブランケット等</td><td>JIS A 9504 1号</td></tr> <tr><td>□ 給水管</td><td>□ 排水管</td><td>□ 給温管</td><td>□ 温水管</td></tr> <tr><td>□ 蒸気管</td><td>□ 冷水・冷温水管</td><td>□ 冷媒管</td><td>□ 消火管</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>■ ポリスチレンフォーム保溫材</td><td>保溫板、保溫筒 JIS A 9511 3号</td></tr> <tr><td>(屋内一般等)</td><td></td></tr> <tr><td>□ 給水管</td><td>□ 排水管</td><td>□ 冷水・冷温水管</td><td>□ 冷水管(2~4°C)</td></tr> <tr><td>□ フライン管</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td></tr> <tr><td>(屋外等)</td><td></td></tr> <tr><td>■ 給水管</td><td>□ 排水管</td><td>□ 給温管</td><td>□ 冷水・冷温水管</td></tr> <tr><td>□ フライン管</td><td>□ 消火管</td><td>□</td><td>□</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>■ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種</td><td></td></tr> <tr><td>(露出)</td><td></td></tr> <tr><td>□ 給水管</td><td>□ 排水管</td><td>□ 通気管</td><td>□ ドレン管</td></tr> <tr><td>■ ガス管</td><td>□ 泡沫管</td><td>□ 油管</td><td>□ 冷却水管</td></tr> <tr><td>□ ダクト(亜鉛板製)</td><td>□ ダクト(鋼板製)</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>□ さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用銷止めペイント) 2種</td><td></td></tr> <tr><td>(露出)</td><td></td></tr> <tr><td>□ 蒸気管(往)</td><td>□ ダクト(鋼板製)</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>□ アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)</td><td></td></tr> <tr><td>下塗りは銷止めペイント</td><td></td></tr> <tr><td>□ 蒸気管(還)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	■ ガラスウール保溫材	保溫板、保溫筒、保溫帶 JIS A 9504 40K	(屋内一般等)		■ 給水管	■ 排水管	■ 給温管	□ 消火管(露出部)	□ 蒸気管(往)	□ 蒸気管(還)	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	(屋外等)		■ 給温管(70°C以上)	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□	□	□	□ ロックウール保溫材	保溫板 JIS A 9504 1号又は2号	保溫板、保溫帶、ブランケット等	JIS A 9504 1号	□ 給水管	□ 排水管	□ 給温管	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□ 消火管	■ ポリスチレンフォーム保溫材	保溫板、保溫筒 JIS A 9511 3号	(屋内一般等)		□ 給水管	□ 排水管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷水管(2~4°C)	□ フライン管	□	□	□	(屋外等)		■ 給水管	□ 排水管	□ 給温管	□ 冷水・冷温水管	□ フライン管	□ 消火管	□	□	■ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種		(露出)		□ 給水管	□ 排水管	□ 通気管	□ ドレン管	■ ガス管	□ 泡沫管	□ 油管	□ 冷却水管	□ ダクト(亜鉛板製)	□ ダクト(鋼板製)			□ さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用銷止めペイント) 2種		(露出)		□ 蒸気管(往)	□ ダクト(鋼板製)			□ アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)		下塗りは銷止めペイント		□ 蒸気管(還)				<p>ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>長方形ダクト</td><td>屋内露出 一般・廊下</td><td>保溫板</td><td>カラー・鉄板</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>機械室</td><td>保溫板</td><td>アルミガラスクロス化粧保温板</td><td>アルミガラスクロス粘着テープ</td><td></td></tr> <tr><td>屋内露出・多湿箇所</td><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板</td></tr> <tr><td>スパイラルダクト</td><td>屋内露出 一般・廊下</td><td>保溫帶</td><td>鉄線</td><td>カラー・鉄板</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>機械室</td><td>保溫帶</td><td>アルミガラスクロス化粧保温板</td><td>アルミガラスクロス粘着テープ</td><td></td></tr> <tr><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>屋外露出・多湿箇所</td><td>保溫帶</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板</td></tr> <tr><td>排煙ダクト長方形</td><td>屋内露出</td><td>保溫板</td><td>保溫板</td><td>カラスコロス</td><td>鋼鉄甲金網</td></tr> <tr><td></td><td>屋内露出</td><td>保溫板</td><td>保溫板</td><td>カラスコロス</td><td></td></tr> <tr><td>排煙ダクト円形</td><td>屋内露出</td><td>保溫板</td><td>保溫板</td><td>カラスコロス</td><td>アルミガラスクロス化粧保温板</td></tr> <tr><td></td><td>屋内露出</td><td>保溫板</td><td>保溫板</td><td>カラスコロス</td><td>アルミガラスクロス粘着テープ</td></tr> <tr><td>煙道</td><td>屋外露出</td><td>保溫板</td><td>保溫板</td><td>カラスコロス</td><td>カラスコロス</td></tr> </tbody> </table> <p>* 1) 排煙ダクトは、ロックウール保溫板、保溫帶、1号を使用。 * 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554(亀甲金網)による亀甲金網を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRW A S02による防錆処理を施した平ラス1号で外面補強したものを使用。 * 3) 鋼鉄甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。</p>		1	2	3	4	5	長方形ダクト	屋内露出 一般・廊下	保溫板	カラー・鉄板				機械室	保溫板	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		屋内露出・多湿箇所	屋外露出・多湿箇所	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板	スパイラルダクト	屋内露出 一般・廊下	保溫帶	鉄線	カラー・鉄板			機械室	保溫帶	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		屋外露出・多湿箇所	屋外露出・多湿箇所	保溫帶	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板	排煙ダクト長方形	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	鋼鉄甲金網		屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス		排煙ダクト円形	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	アルミガラスクロス化粧保温板		屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	アルミガラスクロス粘着テープ	煙道	屋外露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	カラスコロス	<p>配管用炭素鋼管の塗装仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>機材</th><th>状態</th><th>塗料の種別</th><th>塗り回数</th><th>備考</th></tr> <tr><th></th><th></th><th></th><th>下塗り 中塗り 上塗り</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>白管</td><td>露出</td><td>合成樹脂調合ペイント</td><td>1 1 1</td><td>下塗りはさび止めペイント</td></tr> <tr><td>黒管</td><td>露出</td><td>合成樹脂調合ペイント</td><td>2 1 1</td><td>下塗りはさび止めペイント</td></tr> </tbody> </table> <p>* 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。</p>	機材	状態	塗料の種別	塗り回数	備考				下塗り 中塗り 上塗り		白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1 1 1	下塗りはさび止めペイント	黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2 1 1	下塗りはさび止めペイント
■ ガラスウール保溫材	保溫板、保溫筒、保溫帶 JIS A 9504 40K																																																																																																																																																																																					
(屋内一般等)																																																																																																																																																																																						
■ 給水管	■ 排水管	■ 給温管	□ 消火管(露出部)																																																																																																																																																																																			
□ 蒸気管(往)	□ 蒸気管(還)	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管																																																																																																																																																																																			
(屋外等)																																																																																																																																																																																						
■ 給温管(70°C以上)	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管																																																																																																																																																																																			
□ 冷媒管	□	□	□																																																																																																																																																																																			
□ ロックウール保溫材	保溫板 JIS A 9504 1号又は2号																																																																																																																																																																																					
保溫板、保溫帶、ブランケット等	JIS A 9504 1号																																																																																																																																																																																					
□ 給水管	□ 排水管	□ 給温管	□ 温水管																																																																																																																																																																																			
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□ 消火管																																																																																																																																																																																			
■ ポリスチレンフォーム保溫材	保溫板、保溫筒 JIS A 9511 3号																																																																																																																																																																																					
(屋内一般等)																																																																																																																																																																																						
□ 給水管	□ 排水管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷水管(2~4°C)																																																																																																																																																																																			
□ フライン管	□	□	□																																																																																																																																																																																			
(屋外等)																																																																																																																																																																																						
■ 給水管	□ 排水管	□ 給温管	□ 冷水・冷温水管																																																																																																																																																																																			
□ フライン管	□ 消火管	□	□																																																																																																																																																																																			
■ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種																																																																																																																																																																																						
(露出)																																																																																																																																																																																						
□ 給水管	□ 排水管	□ 通気管	□ ドレン管																																																																																																																																																																																			
■ ガス管	□ 泡沫管	□ 油管	□ 冷却水管																																																																																																																																																																																			
□ ダクト(亜鉛板製)	□ ダクト(鋼板製)																																																																																																																																																																																					
□ さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用銷止めペイント) 2種																																																																																																																																																																																						
(露出)																																																																																																																																																																																						
□ 蒸気管(往)	□ ダクト(鋼板製)																																																																																																																																																																																					
□ アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)																																																																																																																																																																																						
下塗りは銷止めペイント																																																																																																																																																																																						
□ 蒸気管(還)																																																																																																																																																																																						
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																	
長方形ダクト	屋内露出 一般・廊下	保溫板	カラー・鉄板																																																																																																																																																																																			
	機械室	保溫板	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
屋内露出・多湿箇所	屋外露出・多湿箇所	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板																																																																																																																																																																																	
スパイラルダクト	屋内露出 一般・廊下	保溫帶	鉄線	カラー・鉄板																																																																																																																																																																																		
	機械室	保溫帶	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																																																																																																																		
屋外露出・多湿箇所	屋外露出・多湿箇所	保溫帶	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板																																																																																																																																																																																	
排煙ダクト長方形	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	鋼鉄甲金網																																																																																																																																																																																	
	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス																																																																																																																																																																																		
排煙ダクト円形	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	アルミガラスクロス化粧保温板																																																																																																																																																																																	
	屋内露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	アルミガラスクロス粘着テープ																																																																																																																																																																																	
煙道	屋外露出	保溫板	保溫板	カラスコロス	カラスコロス																																																																																																																																																																																	
機材	状態	塗料の種別	塗り回数	備考																																																																																																																																																																																		
			下塗り 中塗り 上塗り																																																																																																																																																																																			
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1 1 1	下塗りはさび止めペイント																																																																																																																																																																																		
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2 1 1	下塗りはさび止めペイント																																																																																																																																																																																		
<p>2) 保温厚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガラスウール、ロックウール</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>保温厚 (mm)</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td></tr> <tr><td>給水・排水・ドレン・給湯</td><td>~80A</td><td>100~150A</td><td>—</td><td>200A~</td><td>—</td></tr> <tr><td>膨張・温水・消防管</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>蒸気管</td><td>~25A</td><td>—</td><td>32~50A</td><td>65A~</td><td>—</td></tr> <tr><td>冷水・冷温水・冷媒管</td><td>—</td><td>—</td><td>~25A</td><td>32~200A</td><td>250A~</td></tr> </table>	保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	—	200A~	—	膨張・温水・消防管						蒸気管	~25A	—	32~50A	65A~	—	冷水・冷温水・冷媒管	—	—	~25A	32~200A	250A~	<p>4) 施工</p> <p>ダクト保温施工範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SA           <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 保溫あり □ 保溫なし □ 固面による □ その他 ( )</li> </ul> </li> <li>2. EA           <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 保溫あり ■ 保溫なし □ 固面による □ その他 ( )</li> </ul> </li> <li>3. RA           <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 保溫あり □ 保溫なし □ 固面による □ その他 ( )</li> </ul> </li> <li>4. OA           <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保溫あり □ 保溫なし □ 固面による □ その他 ( )</li> </ul> </li> </ol> <p>チャンバー内貼施工</p> <p>□ 内貼あり ( mm ) □ 内貼なし □ 固面による □ その他 ( )</p>	<p>(4) スリーブ工事</p> <p>1. 施工スリーブの径は、原則として、管の外径(保溫されるものは、保溫厚さを含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(美鋼ダクト)とする。</p> <p>2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。</p> <p>3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去</p>																																																																																																																																																						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50																																																																																																																																																																																	
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	—	200A~	—																																																																																																																																																																																	
膨張・温水・消防管																																																																																																																																																																																						
蒸気管	~25A	—	32~50A	65A~	—																																																																																																																																																																																	
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	~25A	32~200A	250A~																																																																																																																																																																																	



付近見取図 1/5000

凡例	
	申請建物を示す
	改修建物を示す
	敷地出入口を示す

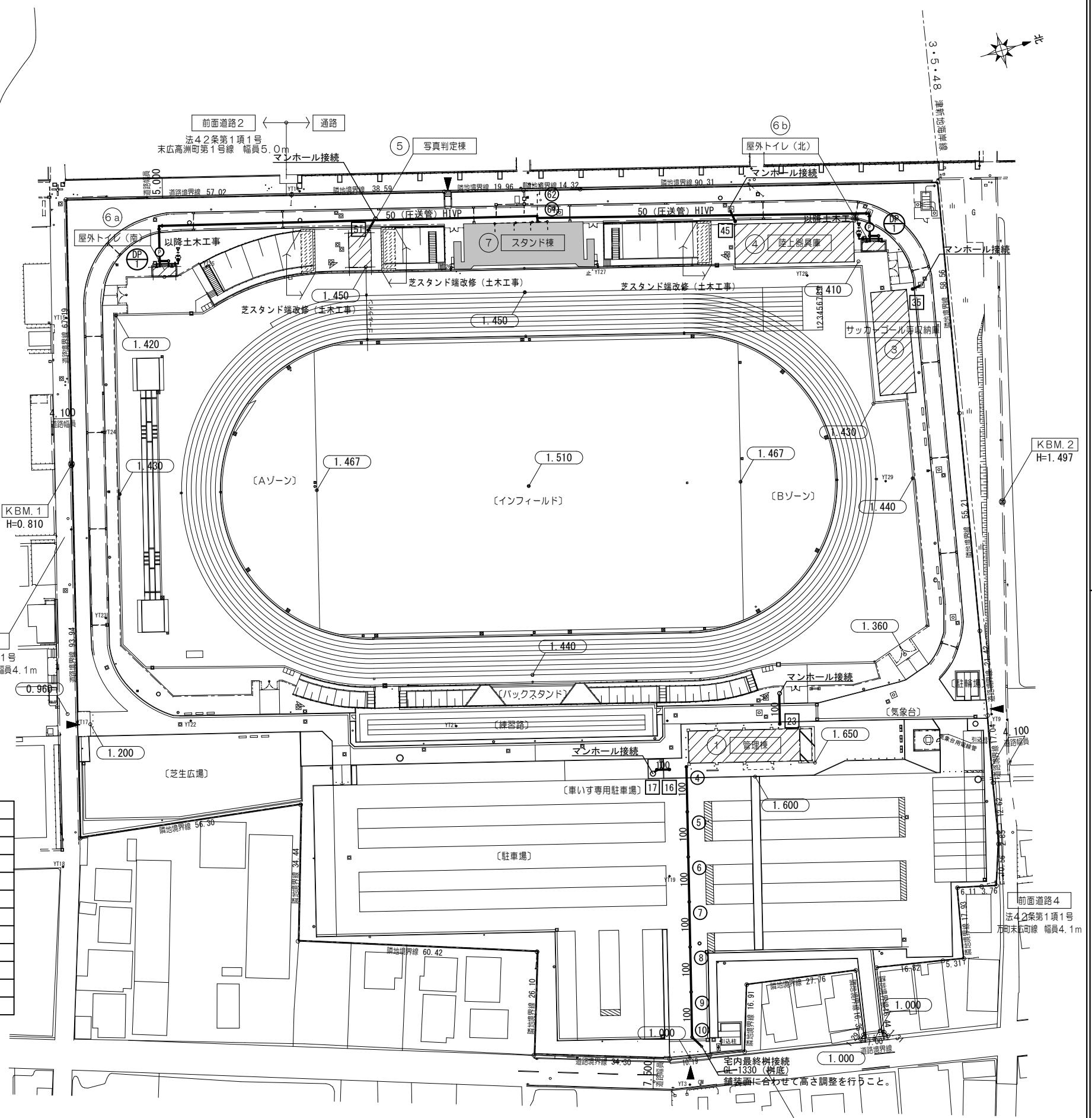
汚水栓リスト 雨水栓リストは各棟平面図に記載

記号	名称	寸法	参考深さ	備考
4	汚水栓	Φ 200	-570	100-200 45Y 塩ビ製密閉蓋
5	汚水栓	Φ 200	-690	100-200 ST 鋳鉄製防護蓋(T-25)
6	汚水栓	Φ 200	-810	100-200 ST 鋳鉄製防護蓋(T-25)
7	汚水栓	Φ 200	-930	100-200 ST 鋳鉄製防護蓋(T-25)
8	汚水栓	Φ 200	-1050	100-200 ST 鋳鉄製防護蓋(T-25)
9	汚水栓	Φ 200	-1170	100-200 ST 鋳鉄製防護蓋(T-25)
10	汚水栓	Φ 200	-1290	100-200 45L 鋳鉄製防護蓋(T-25)
6.1	汚水栓	Φ 200	-960	100-200 45Y 鋳鉄製防護蓋(T-8)
6.2	汚水栓	Φ 200	-980	100-200 45Y 鋳鉄製防護蓋(T-8)

汚水栓

(No.)

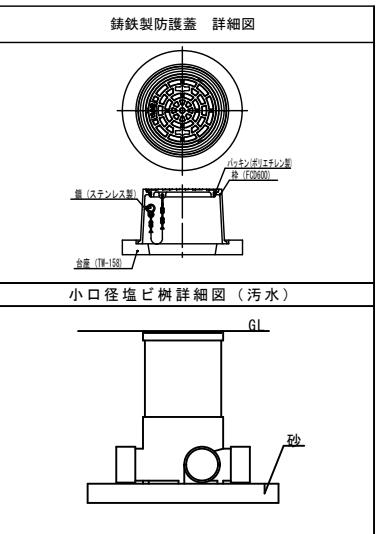
凡例	
	給水管
	給湯管
	排水管
	通気管
	ガス管
	単水栓
	混合水栓
	床上掃除口
	床排水金物
	汚水栓(塩ビ栓)
	雨水栓(塩ビ栓)
	地中埋設標



全体配置図 1/800

法4.2条第1項1号  
港町末広町第1号線 幅員7.5m

名称	仕様・参考型番					消費電力 (参考)	管理棟			スタンド棟					合計	
							男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	休憩室	屋外	事務室	多目的室1 (会議室)	多目的室2 (会議室)	更衣室1	更衣室2
	LIXIL	TOTO														
洋風便器	BC-P110SM, DQ-PA150CH, CW-PA21LQE-NE-R1, 他一式 CF-63HST(紙巻器)	CFS498BC, TCF5534AU, 他一式 YH702(紙巻器)	310W	1	2											3
洋風便器	BC-P110SM, DQ-PA150CH, CW-PC12LQE-NECK-STG, 他一式 CF-63HST(紙巻器)	CFS498BC, TCF5841AUPR, 他一式 YH702(紙巻器)	1300W		1											1
小便器	U-A51AP, 他一式	UFS900R, 他一式	8.0W	2												2
洗面器(自動水栓)	L-275AN, AM-311CV1(自動水栓), LF-105PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式	L270C, TLE28SS1A(自動水栓), TLDP2105JA, TL220D, 他一式	0.6W		1											1
洗面器(手動水栓)	L-176UAN, LF-1-U(手動水栓), LF-105PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式	L250C, TLS11R(手動水栓), TLDP2105JA, TL250D, 他一式										1	1		2	
カウンター式洗面器	L-2260, AM-300V1(自動水栓), LF-WN7P0FL, LF-625K, KF-24ELM, 他一式	L530, TLE28SA1A(自動水栓), TLDP2201JA, TL516GR, TLK05202J, 他一式	0.6W	2	2											4
同上カウンター	MB-600SS(1,900)、MBF-620A【建築工事】	ML60(奥行600)(W=1,900)、M9P50A【建築工事】		(1)												(1)
同上カウンター	MB-600SS(1,900)、MBF-620A【建築工事】	ML60(奥行600)(W=1,900)、M9P50A【建築工事】			(1)											(1)
壁付手洗器(自動水栓)	AWL-71U2AM(S), 他一式	LSA90ABS, 他一式	0.6W		1											1
掃除流し	S-17, LF-7KRZ-13-U, SF-25PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式	SK500, T200BSQ13C, T6PMR, TL220D, 他一式		1	1											2
オストメイトパック	PTOM-B210W/SSW(電気温水器), 他一式	UAS81RDB1NW(電気温水器), 他一式	700W		1											1
L型手すり	KF-926AE70D12J, 他一式	T112CL10, 他一式		1	2											3
L型手すり	KF-926AE80D25J, 他一式	T112CL11, 他一式			1											1
跳ね上げ手すり	KF-471EH70JU, 他一式	T112HK7R, 他一式			1											1
小便器用手すり	KF-701AEJ, 他一式	T112CU22, 他一式		1												1
背もたれ	KFC-275T1U, 他一式	EWC283CR, 他一式			1											1
化粧鏡	KF-W450H1000A, 他一式	YM4510FA, 他一式			1											1
化粧鏡	KF-4560A, 他一式	YM4560F, 他一式		2	2							1	1			6
ベビーチェア(コーナータイプ)	AC-BK-F62, AC-BC-F31, 他一式	YKA16S, 他一式		1	2											3
ベビーチェア	AC-BK-F62, 他一式	YKA15S, 他一式			1											1
ベビーシート	AC-OK-21F, 他一式	YKA25N, 他一式			1											1
フィッティングボード	AC-CB-14, 他一式	YKA41R, 他一式			1											1
シャワー水栓	BF-KA247TSG, 他一式	TBV03418J1, 他一式											2	2		4
混合水栓	SF-H420SYXA, 他一式	TKS05301J, 他一式							1		1	1				3
横水栓	LF-7R-13-U, 他一式	T200SNR13C, 他一式		1	1	1	1									1
水栓柱	アルミ製(H=1,200)								1							1
ミニキッチン	【建築工事】※配管接続は【本工事】							(1)		(1)	(1)	(1)				(3)



ガス給湯器仕様表

記号	機器名	機器仕様	参考消費電力	台数	設置場所
WHG-1	ガス給湯器	屋外壁掛け 32号 潜熱回収型(高効率タイプ)	75W	2	スタンド棟 1階 シャワー室1系統
		参考ガス消費量: 58.7kW(LPG) 重塩害仕様	(1φ100V)		スタンド棟 1階 シャワー室2系統
		付属品: リモコン、リモコンケーブル、配管カバー			

製氷機仕様表

記号	機器名	機器仕様	参考消費電力	台数	設置場所
IB-1	製氷機	貯水量 約18.0kg	195W	1	管理棟 1階 休憩室
		(1φ100V)			

電気温水器仕様表

記号	機器名	機器仕様	参考消費電力	台数	設置場所
WHE-1	電気温水器	床置形 12L 飲料用	1.1kW	1	管理棟 1階 休憩室
		付属品: 耐震用固定金具、排水ホッパー、止水栓	(1φ100V)		
		SUSフレキ管セット、他一式			

中継ポンプ槽仕様表

記号	機器名	機器仕様	台数	備考
DP-1	中継槽付ポンプユニット	Φ40×50L/min×7.0m×0.25kW(1φ100V)	2	簡易土留工事、コンクリート工事、水張工事等も本工事に含む。
		FRP製中継槽(1,100φ×H1,435)有効800L以上		コンクリート底板の配筋は、メカ仕様に準ずる。
		交互並列運転、着脱タイプ、歩行者荷重仕様		
		付属品: 屋外用制御盤 フロートスイッチ		
		かさ上げスペーサ		

空調機器表

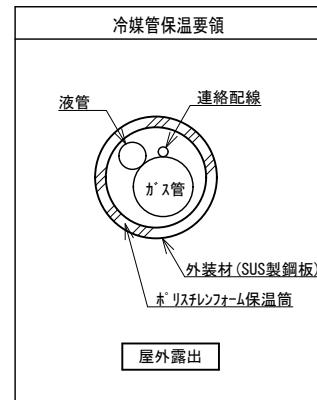
記号	機器名称	形式・仕様		定格電圧	消費電力 冷房／暖房 (kW)	台数	備考、付属品
PAC-1	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	1	場所：管理棟 1階 エントランスホール 標準パネル、ワイヤードリモコン、分歧管
		定格冷房能力	20.0 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	22.4 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	5.05 kW				
PAC-2	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	2.58/2.40	1	場所：管理棟 1階 事務室 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	10.0 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	11.2 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.00 kW				
PAC-3	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット2方向吹出形	3φ-200V	1.01/1.02	1	場所：管理棟 1階 休憩室 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	4.0 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	4.5 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	0.65 kW				
PAC-4	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	3	場所：管理棟 2階 大会議室×2 標準パネル、ワイヤレスリモコン、受光部
		定格冷房能力	20.0 kW				分歧管、防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	22.4 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	5.05 kW				
PAC-5	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	2.58/2.40	1	場所：写真判定棟 2階 写真判定室・記録室 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	10.0 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	11.2 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.00 kW				
PAC-6	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	1	場所：スタンド棟 1階 事務室（多目的室） 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	20.0 kW				分歧管、防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	22.4 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	5.05 kW				

空調機器表

記号	機器名称	形式・仕様		定格電圧	消費電力 冷房／暖房 (kW)	台数	備考、付属品
PAC-7	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天吊形	3φ-200V	4.32/3.67	1	場所：スタンド棟 1階 多目的室1（会議室） ワイヤードリモコン、ドレンアップ
		定格冷房能力	12.5 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	14.0 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.95 kW				
PAC-8	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天吊形	3φ-200V	4.32/3.67	1	場所：スタンド棟 1階 多目的室2（会議室） ワイヤードリモコン、ドレンアップ
		定格冷房能力	12.5 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	14.0 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.95 kW				
PAC-9	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	3.91/3.29	1	場所：スタンド棟 1階 更衣室1 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	12.5 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	14.0 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.95 kW				
PAC-10	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	3.91/3.29	1	場所：スタンド棟 1階 更衣室2 標準パネル、ワイヤードリモコン
		定格冷房能力	12.5 kW				防振ゴム、風向ガイド
		定格暖房能力	14.0 kW				コンクリート基礎【建築工事】
		電動機出力	2.95 kW				
R-1	集中管理リモコン	運転・停止、温度設定、状態監視、異常表示等	1φ-100V			1	場所：管理棟 1階 事務所 取込機器：PAC-1～4
		モニター付					

## 特記

- 能力条件は全てJIS B8616条件とする。
- 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。  
但し該当しない機器については製造者標準仕様とする。
- 機器入力は、圧縮機電動機出力、送風機電動機出力及び制御用電源の合計値を示す。
- 機器類の能力は同等以上とする。
- 電動機出力、消費電力は、参考値とする。
- グリーン購入法適合品とする。（該当する場合のみ）
- 屋外機の据付はSUS製ボルトとし、ダブルナットにて締め付けること。
- 屋内機の吊ボルト下部はダブルナットにて固定すること。
- 屋外機は耐重塗害仕様とすること。



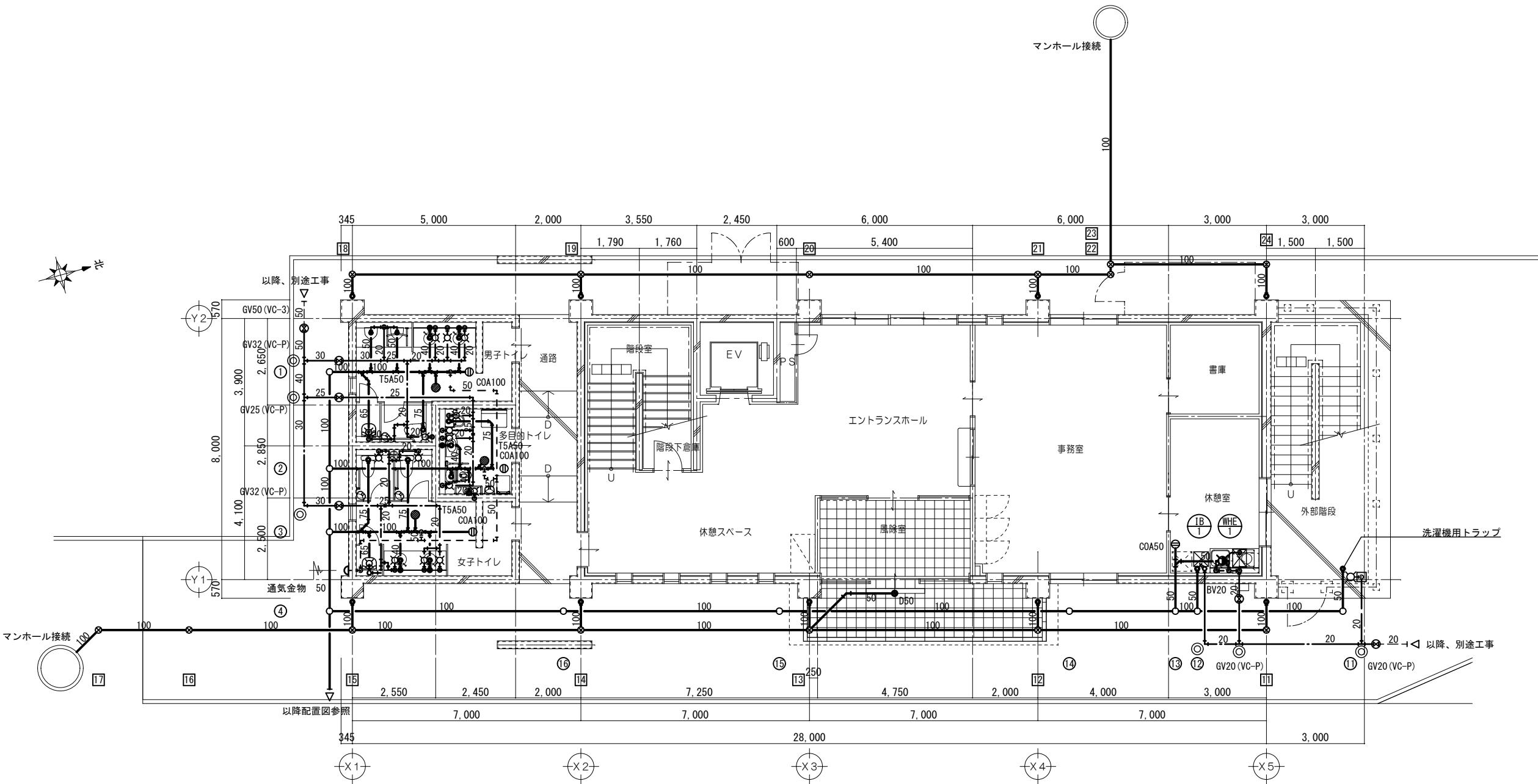
## 換気機器表

記号	機器名称	仕様	定格電圧 (V)	消費電力 (W)	台数	設置場所	備考
VF-1	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	64.5	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×400CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【22.0】		1階 エントランスホール	
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-2	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	64.5	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×350CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【22.0】		1階 事務室	
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-3	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	22.5	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：100φ×150CMH×70Pa【50CMH×40Pa】		【9.0】		1階 休憩室	
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-4	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	23.0	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：100φ×150CMH×60Pa				1階 書庫	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-5	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	82.0	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×450CMH×100Pa				1階 男子トイレ	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-6	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	82.0	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×450CMH×100Pa				1階 女子トイレ	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-7	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	29.5	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×200CMH×50Pa				1階 多目的トイレ	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-8	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	64.5	2	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×400CMH×80Pa				2階 大会議室×2台	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-9	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	48.0	1	①管理棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×300CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【15.5】		2階 小会議室	
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-10	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	22.5	1	⑤写真判定棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：100φ×150CMH×70Pa【50CMH×40Pa】		【9.0】		2階 写真判定室・記録室	
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-11	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	49.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×250CMH×35Pa				1階 男子トイレ	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-12	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	49.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×250CMH×35Pa				1階 女子トイレ	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-13	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	29.5	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×200CMH×45Pa				1階 シャワー室1	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-14	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	29.5	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×200CMH×45Pa				1階 シャワー室2	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-15	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	82.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×400CMH×140Pa				1階 更衣室1	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-16	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	82.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂
		能力：150φ×400CMH×140Pa				1階 更衣室2	
		付属品：天吊金具、SUS製深形フード、他一式					

記号	機器名称	仕様	定格電圧 (V)	消費電力 (W)	台数	設置場所	備考	
VF-17	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	28.5	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂	
		能力：150φ×200CMH×70Pa【50CMH×40Pa】		【11.5】		1階 事務室(多目的室)		
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式						
VF-18	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	40.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂	
		能力：150φ×250CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【13.0】		1階 多目的室1(会議室)		
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式						
VF-19	天井埋込形換気扇	型式：低騒音形	1φ100V	40.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー：格子タイプ 材質：ポリイミド樹脂	
		能力：150φ×250CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【13.0】		1階 多目的室1(会議室)		
		付属品：24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給) 天吊金具、SUS製深形フード、他一式						
V-(A)	天井扇 (キッキン付属品)	付属品：SUS製深形フード、他一式			1	①管理棟		
						1階 休憩室		
0A-1	給気グリル	型式：フィルター付			7	管理棟		
		能力：200φ				1階 エントランスホール		
		付属品：SUS製深形フード(防虫網付)200φ×1				1階 事務室、休憩室		
0A-2	給気グリル	他一式				2階 大会議室×2台		
						2階 小会議室		
特記								
1. 機器類の能力は同等以上とする。 2. 消費電力、静圧は参考値とする。 3. 排気用フードはガラリ付とする。 4. 【 】内の数値は24時間換気用の数値とする。								

## 各室換気計算

階	部屋名	面積 m <sup>2</sup>	天井高 m	気積 m <sup>3</sup>	24時間換気計算		V=20Af/Nによる		人による(30m <sup>3</sup> /h/人)		換気回数による		設計風量			備考
					回数	必要換気量 m <sup>3</sup> /h	N	必要換気量 m <sup>3</sup> /h	N	必要換気量 m <sup>3</sup> /h	回数	必要換気量 m <sup>3</sup> /h	風量 m <sup>3</sup> /h	機器 記号	台数 台	
<b>①管理棟</b>																
1	エントランスホール	60.00	2.70	162.00			3	400					400	VF-1	1	
1	階段室	8.36	2.70	22.57												
2	ホール	25.98	2.70	70.15												
2	階段室	16.63	2.70	44.90												
				計 299.65	0.3	90						100	VF-1	1	24時間換気量 100m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 90m <sup>3</sup> /h よってOK	
1	事務室	48.00	2.50	120.00	0.3	36	3	320				350	VF-2	1		
												50	VF-2	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 39m <sup>3</sup> /h よってOK	
1	休憩室	15.00	2.50	37.50	0.3	12	3	100				150	VF-3	1		
												50	VF-3	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 13m <sup>3</sup> /h よってOK	
1	書庫	9.00	2.50	22.50						5	113	150	VF-4	1		
1	男子トイレ	16.44	2.50	41.10						10	411	450	VF-5	1		
1	女子トイレ	16.58	2.50	41.45						10	415	450	VF-6	1		
1	多目的トイレ	6.98	2.50	17.45						10	175	200	VF-7	1		
2	大会講室	118.41	2.70	319.71	0.3	96	3	790				800	VF-8	2		
												400	VF-8	1	24時間換気量 400m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 96m <sup>3</sup> /h よってOK	
2	小会議室	42.00	2.70	113.40	0.3	35	3	280				300	VF-9	1		
												50	VF-9	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 35m <sup>3</sup> /h よってOK	
<b>⑤写真判定棟</b>																
2	写真判定室・記録室	35.41	2.40	84.98	0.3	26			4	120		150	VF-10	1		
												50	VF-10	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 39m <sup>3</sup> /h よってOK	
<b>⑦スタンド棟</b>																
1	男子トイレ	8.65	2.50	21.63						10	217	250	VF-11	1		
1	女子トイレ	8.65	2.50	21.63						10	217	250	VF-12	1		
1	シャワー室1	4.60	2.40	11.04						15	166	200	VF-13	1		
1	シャワー室2	4.60	2.40	11.04						15	166	200	VF-14	1		
1	更衣室1	28.93	2.50	72.33						5	362	400	VF-15	1		
1	更衣室2	28.93	2.50	72.33						5	362	400	VF-16	1		
1	事務室(多目的室)	44.73	2.60	116.30	0.3	35			6	200		200	VF-17	1		
	医療スペース含む											50	VF-17	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 35m <sup>3</sup> /h よってOK	
1	多目的室1(会議室)	33.08	2.60	86.01	0.3	26			8	240		250	VF-18	1		
												50	VF-18	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 26m <sup>3</sup> /h よってOK	
1	多目的室2(会議室)	33.08	2.60	86.01	0.3	26			8	240		250	VF-19	1		
												50	VF-19	1	24時間換気量 50m <sup>3</sup> /h > 必要換気量 26m <sup>3</sup> /h よってOK	



汚水栓リスト				
記号	名称	寸法	参考深さ	備考
1	汚水栓	φ200	-400	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
2	汚水栓	φ200	-470	100-200 45Y 塩ビ製密閉蓋
3	汚水栓	φ200	-520	100-200 45Y 塩ビ製密閉蓋
4	汚水栓	φ200	-570	100-200 45Y 塩ビ製密閉蓋
11	汚水栓	φ200	-250	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
12	汚水栓	φ200	-300	100-200 UT 塩ビ製密閉蓋
13	汚水栓	φ200	-310	100-200 45Y 塩ビ製密閉蓋
14	汚水栓	φ200	-350	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
15	汚水栓	φ200	-440	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
16	汚水栓	φ200	-495	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋

汚水栓

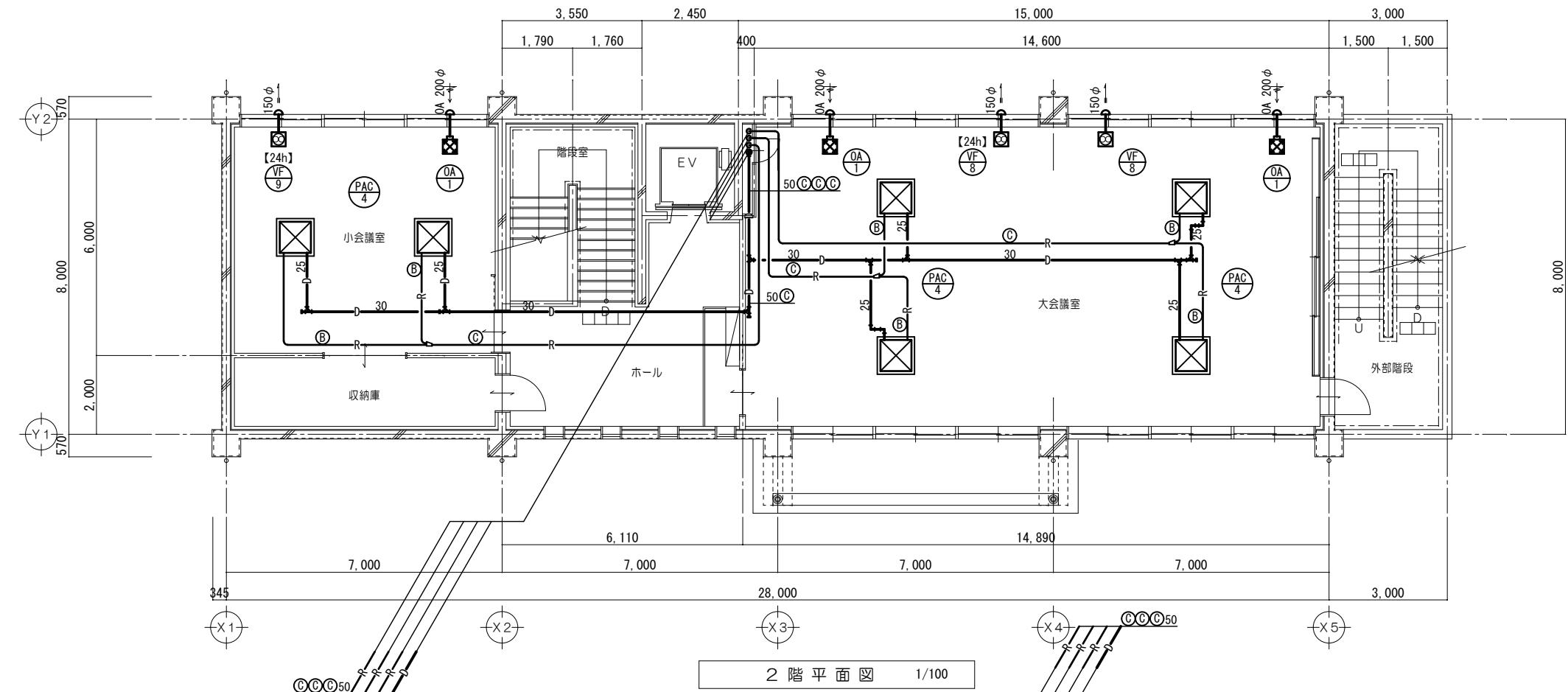


雨水栓リスト				
記号	名称	寸法	参考深さ	備考
11	雨水栓	φ200	-430	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
12	雨水栓	φ200	-510	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
13	雨水栓	φ200	-580	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
14	雨水栓	φ200	-650	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
15	雨水栓	φ200	-720	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
16	雨水栓	φ200	-750	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
17	雨水栓	φ200	-790	100-200 45L 塩ビ製密閉蓋
18	雨水栓	φ200	-300	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
19	雨水栓	φ200	-370	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
20	雨水栓	φ200	-440	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
21	雨水栓	φ200	-510	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
22	雨水栓	φ200	-540	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
23	雨水栓	φ200	-550	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
24	雨水栓	φ200	-300	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋

雨水栓

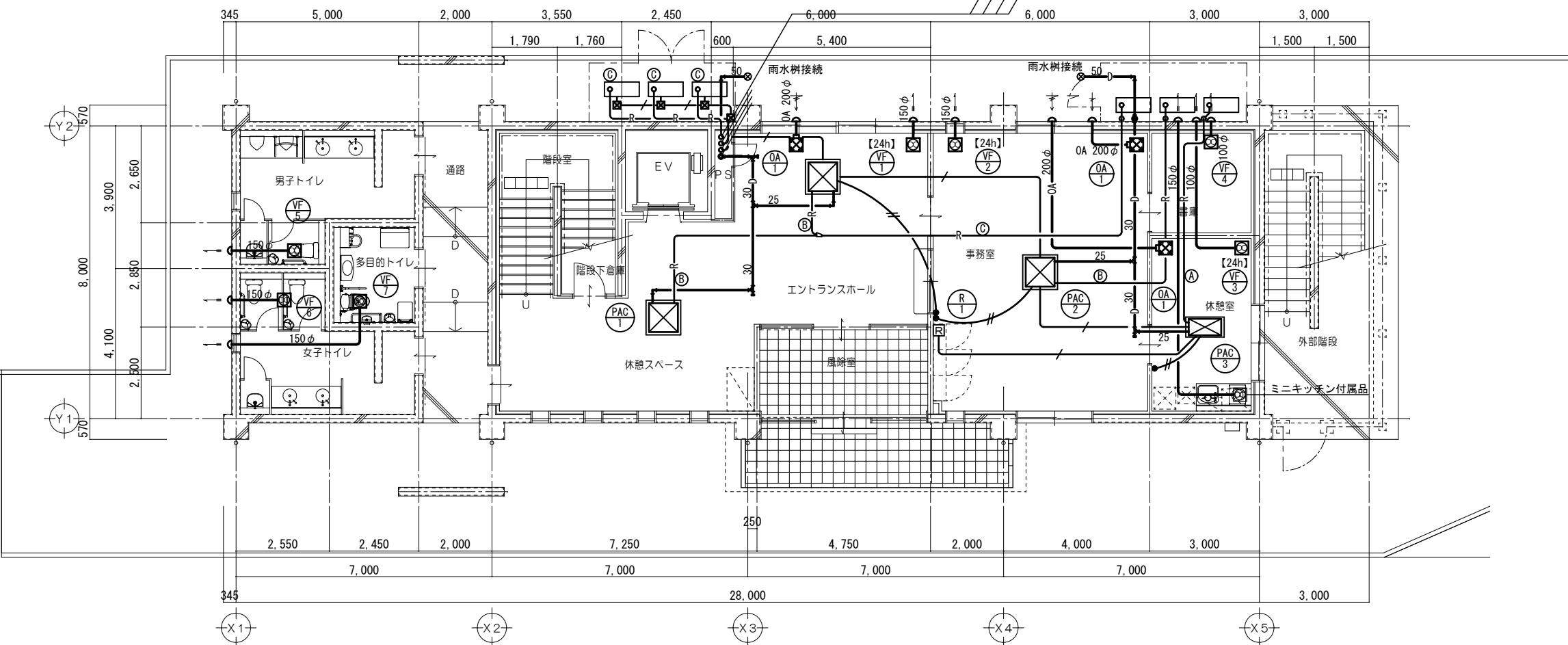


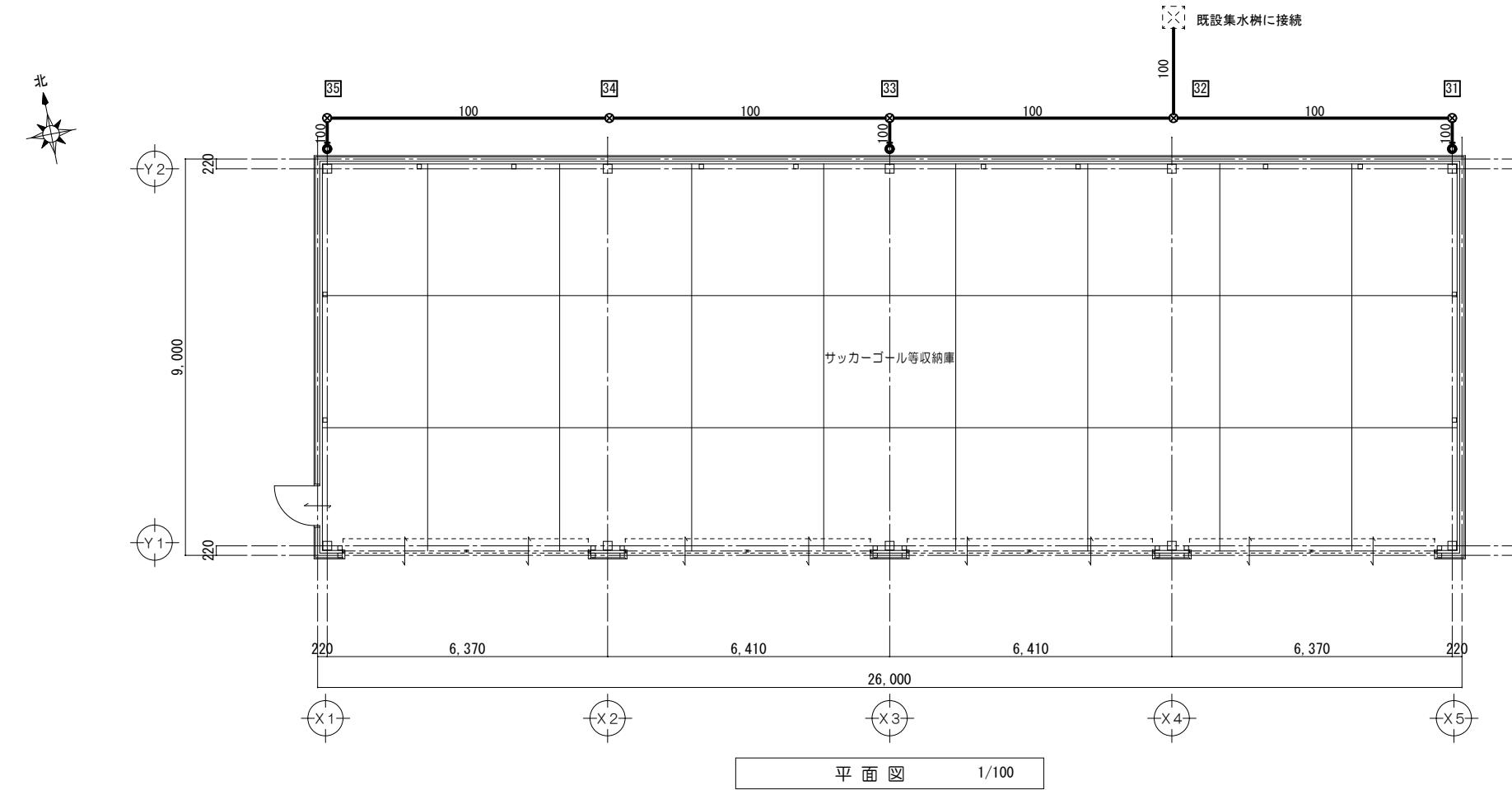
凡例	
—	給水管
—	給湯管
—	排水管
- - -	通気管
—○—	ガス管
○	単水栓
×	混合水栓
①	床上掃除口
●	床排水金物
○	汚水栓 (塩ビ栓)
⊗	雨水栓 (塩ビ栓)
◎	地中埋設標



図示記号	
R	冷媒管
D	ドレン管
//	個別リモコン線 (EM-CEES1, 25mm <sup>2</sup> -2C) 壁内立下部はPF22にて保護すること
/	集中リモコン線 (EM-CEES1, 25mm <sup>2</sup> -2C) 壁内立下部はPF22にて保護すること 屋外はHIVE22とし、機器接続は金属製可とう電線管を使用すること
●	個別リモコン（機器付属品）
OA	OAダクト
EA	EAダクト
■	ブルボックス (150×150×100) SUS製

記号	液管 / ガス管	室内外連絡配線
(A)	φ6.35 / φ12.7	EM-EFF2.0-3C
(B)	φ9.52 / φ15.88	EM-EFF2.0-3C
(C)	φ9.52 / φ25.4	EM-EFF2.0-3C





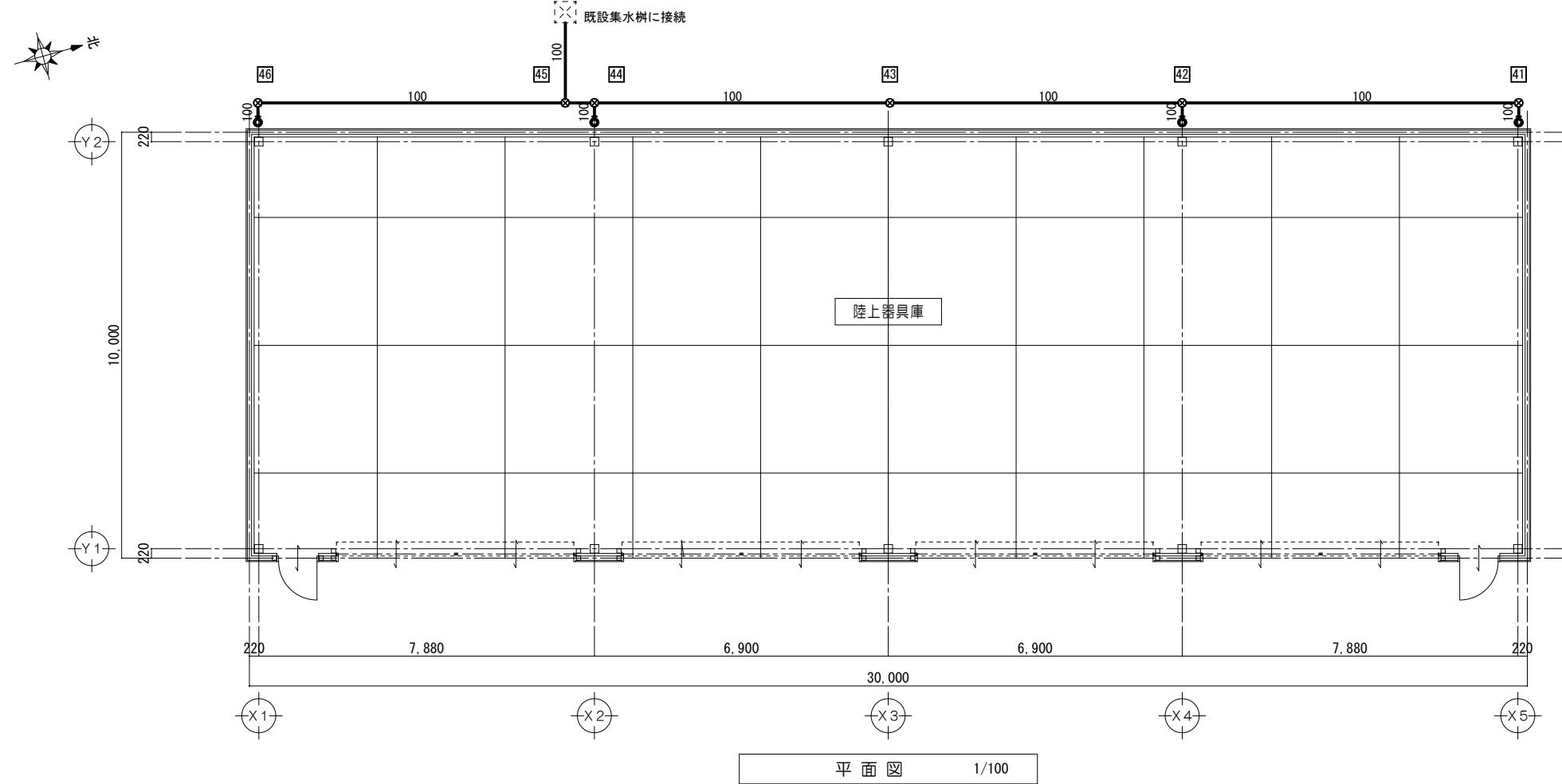
雨水樹リスト				
記号	名称	寸法	参考深さ	備考
3 1	雨水樹	φ 200	- 4 3 0	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
3 2	雨水樹	φ 200	- 4 9 5	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
3 3	雨水樹	φ 200	- 4 3 0	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
3 4	雨水樹	φ 200	- 3 6 5	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
3 5	雨水樹	φ 200	- 3 0 0	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋

雨水樹

No. ——————

	給水管
	給湯管
	排水管
	通気管
	ガス管
	単水栓
	混合水栓
	床上掃除口
	床排水金物
	汚水樹（塩ビ樹）
	雨水樹（塩ビ樹）
	地中埋設標
★	コア穴あけ

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝  株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子  設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 検図 三稿	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事		設計日 縮尺 A2:1/100 A3:1/141						
								図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】給排水設備 平面図								
								図面番号 M010 原図:A2								



雨水樹リスト

記号	名称	寸法	参考深さ	備考
4 1	雨水樹	φ 200	-300	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋
4 2	雨水樹	φ 200	-380	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
4 3	雨水樹	φ 200	-450	100-200 ST 塩ビ製密閉蓋
4 4	雨水樹	φ 200	-520	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
4 5	雨水樹	φ 200	-530	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋
4 6	雨水樹	φ 200	-450	100-200 90L 塩ビ製密閉蓋

雨水樹

No. ——○—

凡例

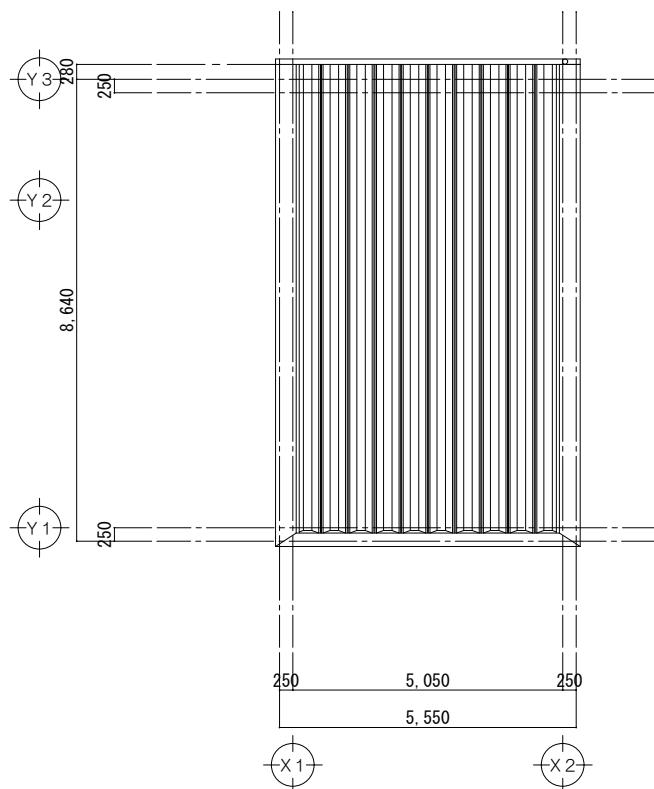
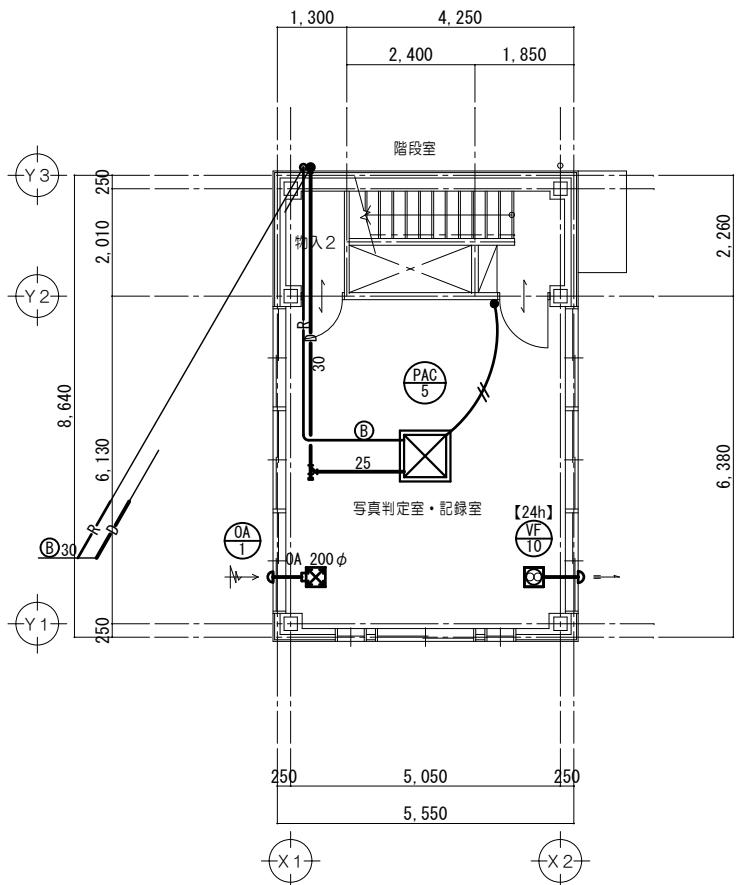
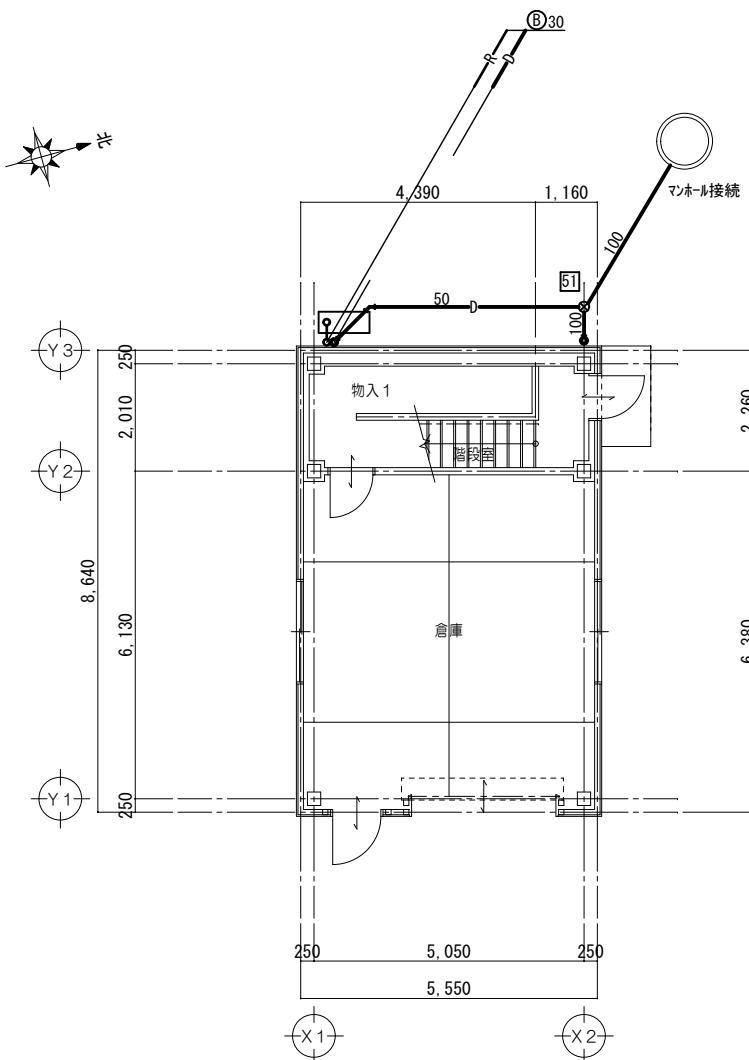
———	給水管
———	給湯管
———	排水管
- - - - -	通気管
—○—	ガス管
○○	単水栓
○○	混合水栓
①	床上掃除口
●	床排水金物
○	汚水樹（塩ビ樹）
⊗	雨水樹（塩ビ樹）
◎	地中埋設標
★	コア穴あけ

特  
記  
事  
項

図示記号	
—	給水管
—	給湯管
—	排水管
- - -	通気管
—G—	ガス管
○	単水栓
×	混合水栓
(1)	床上掃除口
●	床排水金物
○	汚水樹（塩ビ樹）
⊗	雨水樹（塩ビ樹）
(◎)	地中埋設標

図示記号	
R	冷媒管
D	ドレン管
/	個別リモコン線（EM-CEES1, 25mm2-2C） 壁内立下部はPF22にて保護すること
●	個別リモコン（機器付属品）
OA	OAダクト
EA	EAダクト
—	排水管

記号	液管 / ガス管	室内外連絡配線
(A)	φ6.35 / φ12.7	EM-EEF2.0-3C
(B)	φ9.52 / φ15.88	EM-EEF2.0-3C
(C)	φ9.52 / φ25.4	EM-EEF2.0-3C



#### 雨水樹リスト

記号	名称	寸法	参考深さ	備考
51	雨水樹	φ200	-300	100-200 90Y 塩ビ製密閉蓋

雨水樹

No. —⊗—

特  
記  
事  
項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  
株式会社 前野建築設計  
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者  
一級建築士  
第320204号  
前野 将輝

設計担当  
一級建築士  
第307846号  
三橋 五百子

設計担当  
一級建築士  
第378328号  
加藤 早妃

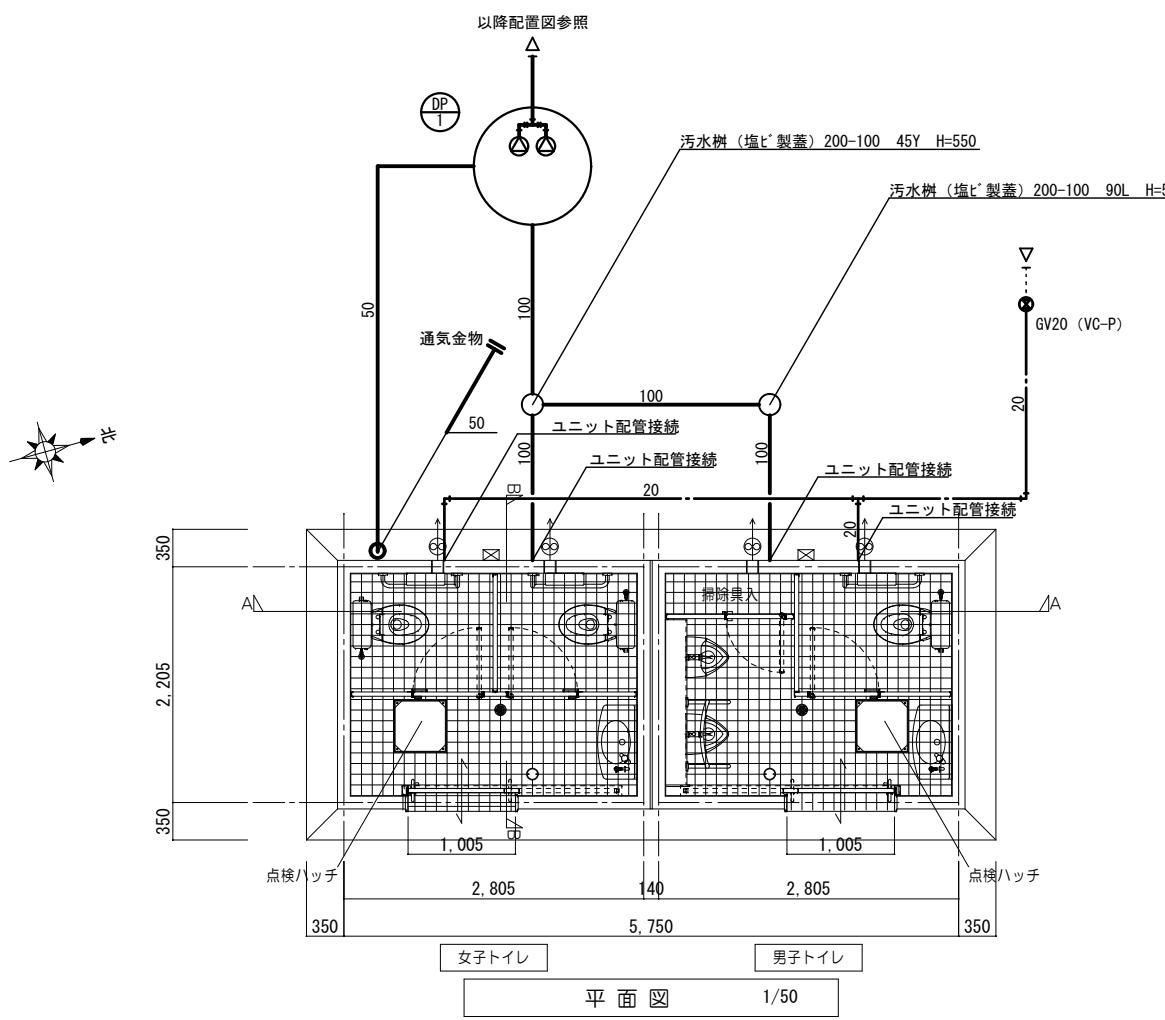
設計担当  
一級建築士  
第360917号  
前田 祐作

設計担当  
法適合確認  
作図  
検査

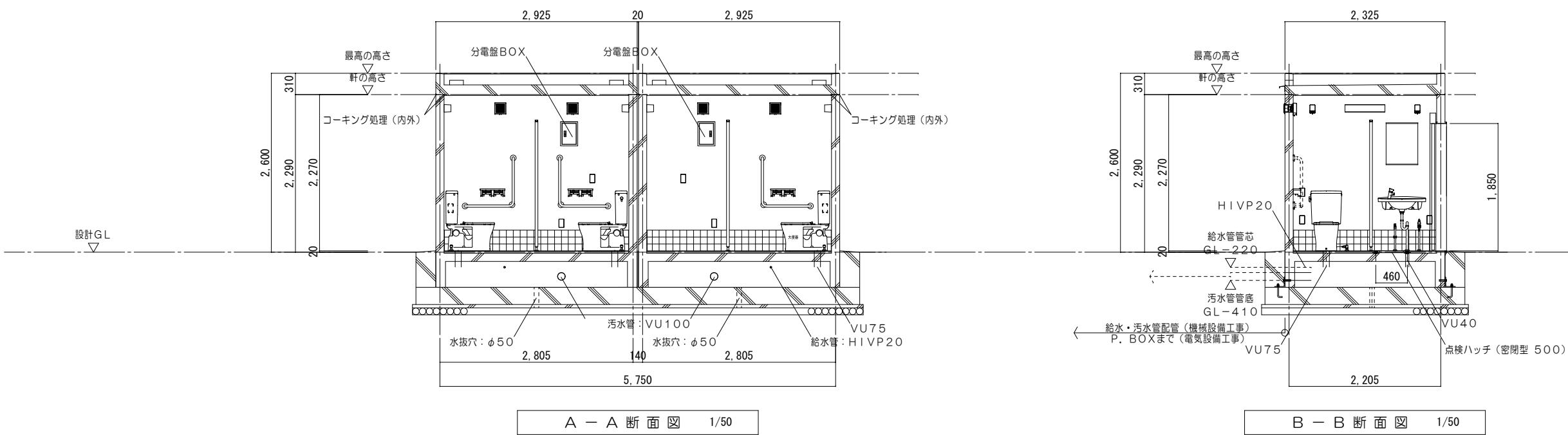
工事名称  
海浜公園内陸上競技場改修工事  
図面名称  
【⑤写真判定棟】機械設備 1階・2階平面図

縮尺  
A2:1/100  
A3:1/141

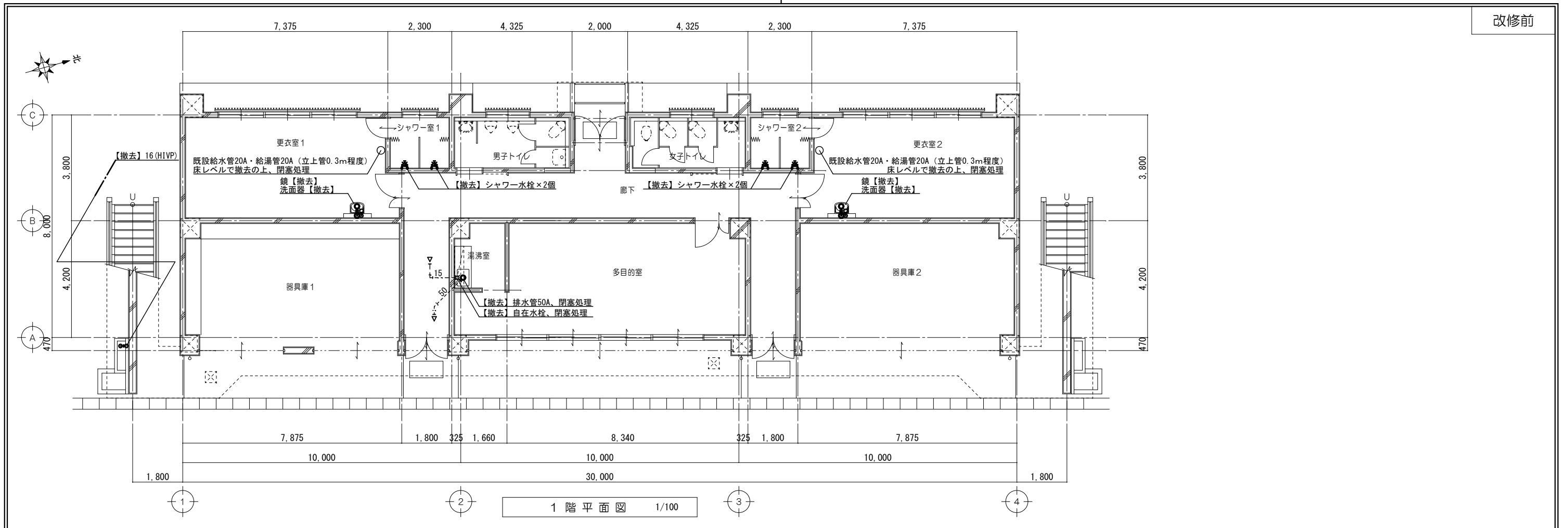
設計日  
図面番号  
M012  
原図:A2



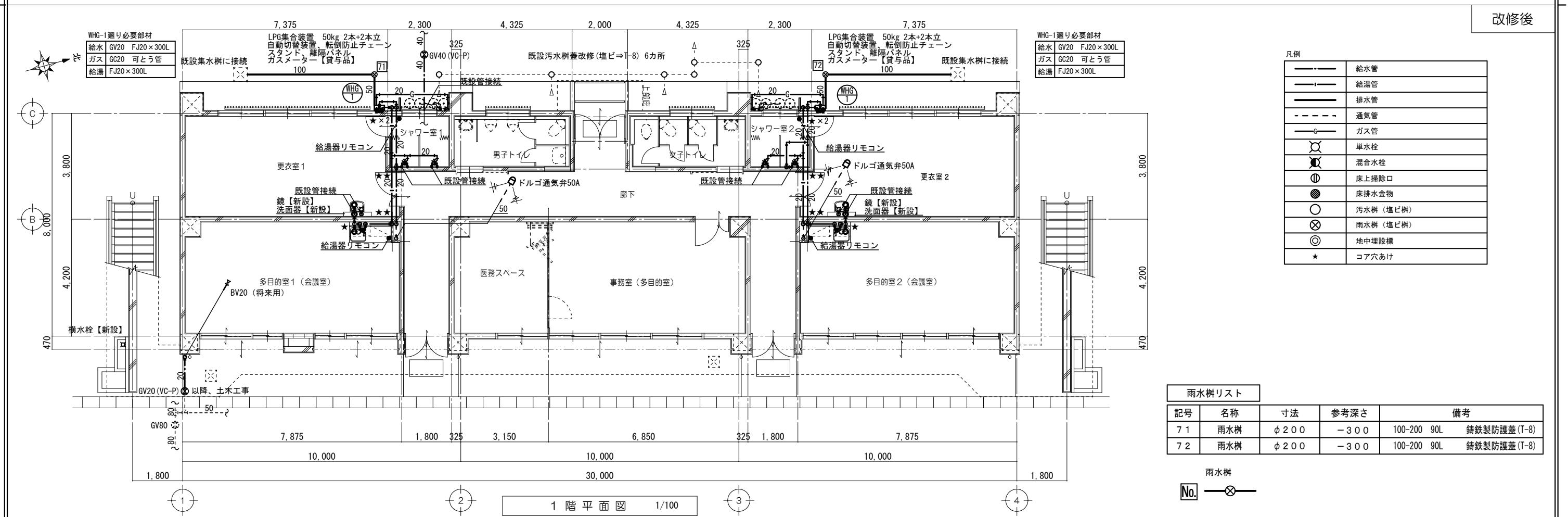
—	給水管
—	給湯管
—	排水管
- - -	通気管
— G —	ガス管
○	単水栓
○ X ○	混合水栓
○ ⊕ ○	床上掃除口
○ ● ○	床排水金物
○ ⊗ ○	雨水樹 (塩ビ樹)
○ ⊙ ○	地中埋設標
★	コア穴あけ

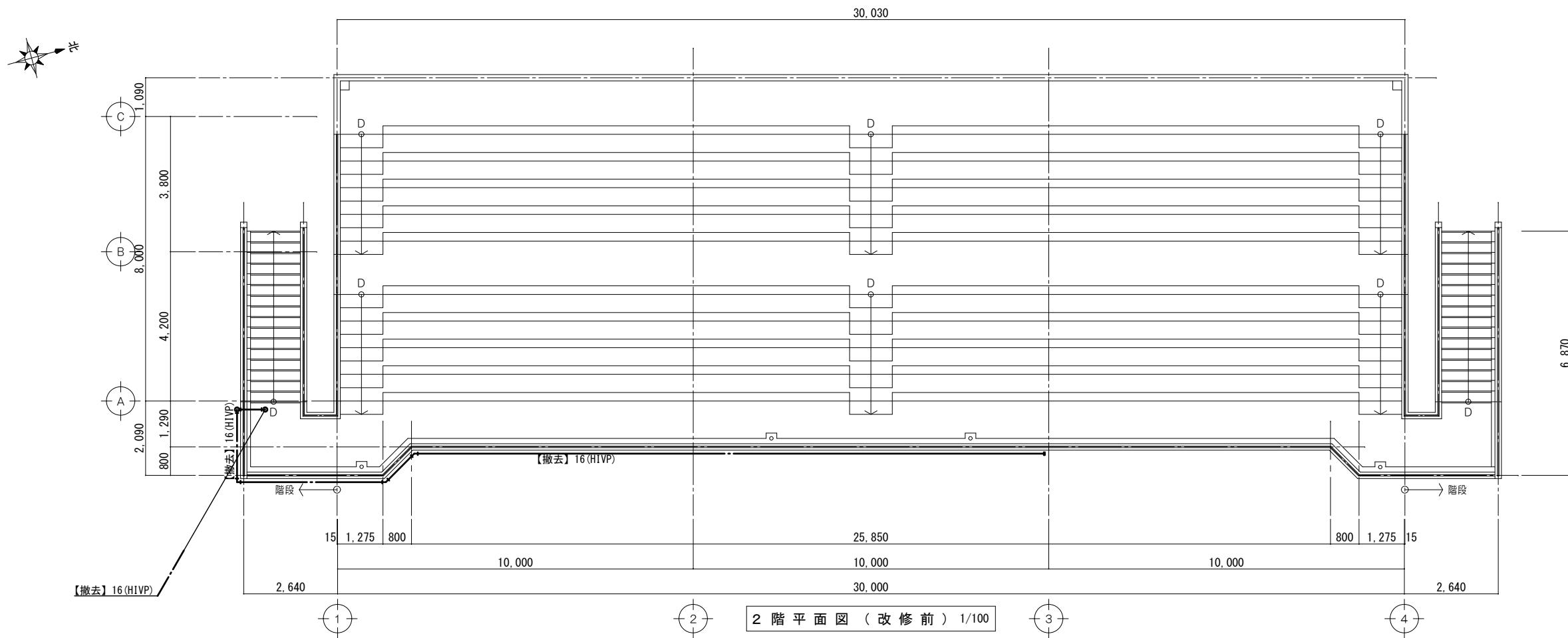


改修前



改修後





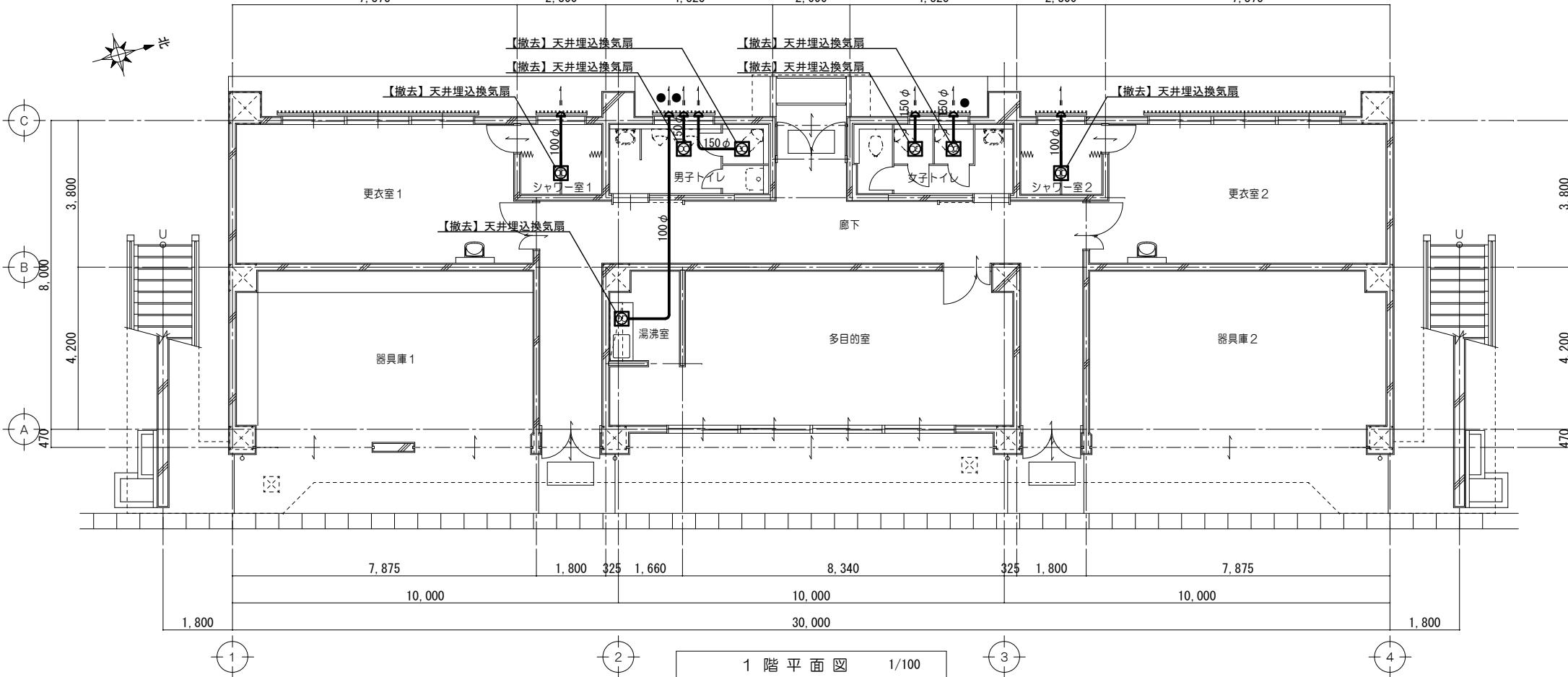
凡例

———	給水管
—·—	給湯管
———	排水管
- - - -	通気管
—G—	ガス管
○○	単水栓
○○	混合水栓
○○	床上掃除口
○○	床排水金物
○○	汚水栓（塩ビ栓）
○○	雨水栓（塩ビ栓）
○○	地中埋設標

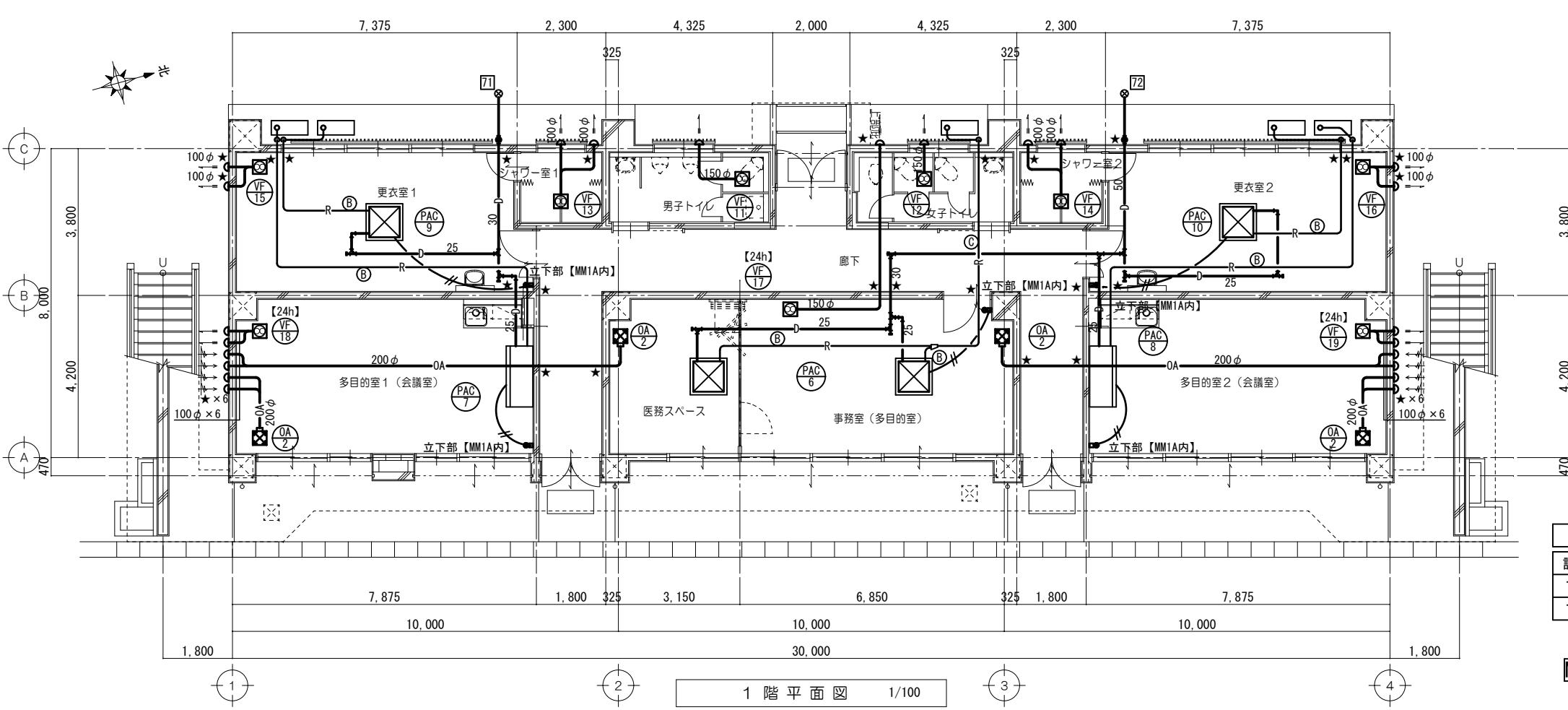
特記事項

	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 ○	作図 検図 二稿 【⑦スタンド棟】改修前 給排水ガス設備2階平面図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【⑦スタンド棟】改修前 給排水ガス設備2階平面図	設計日 縮尺 A2:1/100 A3:1/141 図面番号 M015 原図：A2
--	---	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------	--	--	--

改修前



改修後



記号	液管 / ガス管	室内外連絡配線
(A)	φ 6.35 / φ 12.7	EM-EEF2.0-3C
(B)	φ 9.52 / φ 15.88	EM-EEF2.0-3C
(C)	φ 9.52 / φ 25.4	EM-EEF2.0-3C

図示記号	説明
—R	冷媒管
—D	ドレン管
—//	個別リモコン線 (EM-CEES1.25mm2-2C)
●	個別リモコン (機器付属品)
—OA	OAダクト
—EA	EAダクト
—	排水管
★	コア穴あけ

※シャワー室のダクトは、塩ビダクトを使用すること。

記号	名称	寸法	参考深さ	備考
7 1	雨水樹	φ 200	-300	100-200 90L 鋼鉄製防護蓋(T-8)
7 2	雨水樹	φ 200	-300	100-200 90L 鋼鉄製防護蓋(T-8)

雨水樹

